

令和元年度
運営諮問会議報告書



鳥羽商船高等専門学校

(案)

令和元年度運営諮問会議委員名簿

(五十音順)

氏名	現職	備考
石田 廣史	国立大学法人神戸大学 名誉教授	
鳥山 光一郎	鳥羽商船高等専門学校奨学後援会 会長	
菅沼 延之	鳥羽商船高等専門学校同窓会 会長	
野村 睦	鳥羽市立鳥羽東中学校 校長	
本田 直基	美和ロック株式会社 伊勢工場群 総務部長	
増田 峰知	公益財団法人三重県産業支援センター 事業部技術支援課 課長	
山本 俊彦	国立大学法人三重大学 理事・副学長 (教育担当)	

※ 委嘱期間 令和元年12月1日～令和3年3月31日

独立行政法人 国立高等専門学校機構

鳥羽商船高等専門学校概要

2020年3月9日

国立高等専門学校 全国で51校(55キャンパス)

商船学科のある高専は5校のみ





独立行政法人国立高等専門学校機構

鳥羽商船高等専門学校

National Institute of Technology, Toba College



3

○ 教育理念・教育目標

□ 教育理念

進取・礼讓・質実剛健

□ 教育目標

1. 人間性豊かな**教養人**となること
2. 創造豊かな**技術者**となること
3. 国際性豊かな**社会人**となること

○ 高専教育システム(本科)の特徴



くさび形教育 5年（商船は5年半）一体型の技術者育成

5

○ 本校のセールスポイント

伝 統

- 創基138年の伝統を持つ
- 同窓会活動が充実しており、卒業しても強い味方

立地条件

- 交通の便が(他の4商船系高専と比較して)相対的に良い

進 路

- 他の工業高専に比べて入学しやすいかもしれないが、進学・就職先は工業高専と同程度

○ 本校の教職員（2019.4.1現在）

教育職員					事務職員等			合計
校長	教授	准教授	講師	助教	部課長	係長等	一般職員等	102
1	22	23 うち2は 海事職	1	7 うち2は 海事職	2	18	28	
54 うち4は海事職					48			

○ 商船学科

- 航海コース：航海士、船長をめざします
 - 機関コース：機関士、機関長をめざします
- 第3学年でコースが分かります



海上のプロフェッショナル



1年間の
大型練
習船実
習

○ 電子機械工学科

2019年4月入学生より「情報機械制御工学科」に統合されました。

好きなことを追って、夢に向かって走る

機械工学と電気・電子工学の両方の専門知識で活躍



ロボットを作る・動かす

○ 制御情報工学科

先端技術を学び、未知の領域に挑戦する

2019年4月入学生より「情報機械
制御工学科」に統合されました。

AI、IoTでコンピュータ社会に対応



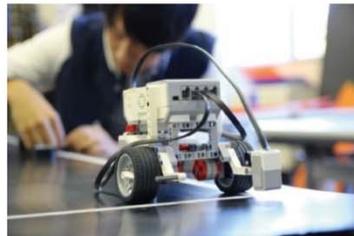
情報処理と
自動制御技
術で活躍



情報機械システム工学科 (ものづくり)



「電子機械工学科」と「制御情報工学科」を統合。
2019年4月より設置。
(定員80名)



情報・機械・電気電子工学をベースに、地域産業や文化を理解し工学的な解決法を提案できる実践的技術者をめざします。

○ 専攻科

海事システム学専攻(定員4)

- ・ 商船学科などから進学

生産システム工学専攻(定員8)

- ・ 電子機械工学科・制御情報工学科などから進学

本科の上に
専攻科が設
置されてい
ます

高度な専門的
学術を学んで、
国際的感覚と
広い視野を
持った実践的
専門技術者を
めざします

2年間の
少人数教育

「学士」の
学位が取得
可能



報告内容

- 入学者の確保(入口)
- 留年・退学
- 就職・進学(出口)
- 教育目標達成度
- 満足度アンケート
- 教育改善
- 教育の質の向上
- 他機関との連携・協力
- 地域との連携・貢献
- 学生支援・生活支援
- 研究活動
- 学生の活躍

入学者の確保

学生募集・PR活動

- **春季学生募集巡回PR**(6月) 県内中学校 **231校**[211]
和歌山・静岡・奈良・岐阜・滋賀 39校[41]
愛知 46校[37]

- **秋季学生募集巡回PR**(9~10月) **147校**[214]
同窓会会員による中学校訪問
愛知県、大阪府を中心に22校

- **オープンキャンパス**(8月9・10日)
合計**529名**[492]参加(中学生282名[265])



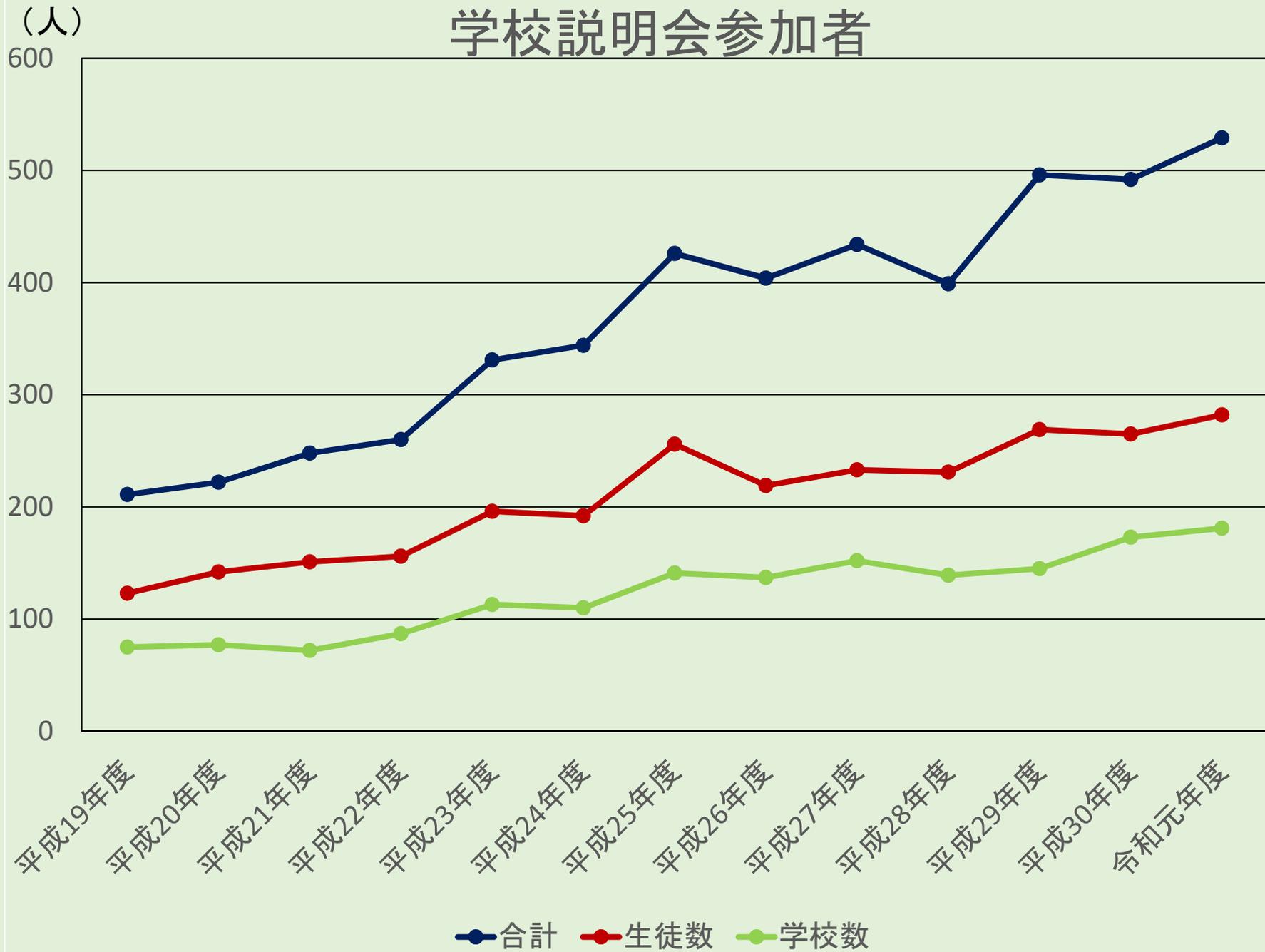
- **海学祭での入試説明会**(10月27日 **100名**[120])

- **近大高専、鈴鹿高専との合同説明会**(志摩は本校主催)

名古屋名9[9]、桑名39名[27]、伊勢23名[34]、**志摩11名[13]**、津20
組み[7組]、四日市48名[52]、尾鷲3名[0]

[]は昨年度

学校説明会参加者



- 学習塾関係者対象説明会(10月8日) **21団体**[9]
- 中学校主催「進路説明会」(6~11月)参加 **24校**[26]
- 受験相談会(12月1日) **34名**[28]
- 学力検査選抜直前、入試説明会(2月1日) **38名**[27]
- 国立高等専門学校(商船学科) **5校**合同進学
ガイダンス(横浜、神戸)(6~7月) **241名**[177]
- 公開講座「**サイテクランド**in鳥羽商船2018」
(7,8月)11講座[6] **139名**[119](延べ人数)
- 高専機構主催「国公立私立合同説明会」に参加

●鳥羽丸PR航海

(練習船の一般公開、体験航海)

8月3,4日: 四日市(約470名)

11月10,11日: 名古屋(約360名)



●NPO法人「故郷の海を愛する会」主催事業に協賛

7月26日 JMU造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海

12月8日 もうすぐクリスマス。遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

●テレビ・新聞等における本校行事・学生活動の報道 31件[13]

●鳥羽市HP、自治会誌、同窓会誌での学生活動記事掲載

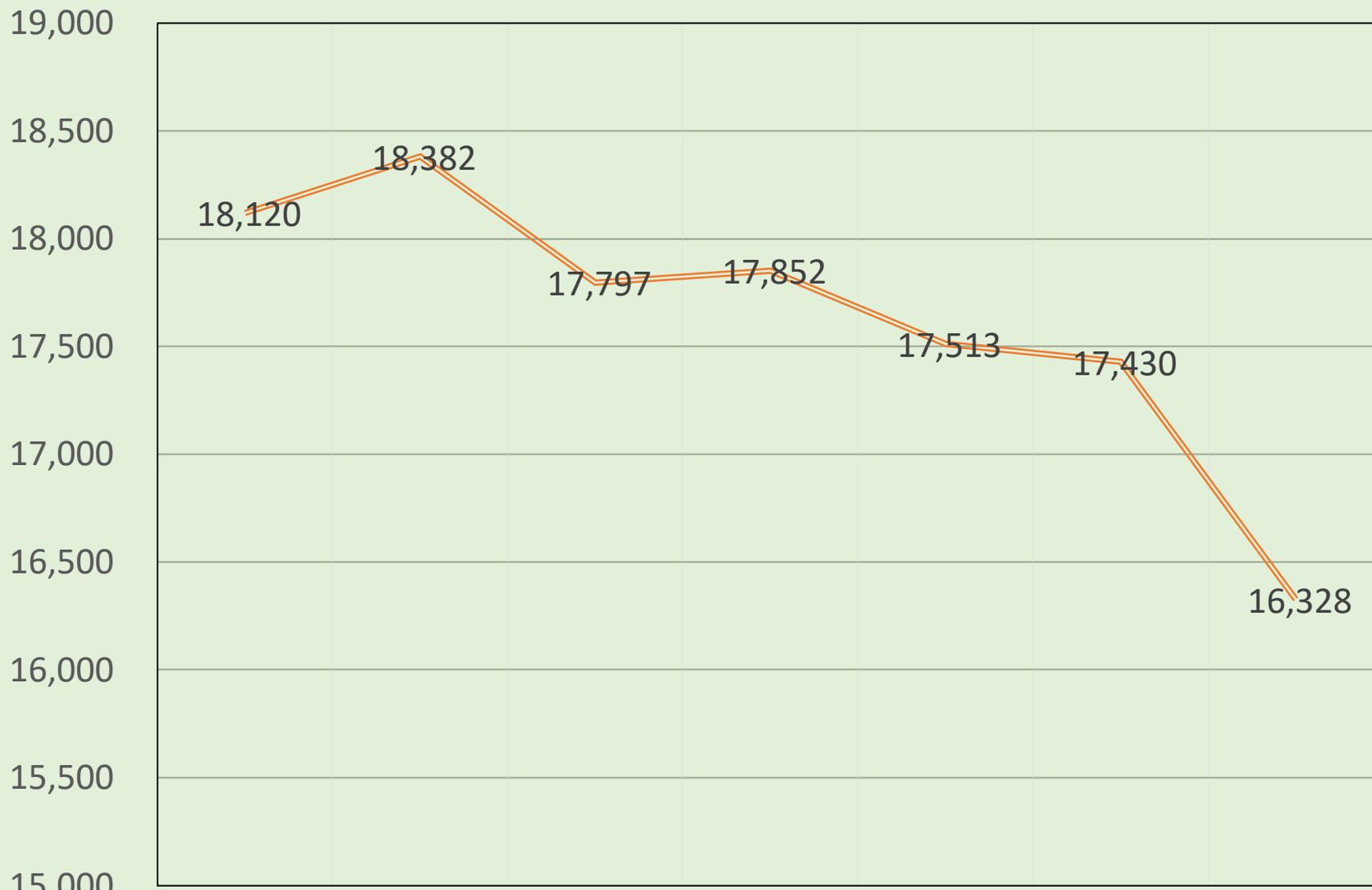
●HPをリニューアルし、積極的な情報発信に努めた。

情報発信はトピックス29件[12]、学生の活躍14件[13]

入学志願者

三重県内中学校卒業生徒数

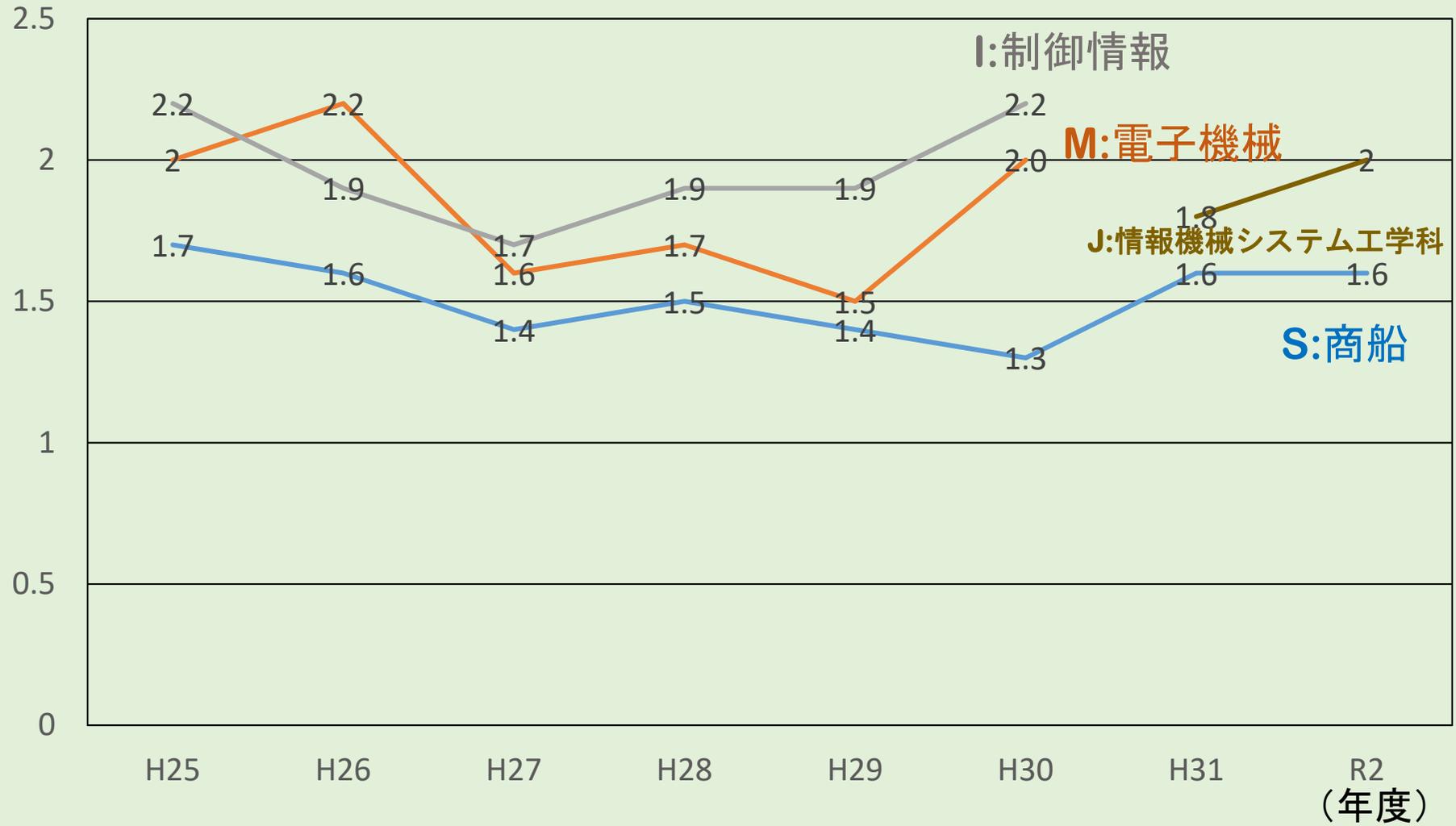
(人)



H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31

(高校入学年度)

志願者倍率

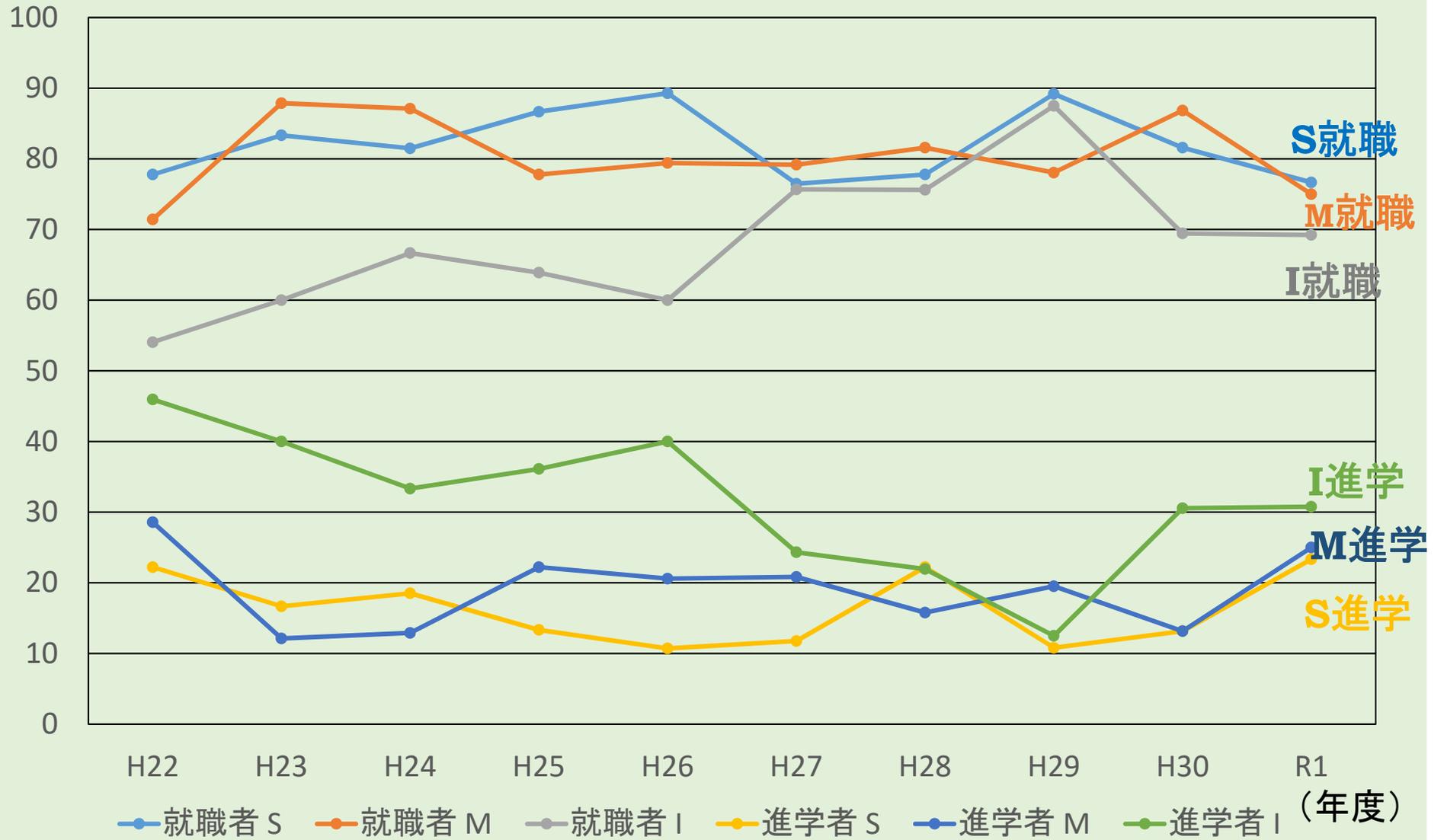


— 商船学科 — 電子機械工学科 — 制御情報工学科 — 情報機械システム工学科

就職・進学

就職・進学率

(%)

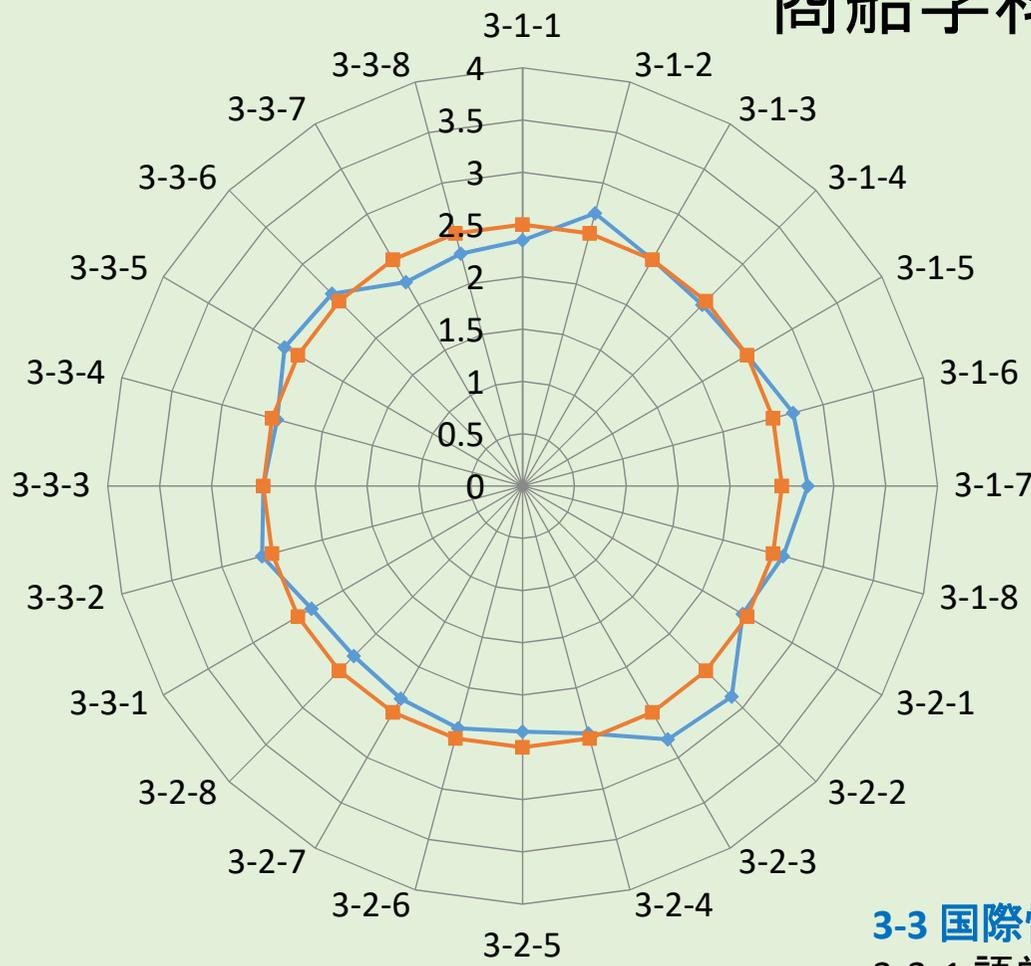


就職+進学率 ほぼ100%

3年間における教育目標達成度

(新4年生に実施)

商船学科



3-1 人間性と教養(平均2.5)

- 3-1-1 一般常識
- 3-1-2 判断力
- 3-1-3 礼儀
- 3-1-4 思いやり
- 3-1-5 協調性
- 3-1-6 積極性
- 3-1-7 責任感
- 3-1-8 リーダーシップ

3-2 創造性(平均2.5)

- 3-2-1 基礎学力
- 3-2-2 専門知識
- 3-2-3 専門的技術力
- 3-2-4 発想力
- 3-2-5 計画力
- 3-2-6 論理的思考力
- 3-2-7 課題発見・解決能力
- 3-2-8 意欲・粘り強さ

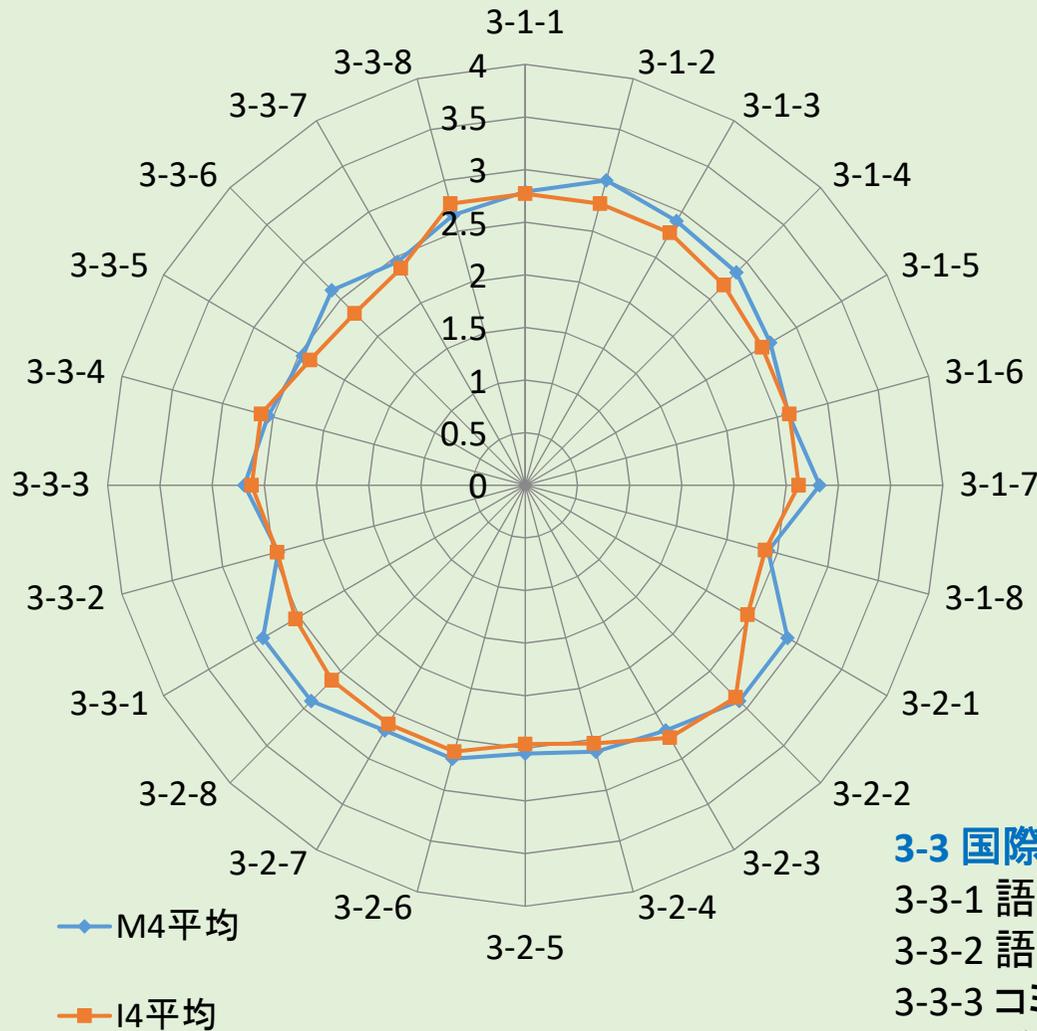
3-3 国際性(平均2.5)

- 3-3-1 語学力(日本語)
- 3-3-2 語学力(英語)
- 3-3-3 コミュニケーション能力
- 3-3-4 プレゼンテーション能力
- 3-3-5 国際的な視野
- 3-3-6 探求心
- 3-3-7 発信力
- 3-3-8 状況把握力

◆ SN4平均

■ SE4平均

電子機械工学・制御情報工学科



3-1 人間性と教養(平均2.7)

- 3-1-1 一般常識
- 3-1-2 判断力
- 3-1-3 礼儀
- 3-1-4 思いやり
- 3-1-5 協調性
- 3-1-6 積極性
- 3-1-7 責任感
- 3-1-8 リーダーシップ

3-2 創造性(平均2.7)

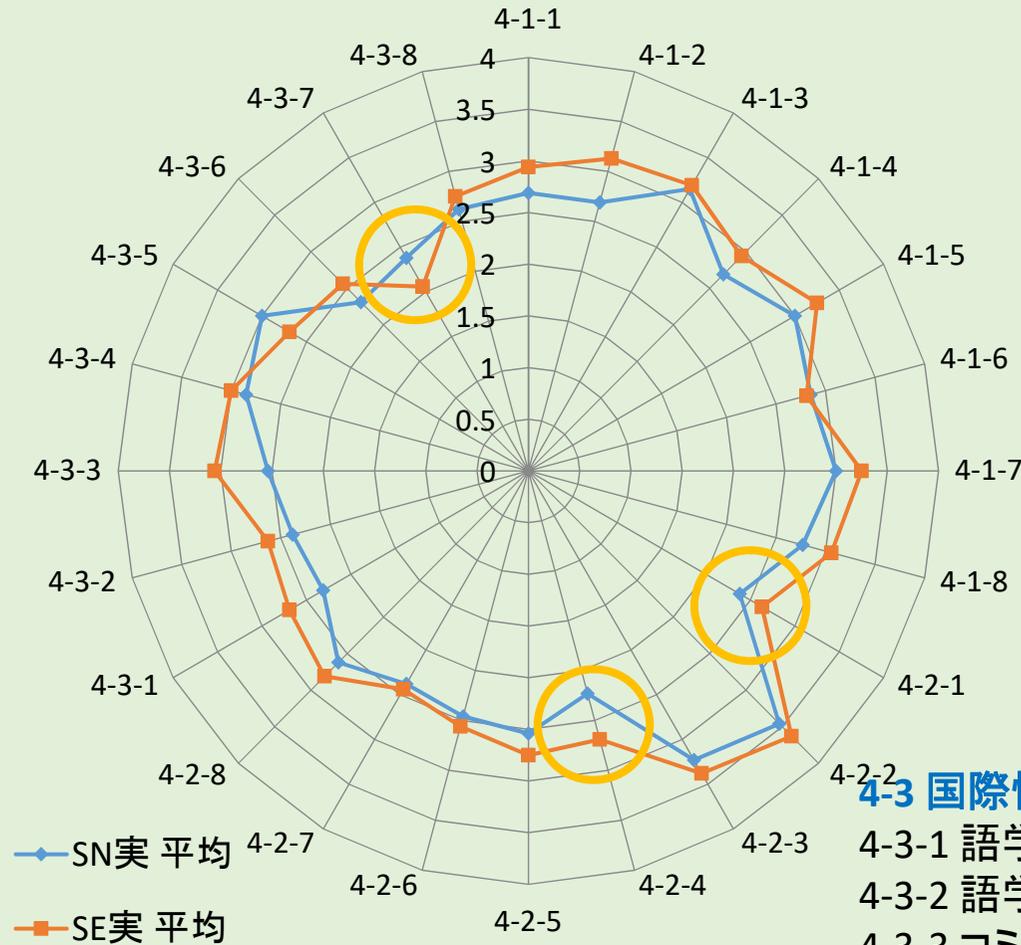
- 3-2-1 基礎学力
- 3-2-2 専門知識
- 3-2-3 専門的技術力
- 3-2-4 発想力
- 3-2-5 計画力
- 3-2-6 論理的思考力
- 3-2-7 課題発見・解決能力
- 3-2-8 意欲・粘り強さ

3-3 国際性(平均2.6)

- 3-3-1 語学力(日本語)
- 3-3-2 語学力(英語)
- 3-3-3 コミュニケーション能力
- 3-3-4 プレゼンテーション能力
- 3-3-5 国際的な視野
- 3-3-6 探求心
- 3-3-7 発信力
- 3-3-8 状況把握力

卒業時における教育目標達成度

商船学科卒業生(令和元年9月卒業)の教育目標達成度



4-1 人間性と教養(平均3.0)

- 4-1-1 一般常識
- 4-1-2 判断力
- 4-1-3 礼儀
- 4-1-4 思いやり
- 4-1-5 協調性
- 4-1-6 積極性
- 4-1-7 責任感
- 4-1-8 リーダーシップ

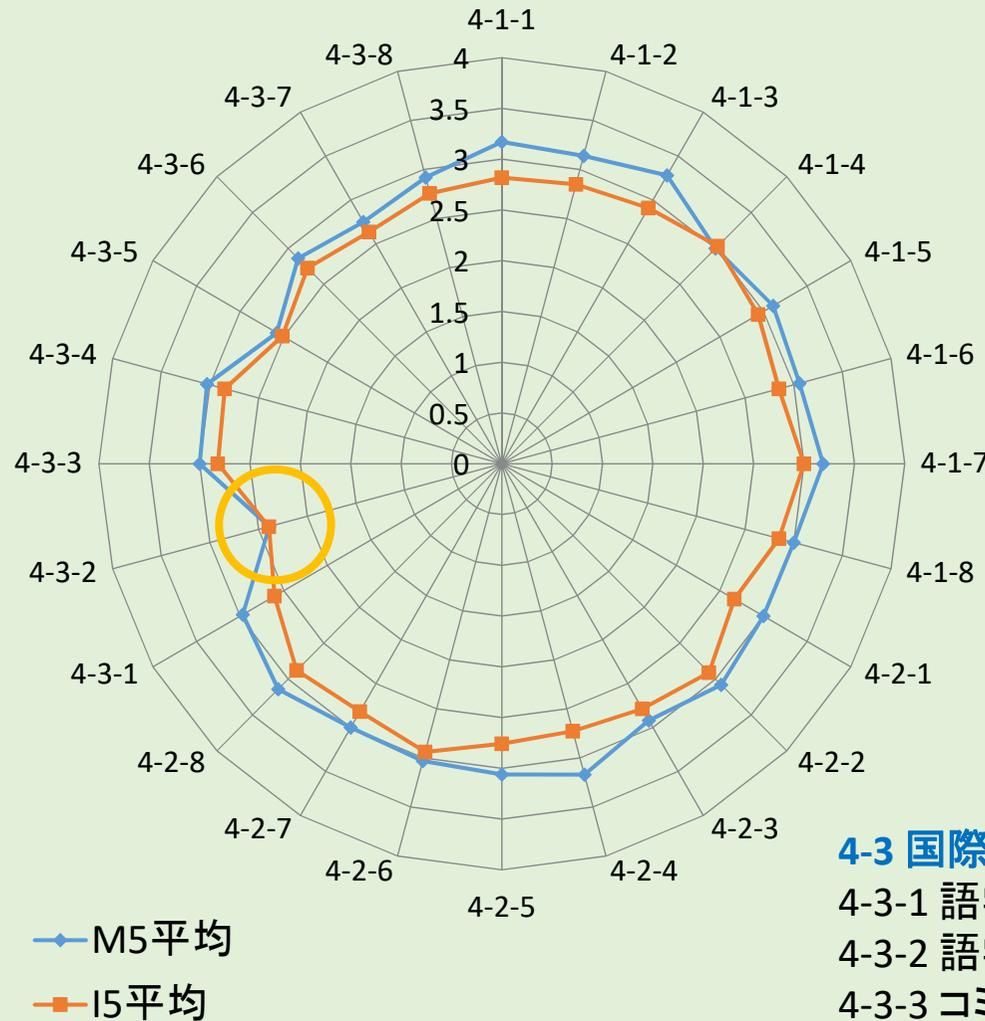
4-2 創造性(平均2.8)

- 4-2-1 基礎学力
- 4-2-2 専門知識
- 4-2-3 専門的技術力
- 4-2-4 発想力
- 4-2-5 計画力
- 4-2-6 論理的思考力
- 4-2-7 課題発見・解決能力
- 4-2-8 意欲・粘り強さ

4-3 国際性(平均2.6)

- 4-3-1 語学力(日本語)
- 4-3-2 語学力(英語)
- 4-3-3 コミュニケーション能力
- 4-3-4 プレゼンテーション能力
- 4-3-5 国際的な視野
- 4-3-6 探求心
- 4-3-7 発信力
- 4-3-8 状況把握力

工業系学科卒業生(平成30年3月卒業)の教育目標達成度



4-1 人間性と教養(平均3.0)

- 4-1-1 一般常識
- 4-1-2 判断力
- 4-1-3 礼儀
- 4-1-4 思いやり
- 4-1-5 協調性
- 4-1-6 積極性
- 4-1-7 責任感
- 4-1-8 リーダーシップ

4-2 創造性(平均2.9)

- 4-2-1 基礎学力
- 4-2-2 専門知識
- 4-2-3 専門的技術力
- 4-2-4 発想力
- 4-2-5 計画力
- 4-2-6 論理的思考力
- 4-2-7 課題発見・解決能力
- 4-2-8 意欲・粘り強さ

4-3 国際性(平均2.7)

- 4-3-1 語学力(日本語)
- 4-3-2 語学力(英語)
- 4-3-3 コミュニケーション能力
- 4-3-4 プレゼンテーション能力
- 4-3-5 国際的な視野
- 4-3-6 探求心
- 4-3-7 発信力
- 4-3-8 状況把握力

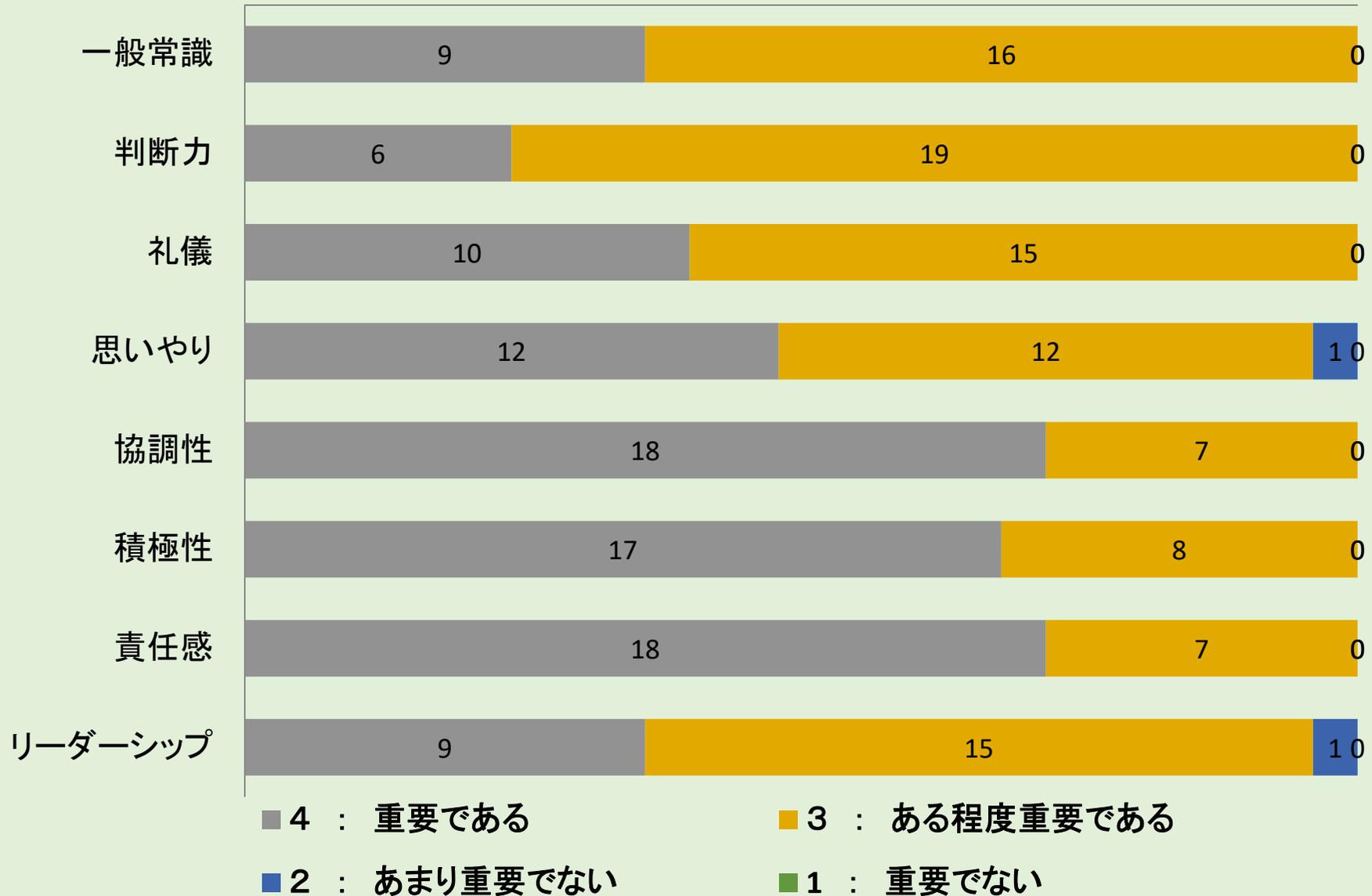
満足度アンケート

就職・進学先

(平成29年度実施(前年度報告済み))

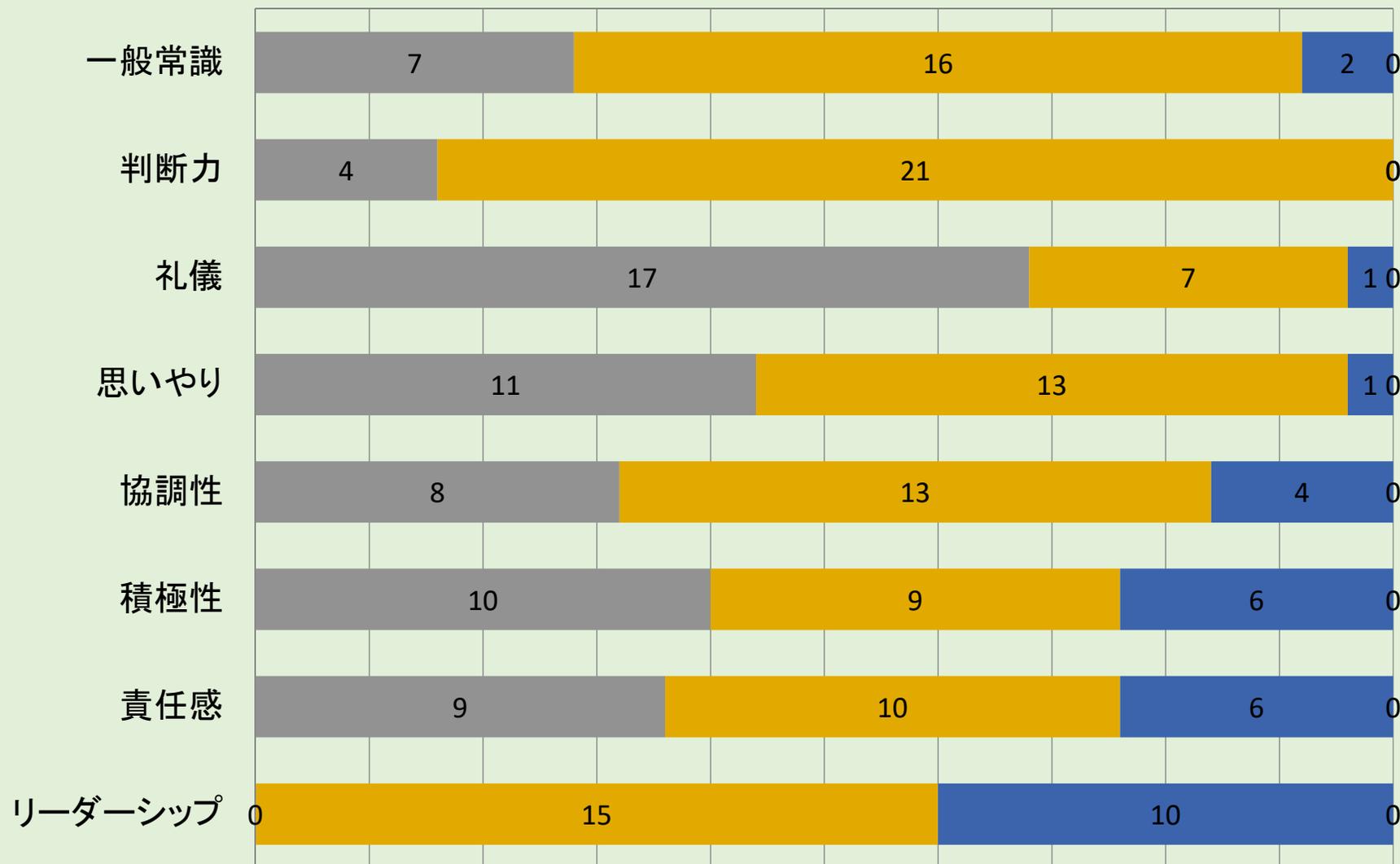
本校の教育で【人間性と教養】はどの程度重要ですか

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



本校の教育で【人間性と教養】がどの程度身についているか

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

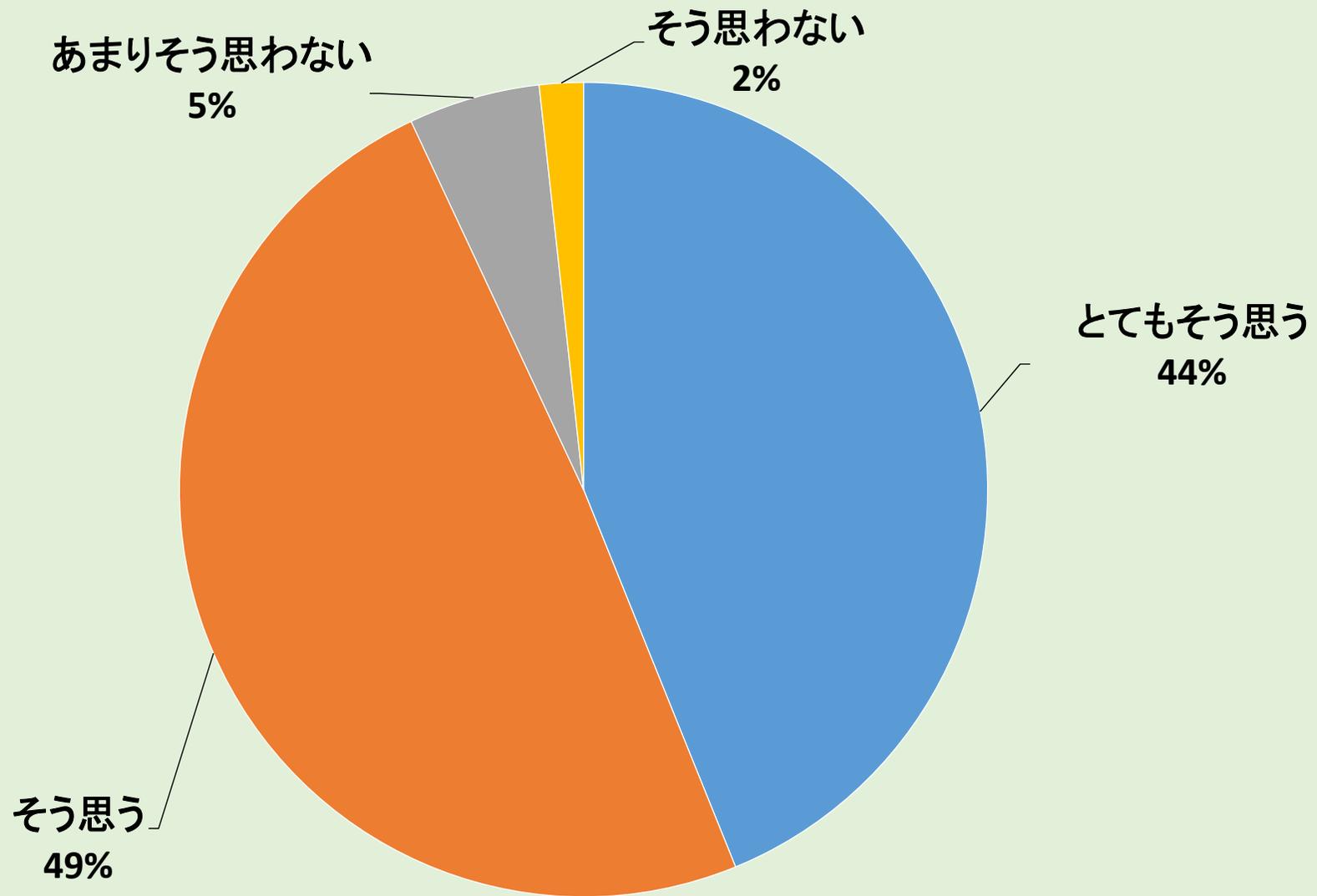


■ 4 : 身につけている ■ 3 : ある程度身につけている
 ■ 2 : あまり身につけていない ■ 1 : まったく身につけていない

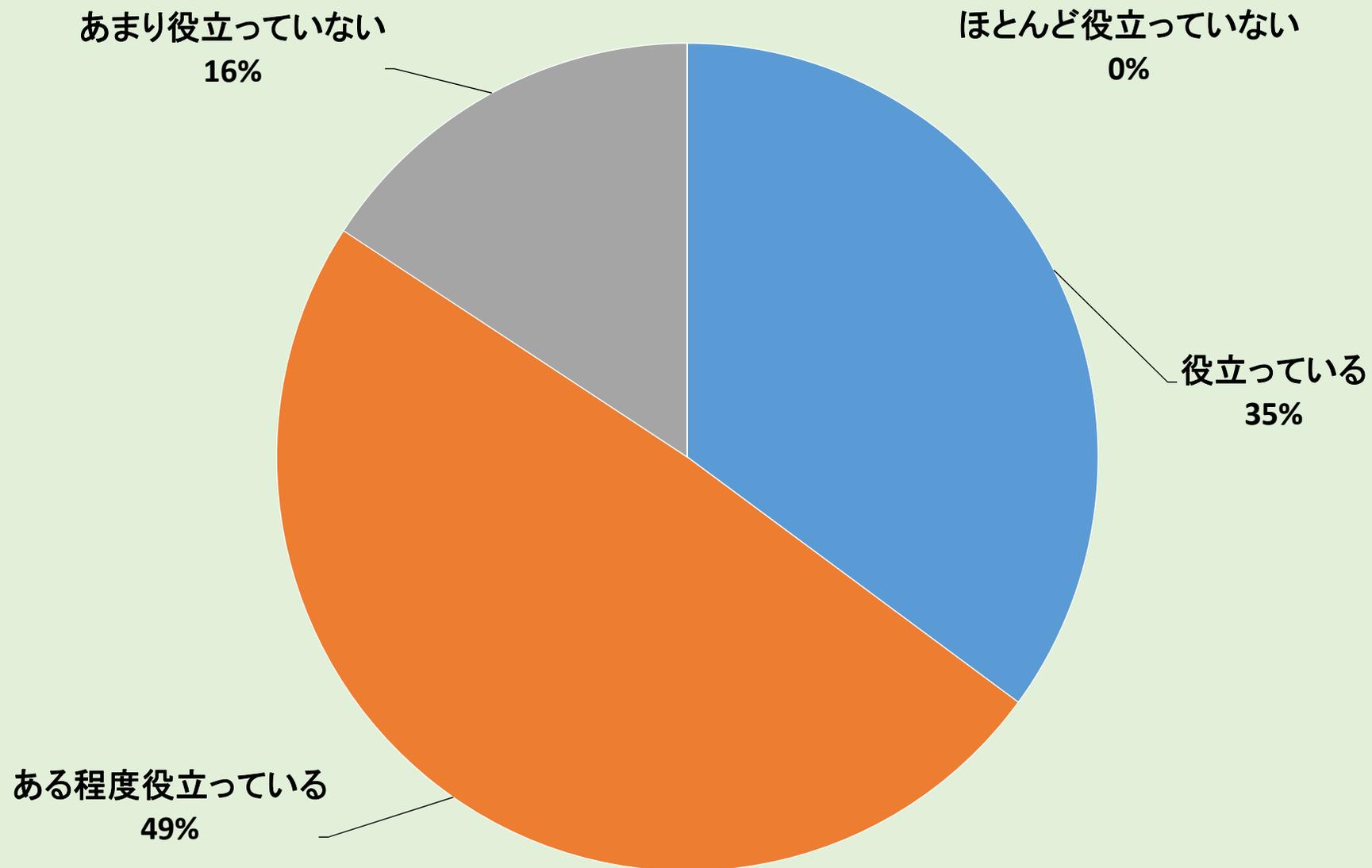
卒業生・修了生

(平成29年度実施(前年度報告済み))
実施方法は、すでに卒業・修了したOB・OGを対象に、卒業研究・特別研究の指導教員から依頼した。

本校の教育内容、身についた能力について 本校に在学してよかったか



学校で学んだことは、役に立っていますか（卒業後、役に立つと思うか）



教育改善

学生のポテンシャルを引き出す

入学生の基礎学力が低い

学業不振→原級留置・進路変更
生活の乱れ→学業不振・懲戒
将来に対する不安→ミスマッチ・学業不振

どうするか？

どのようにして？

入学志願者のレベルを向上させる

入試改革

平成31年度から新入試制度導入

定員の確保は？

学びの魅力

平成31年度から学科改組



平成31年度は、改善項目の定着を図る

課題解決、企画を推進するしくみの定着

新入試制度（昨年度から）の定着で志願者倍率増加を図る

1. 推薦選抜

特別推薦

出願資格：2・3年生の評定の総計が72以上、かつ2・3年生の全科目3以上

出願書類：志望理由書、校長推薦書

選抜方法：書類選考、面接

一般推薦

出願資格：2・3年生の評定の総計が62以上、かつ2・3年生の全科目3以上

出願書類：志望理由書、校長推薦書

選抜方法：書類選考、作文、面接

2. 体験学習選抜（商船学科のみ）

出願資格：2・3年生の全科目3以上

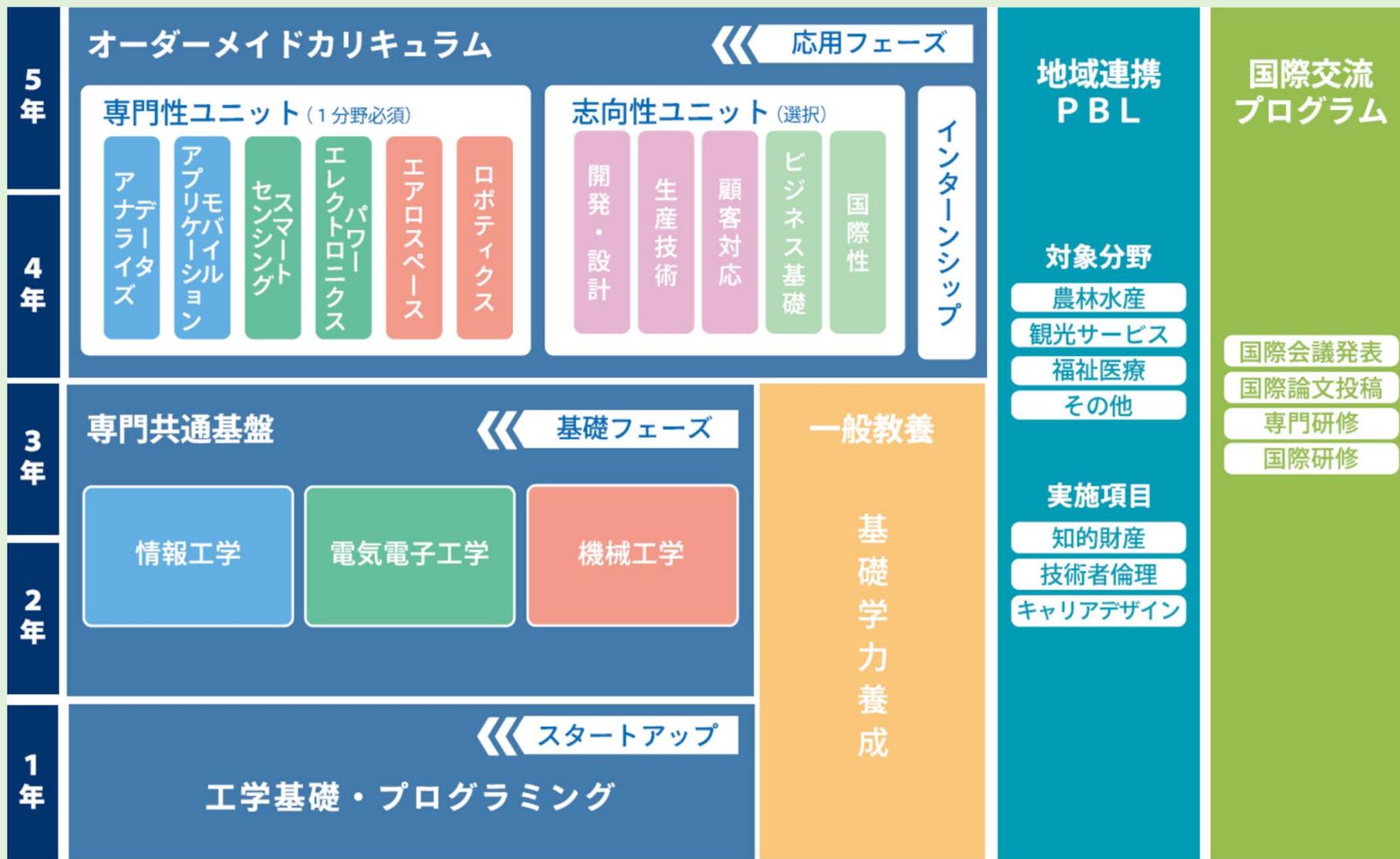
3. 学力検査選抜

推薦と体験で定員の85%確保

- 1. 推薦：1～3年生の合計96以上
- 2. 体験：全学科、1～3年生の合計81以上が望ましい（主要5科目は全て3以上）

「情報機械システム工学科」の1年生が入学

地域課題を解決するPBL(Project Based Learning)チームに1年生から所属し、地域産業や文化を理解し、工学的な解決法を提案できる実践的技術者を輩出する



学生のための3つの支援室

学修推進支援室

- (1) 学生の学力向上に関すること。
- (2) 学生の学修を支援するために必要な方策の検討及び実施に関すること。
- (3) 教育改善に関する調査・研究に関すること。
- (4) 授業改善計画の立案、実施、評価及び再構築に関すること。
- (5) 教員の資質向上に関すること。

キャリア教育推進室

- (1) 本校におけるキャリア教育の設計、改善、実装に関すること。
- (2) 学生のロードマップ(将来構想)に関すること。
- (3) 就職及び進学に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (4) 就職のための指導と支援に関すること。

グローバル教育推進室

- (1) 学生及び教職員の英語力向上に関すること。
- (2) 国際交流プログラムに関すること。
- (3) 学内におけるグローバル化推進に関すること。
- (4) 留学生の受入れ及び指導に関すること。
- (5) 海外の機関との交流及び連携協力に関すること。

学修推進支援室

平成31年度の活動

「基礎学力定着」
「原級留置率の低減」

学生の学力向上・学修支援

(1)「学修推進支援室」の運営

- 「学修推進支援室」(空き教室を利用)を設置し、学生の授業外の学修を支援するために自習の場を提供する。
- 支援室には平日1時間程度支援室員(教員)もしくはTA(専攻科生)が常駐し、学科学年に関わらず学習のアドバイス、支援をする。
- 一般教育科など実験室を持たない教員が補習や勉強会を開く場として利用した。
- 支援室は、グループ学習にも対応できるようにテーブルを配置し、ホワイトボードも設置した。また、前方は講義に対応できるように教室と同じ配置とした。
- 学科学年が異なる学生グループ複数が同時に学習できる空間とした。
- 各教員からの提供により教科書・参考書を数十冊常備する。
- 試験の過去問題を提供可能な教員から収集し、学生が利用できるようにした。



平成29年9月26日
学修推進支援室

学修推進支援室 活動紹介

勉強の悩みを相談できる人はいますか？

- 授業についていけないから何とかしたい
- わからない問題を気軽に質問したい
- 自学自習の勉強方法のアドバイスが欲しい などなど

活動内容 ☆ 個々の学生の質問や勉強の悩み相談など
☆ 基礎学力向上のための勉強会・補習の企画運営

活動場所 1号館3階 共用室1

活動日 放課後(下記参照)

時間	15:00-17:00	15:30-18:30	15:30-18:30	16:00-17:00	15:30-18:30
担当	田中先生	小田先生	中井先生	北原先生	亀谷先生

☆ 担当教員がなくても、放課後に部屋が空いているときは自由に自習室として使うことができます！

担当教員からひとこと！

- 田中(名) 先生 ... 勝手に私に入らなくてもいいので気軽にきてください。学修推進支援室の勉強会を開催しています。
- 小田(名) 先生 ... わからないところや勉強法について、一緒に考えてみましょう！
- 中井(名) 先生 ... 授業中の分からないところは授業中も大丈夫です。一緒に考えてみましょう。
- 北原(名) 先生 ... 授業が終わらない、テスト前に勉強したいなどの悩みを相談して欲しい。資料・情報によるサポートも可能です。
- 亀谷(名) 先生 ... 必ずしも先生でもなくてもいいので、気軽にどうぞ！

(2) 要支援者の支援

- 単位不認定の恐れがある学生(要支援者)の情報を共有し、クラス担任と教科担当教員で対応と対策の実施を要請した。
- 要支援者の一部は、各科の室員が自身の支援室常駐時間を用いてフォローを行った。

(3) 全学科1年生の数学補習

- 全学科1年生の中で、支援が必要と判断した学生に、週2限を「支援室補習」として出欠を取る授業を設けた。基礎数学で出題された演習課題に各自が取り組む時間とし、教員がフォローする形を取った。また、成績上位者に協力を求め、成績下位者とのグループワークを行った。その結果、数学の単位認定試験は1年生で4名に留まった。

(4) スタディサポート・CBTの活用(1-3年生)

- 入学当初のスタディサポート(業者テスト英・数・国)の結果を用いて支援を必要とする学生の選定、習熟度別授業(一般基礎教育1・英語)のクラス分けを行った。
- 入試成績、スタディサポート、CBTを用いて学生の成績の追跡調査を行っている。

教員の資質向上

(1) 授業公開の実施

- 令和元年12月16日～20日の5日間実施
 - ✓ 他教員の授業見学すること、および自身の授業を見学してもらうことで学校全体の授業の質の向上を図る。
 - ✓ 専門科目担当教員は一般基礎科目の授業内容の把握。
 - ✓ 一般基礎科目担当教員は専門科目での応用。
 - ✓ 見学後は、「**見学記録・コメントシート**」を記入し、授業担当教員へフィードバックとした。27シートのフィードバックが得られたが、昨年度の24枚から微増であるが、周知の徹底及び実施方法の改善が必要。
- 授業アンケートで評価の高い授業、AL(アクティブラーニング)を試みる授業を見学推奨した。

(2) 教員FD

- 令和2年3月4日に実施(新型コロナウイルスの影響により延期)
- ICT活用教育を含むALの強化・新学科の授業運営の検討を目的として開催
「J科2教室合同授業の実施についての検討(J科 北原・中井室員)」

(3) その他

- 第3ブロックAL推進研究会に参加し、他高専とも情報共有・連携を行ってきた。

令和2年度の活動計画

学生の学力向上・学修支援

(1) 学修推進支援室の運営

(2) 要支援者のリストアップと支援

(3) 数学・物理の基礎学力向上、およびCBT試験の支援(1-3年生)

(4) 1年生全学科の数学の基礎教育の実施

(5) 進学希望者の調査と支援内容の検討

- 担任、教科担当および学生相談室とも情報共有を行い要支援者の利用を増加させる。
- 今年度、高学年のチュータを週1回1時間として導入したが、来年度は週2回程度に増加させるなど機能の充実を図る。
- なお、31年度の原級留置数は22名(28年度31人、29年度25人、30年度25人)であり、顕著な減少は見られない。

教員の資質向上

(1) 授業公開の実施

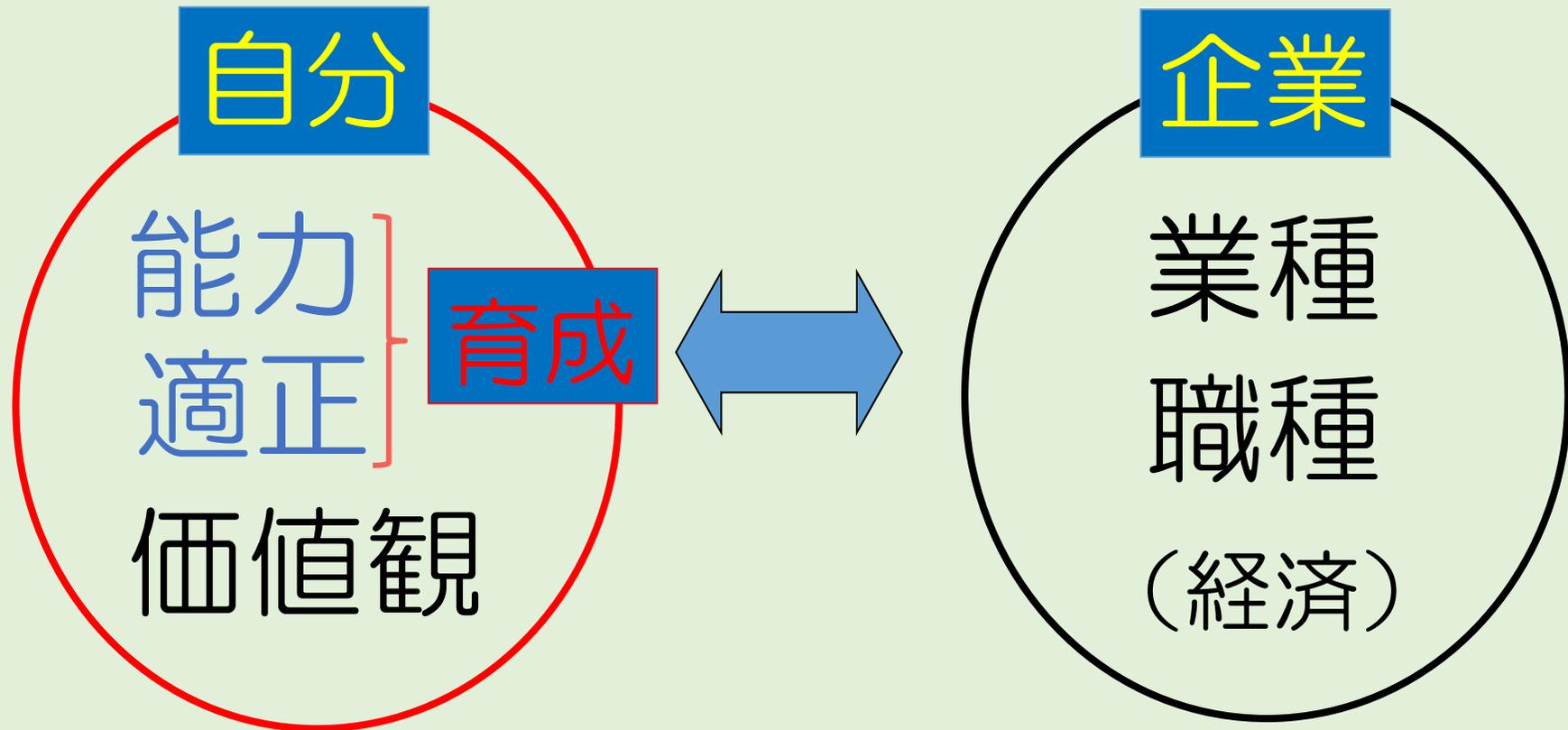
(2) 教員FDの実施

(3) 授業アンケートの改善、授業改善計画の立案、実施

- ALを用いた授業を学内に浸透させることが必要である。
- 他高専の事例、ALを行っている教員の授業計画、教員FD、ワークショップ、授業アンケート利用などを通じてALの普及と授業改善を図る。
- 授業改善計画の実施、評価について、PDCAがうまく回るような形への再検討を行う予定である。

キャリア教育推進室 (学生主事室連携)

キャリア教育の戦略



自己分析・成長

+

企業分析

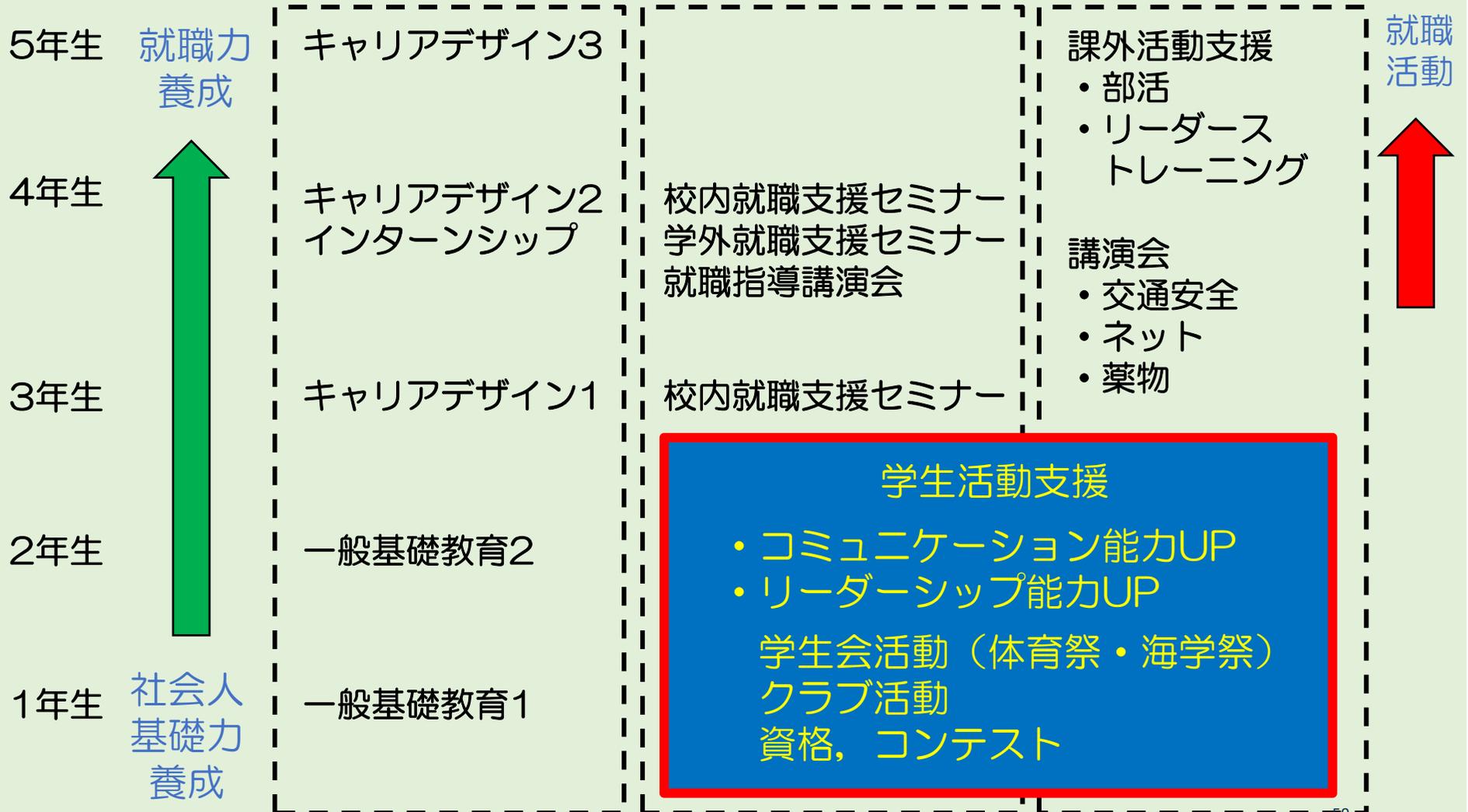


企業に自分を選んでもらう

キャリア教育支援

授業

就職支援



今年度の活動（１）

（１）授業科目

● 社会人基礎力養成(学科横断型授業)

一般基礎教育1(1年生)

メンタルヘルス・コミュニケーションスキル(本校カウンセラー、臨床心理士)、
スマホ安心講座(KDDI講師)、消費者教育(鳥羽市出前トーク講師)、
性教育(元中学校養護教諭)、
学生生活の心得・SNS(教員)、検定試験について(教員)、
国際交流プログラム(グローバル教育推進室長)、
キャリア形成・社会意識形成(学生主事・キャリア教育推進室長)

一般基礎教育2(2年生)

日本国憲法(三重県弁護士会弁護士)、ライフプランを考える(日本FP協会)、
デートDV防止啓発講座(鳥羽市子育て支援室講師)、防災(自衛隊)、
三重県議会出前講座(三重県議会)、
現代社会入門(教員)、キャリア形成(教員)

● 就職力養成

キャリアデザイン1(3年生)

コミュニケーション力育成、自己(意識、能力、実績)分析

キャリアデザイン2、校外実習(4年生)

企業・職種・地域分析調査、インターンシップ準備・報告、履歴書作成

(2) 講演会

● 社会人基礎力養成

「身近な事例から学ぶ正しく生きるための教訓」

(SNSに関するトラブルなどへの注意喚起を目的とした講演会)

本科3、4年生、令和2年2月5日、**鳥羽警察署生活安全課** 講師

● 就職力養成

(キャリアデザイン1・2と連携した学科横断型就活力養成授業プログラム開発)

Webテスト(適正分析)、エントリーシート講座、最新就活情報講座、模擬面接

3・4年生、令和2年6月18日、11月19日、11月26日、**(株)マイナビ** 講師

JOBキャラバン

4年生、令和2年7月1日、**COC+ 事業**、**県内企業4社人事担当者** 講師

(3) セミナー

● 就職力養成

校内就職支援セミナー

本科3・4年生、専攻科1年生、令和2年2月7日、103社来校

人材広告企業のインターンシップ説明会、就職セミナー参加支援(12月～3月)

マイナビ、メディア総研、学研アソシエ

令和元年度 校内就職支援セミナー

令和2年2月7日(金)参加企業103社, 有料化(財源確保)
(平成29年度55社、平成30年度68社)





グローバル教育推進室

平成31年度（令和元年度国際交流）

No	事業名	担当	派遣先	対象	実施日	募集人数 (予定)	参加費用(予定)	備考
1	MELキャンプ	鳥羽	シンガポール	全学科 1年生以上	3月	6名程度	約30万	
2	SMA 鳥羽丸トレーニング	鳥羽	鳥羽商船	SMA学生 本校学生	9月	SMA13名程度 本校学生13名程度	—	全室員で対応
3	Toba SP Project	鳥羽	鳥羽商船	SP学生 本校学生	3月	SP学生3名	—	M科教員で対応
4	トビタテ！留学JAPAN				R1年8月18日 ～ R2年3月31日	2名採用	—	
5	KCC 国際インターンシップ	富山	アメリカ合衆国 ハワイ州カウアイ 島	商船学科 3年生以上	3月	本校より3名 (3校で10名)	約40万	引率教員 2～3名
6	高専生のための英語 キャンプ	熊本	シンガポール	全学科 1年生以上	8月	全国で20名程度	約20万	引率教員 0～2名
7	アメリカ・オハイオ 州立大学派遣	鈴鹿	アメリカ合衆国 オハイオ州	全学科 4、5年生 専攻科生	9月		約30万	
8	NTMA研修	広島	フィリピン	商船学科 3・4年生	9月	航海コース2名 機関コース2名	約12万	引率教員1名 ※推進室員以外
9	海外現地法人 インターンシップ	機構	フィリピン、他	専攻科 1年生1年生 進学予定者		1名～2名程度	— (高専機構から補助あり)	引率教員 0～1名

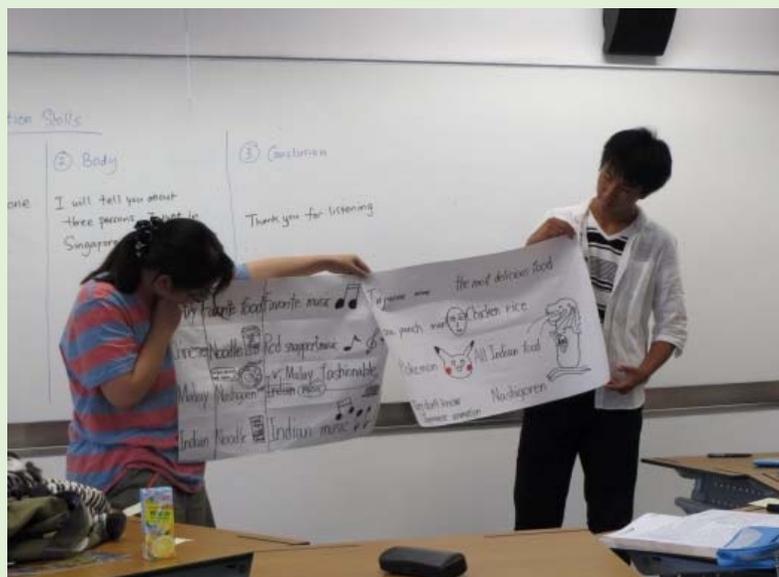
令和元年度の活動

国際交流事業

(1) MEL CAMP

SMA(シンガポール・マリタイム・アカデミー)の主催する乗船プログラム

- 3月に鳥羽、富山、広島の高専から10名の学生を派遣する予定であったが、新型コロナウイルスによるSMAの判断により9月に延期となった。
- 引率は常に2名体制を取っている。
- 乗船研修前にシンガポール人講師による3日間の英語集中講座を実施する。
- 日系企業の現地法人を訪問する。



語学研修



船内ワークショップ

(2) SMA鳥羽丸トレーニング

SMAから学生と引率教員を招待し、鳥羽丸で研修を行うプログラム

- 9月11日～9月18日に実施し、学生12名と引率教員1名を招待。
- 12名の本校学生にパートナー形式で交流を行った。
- 鳥羽市長を訪問し、本校の国際交流事業についてアピールする機会も設けた。



実習風景



プレゼンテーションの様子

(3)KCC国際インターンシップ

ハワイのKCC(カウアイ・コミュニティー・カレッジ)の協力のもと、伝統的航海術の講義を受講し、ライフセービングの実習などにも参加する、商船系高専5校が共同で行うプログラム。

- ホームステイで現地の生活様式を体験し、カウアイの人々との親睦を深める。
- 長年かけて建造された伝統カヌーのメンテナンス作業を行う。
- 屋外で生活をしながら、ハワイの文化を学ぶ。
- 平成29年度3月は本校から2名の学生が参加し、平成30年度は3名の学生が参加した。今年度は2月29日～3月21日で、3名の学生が参加する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により急遽中止になった。



オリエンテーション風景



カヌーのメンテナンス作業

(4) スタディキャンプinNZ2019

平成29年度より機構本部が主となり実施しているプログラムで、ニュージーランドのダニーデンという街でホームステイをしながら、オタゴ・ポリテクニクで研修を行うというものである。

- 8月29日～9月15日に実施した。全国から14名の高専生が参加し、本校から3名の学生を派遣した。
- SDGsを研修のテーマに取り上げ、午前中は語学研修、午後はフィールドワークも含めてSDGsに関わる講義、演習を行う。
- 特徴的なものとしては、全て同じキャンパスで行うため、午前中の研修において午後に行う実習で用いる用語も導入し、SDGsに関わる演習を一連の流れの中で行うことができる。



工場見学の様子



フィールドワークの様子

(5) 日タイ高校生ICTフェア

令和元年度より高専機構が学生受け入れを始めたタイのチュラポンサイエンスハイスクールで日本とタイの高校生が交流をしながら、ICT関連分野における発表を行うものである。今年度は12月19日～12月23日に実施された。

- 本校から4名の学生が参加し、2組に分かれて、発表を行った。
- タイの首相も訪れ、大々的にセレモニーが開催された。
- 現地のフィールドワークも行い、日タイの学生の親交を深めた。



ポスターセッションの様子



口頭発表の様子

(6) SP Project

シンガポール・ポリテクニクの学生が来校し、ゼミ形式でプログラムに取り組む

- 平成31年3月3日より、6週間の予定で3名の学生が来校し、本校教員の研究室にて演習に取り組んだ。
- プログラムの一環として、本校学生がサポートをしながら、鳥羽の近辺のフィールドワークを行う。
- 本校学生にとっては、国内にいながら、同じ専門分野を学ぶ留学生と交流を深める絶好の機会となっている。
- 令和2年の3月にも3名の学生が来日する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、急遽中止となった。



国際交流報告会での発表

(9)トビタテ！留学JAPAN

「トビタテ！留学JAPAN」は、平成25年に文部科学省を中心として始まった官民協働の海外留学支援制度

- 平成27年度に地域人材コース【三重県】に1名が合格した。
シアトル(9月15日～翌年2月29日)
- 平成29年度からは高校生コース、平成30年度には大学生コースにも合格し、実績を重ねてきている。
- 令和元年度は**高校生コースで2名**の学生が合格した。
スタディキャンプ in NZ 1名(8月29日～9月15日)
KCC国際インターンシップ(2月29日～3月21日)
- 今年度も高校生コースと大学生コースに数名の学生が応募し、一次選考の結果を待っている。

(11) 国際交流報告会

国際交流事業に参加した学生を中心に、本校に編入する留学生や本校で短期受入を行った学生による発表の場をして報告会を開催している。

第1回国際交流報告会平成30年4月10日(水)

1. KCC国際インターンシップ(Kauai, Hawaii)
2. Toba SP Project 2017(Singapore Polytechnic学生)
3. 留学生自己紹介(ラオスからの留学生)
4. モンゴル3高専視察出張報告(学生課教務係員)

第2回国際交流報告会平成30年11月6日(水)

1. スタディーキャンプinNZ2019(New Zealand Otago Polytechnic)
2. SMA鳥羽丸トレーニング2019(Singapore Maritime Academy)

英語力強化事業

(1) TOEIC特別対策講座

平成29年度から、外部講師を依頼して、TOEIC集中講座を開催している。授業のない3連休を利用した集中講義で、学生及び教職員が受講する。今年度は7月13日～15日に開催され、50名が参加した。



受講中の様子



3日間の講座を乗り切った様子

(2) 実用英検、技術英検(旧 工業英検)

- 実用英検については、一次試験の準会場として本校で受験できる。
- 技術英検については、本校が三重県の本会場となっている。

令和2年度国際交流の予定

No	事業名	担当	派遣先	対象	実施日	募集人数 (予定)	参加費用(予定)	備考
1	MELキャンプ	鳥羽	シンガポール	全学科 1年生以上	3月	8名程度	約30万	引率教員2名
2	SMA 鳥羽丸トレーニング	鳥羽	鳥羽商船	SMA学生 本校学生	9月	SMA15名程度 本校学生15名程 度	—	全室員で対応
3	Toba SP Project	鳥羽	鳥羽商船	SP学生 本校学生	3月	SP学生3名	—	I科教員で対 応
4	KCC 国際インターンシップ	富山	アメリカ合衆国 ハワイ州カウアイ 島	商船学科 3年生以上	3月	5高専で15名程 度	約40万	引率教員 2~3名
5	高専生のための英語 キャンプ	熊本	シンガポール	全学科 1年生以上	8月	全国で20名	約20万	引率教員 0~2名
6	スタディキャンプ in NZ	八戸	ニュージーランド	3年生	9月	全国で30名	約35万	引率教員1名
7	アメリカ・オハイオ 州立大学派遣	鈴鹿	アメリカ合衆国 オハイオ州	全学科 4、5年生 専攻科生	9月		約30万	

教育の質の向上

学科改組

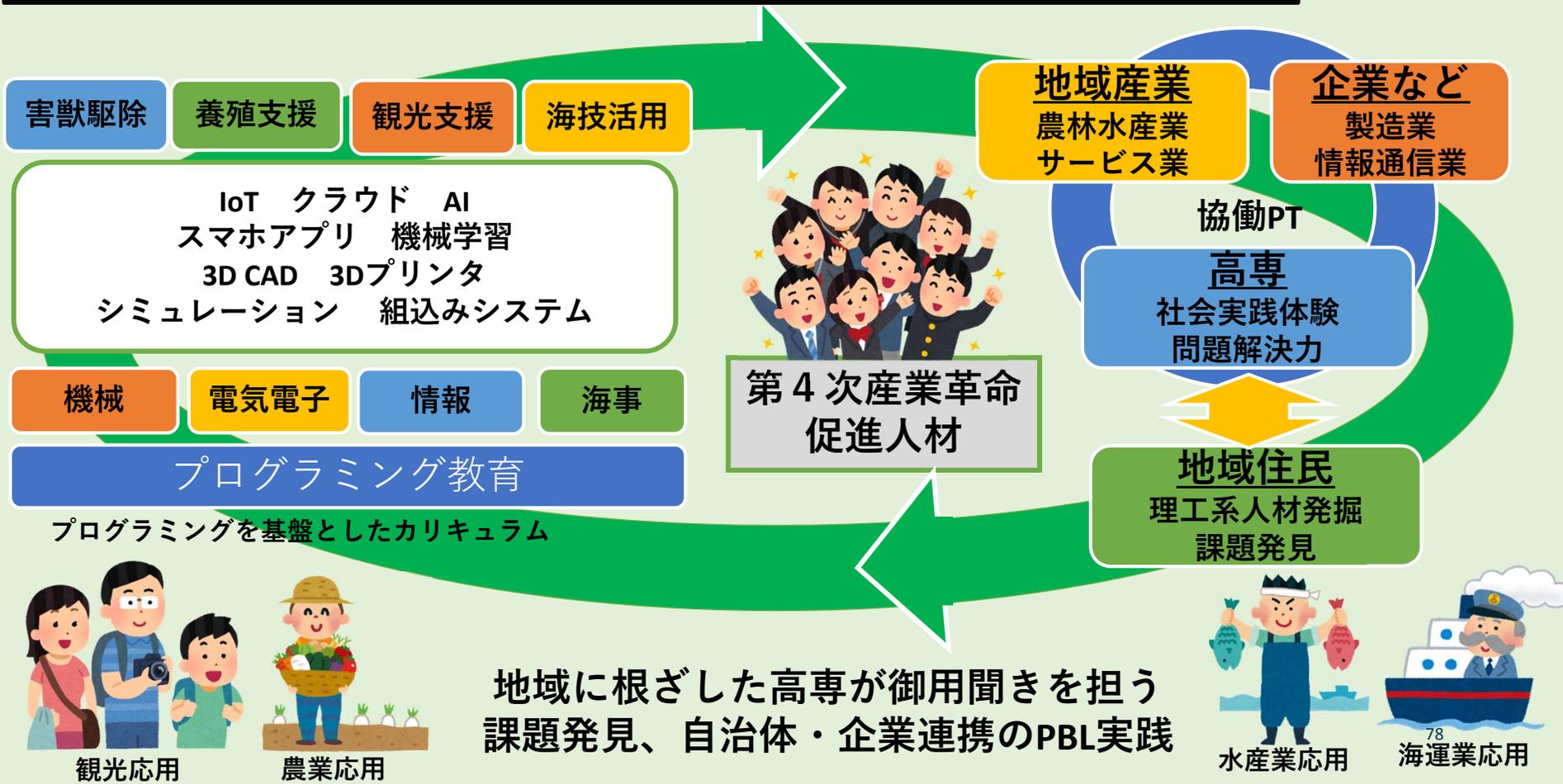
情報機械システム工学科

今年度、1年生が入学

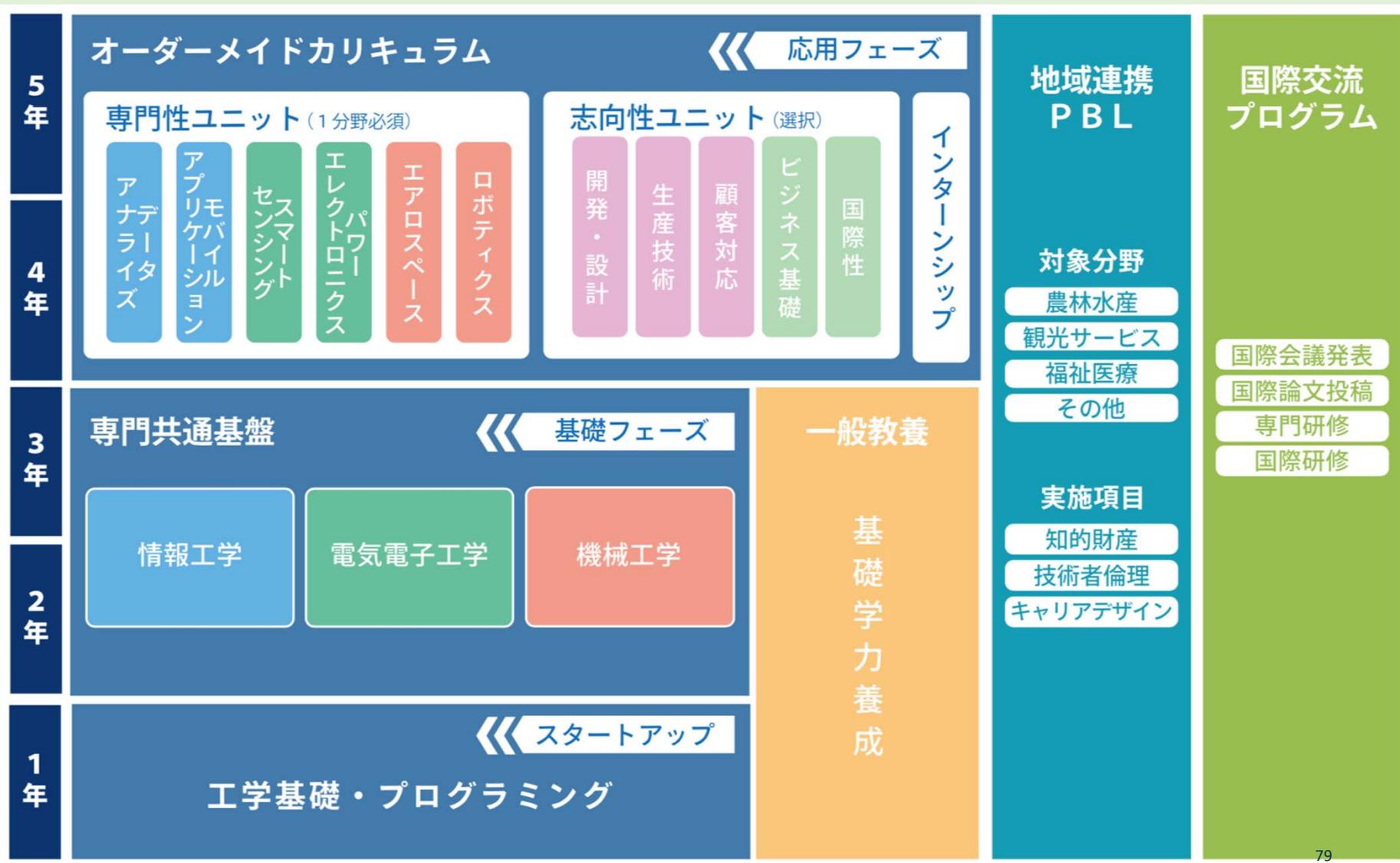
第4次産業革命を促進するプログラマ育成と地域活性モデル

農林水産・観光業が盛んな三重県の抱える課題をPBLで解決し、地域貢献はもちろん、学生の技術向上を図り、知の拠点となる。

- 入学半年間の集中したプログラミング教育で論理的思考能力育成
- 機械・電気電子・情報・海事分野、将来活躍する分野での適用
- 学生の特性に合わせた多様な「Specialist・Generalist」教育システム



情報機械システム工学科・カリキュラム



オーダーメイド型カリキュラム

専門性ユニット

技術者としての専門分野の学習

データアナライズ

ビッグデータ解析、人工知能による認識処理などを実装できる技術者を育成します。

モバイルアプリケーション

スマートフォンやタブレット端末による各種アプリケーションを開発できる技術者を育成します。

スマートセンシング

身の回りにある情報を定量的に計測し、分析・可視化を行う技術者を育成します。

パワーエレクトロニクス

住宅や事務所向けの電力供給・管理システムの整備、保守を担う技術者を育成します。

エアロスペース

航空宇宙産業の製造現場で活躍するため、生産現場の管理運営能力を持つ技術者を育成します。

ロボティクス

生産を担うロボットの開発、設計、製作、制御、整備ができる技術者を育成します。

志向性ユニット

職種選択のための学習

開発・設計

開発・設計業務に携わるために必要な高度な理数系の知識を修得します。

生産技術

生産現場の取りまとめとして幅広く技術を理解し、各部門の要望をまとめる調整能力を培います。

顧客対応

電気機器やビルシステムの導入・保守運用をするための顧客との交渉力を養います。

ビジネス基礎

ビジネス的な視点を持つ技術者として活躍するために、経営・管理などを学びます。

国際性

グローバルな視野を持ち、英語を中心とした語学力の向上を進めます。

BYODによる80名一斉授業



地域連携PBL 1次産業のIT化支援



**KOSEN4.0イニシアティブ
(平成29・30年度採択事業)**

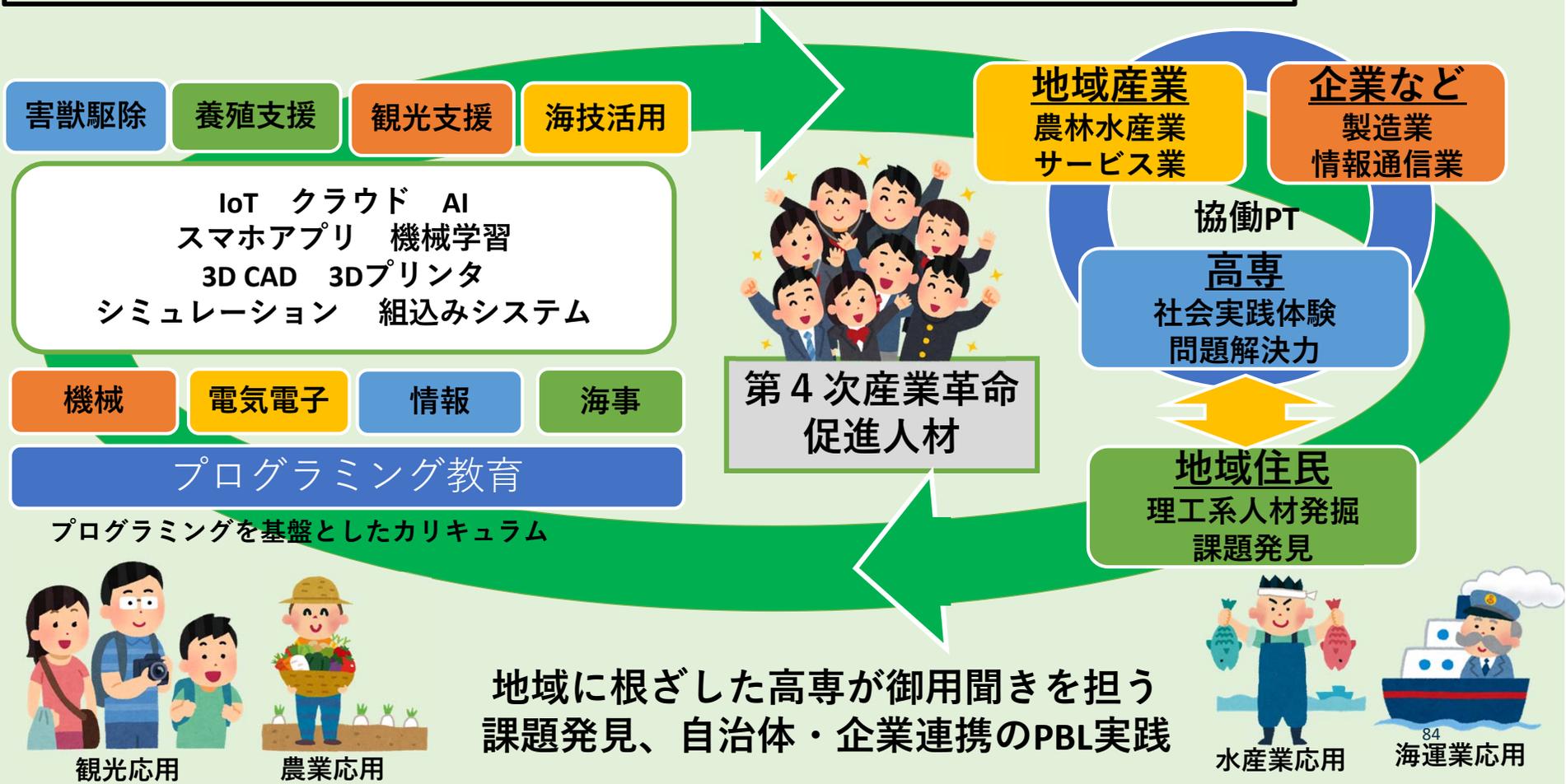


学科改組の素地を作る

第4次産業革命を促進するプログラマ育成と地域活性モデル

農林水産・観光業が盛んな三重県の抱える課題をPBLで解決し、地域貢献はもちろん、学生の技術向上を図り、知の拠点となる。

- 入学半年間の集中したプログラミング教育で論理的思考能力育成
- 機械・電気電子・情報・海事分野、将来活躍する分野での適用
- 学生の特性に合わせた多様な「Specialist・Generalist」教育システム



第1回フォーラム（2018/02/23）



基調講演（三重大学・坂本教授）



パネルディスカッション

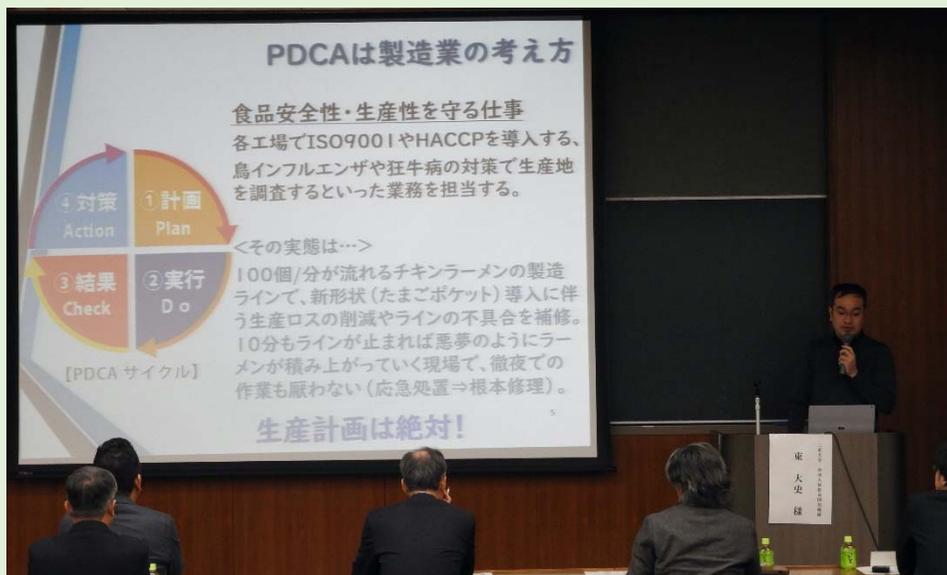


学生・教員による事例紹介（10件）



ポスターセッション（40件）

第2回フォーラム（2019/02/22）



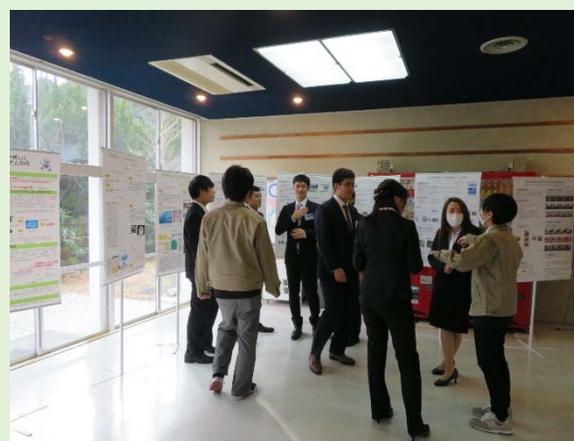
基調講演（三重大学・東先生）



パネルディスカッション（市長参加）



学生よる事例紹介



ポスターセッション



新海事人材育成プロジェクト
次世代海洋人材発掘プロジェクト

国立高専における次世代の海洋人材の育成に関する協議会

次世代の海洋人材の育成に関する取組

趣旨

- 海洋業界における社会ニーズの変化に伴い、グローバル化、ICT技術などに対応した海事・海洋のカリキュラムの高度化と実践を図るとともに、就職先での人材の定着に向け関係団体とキャリア教育を充実する。
- 小中学生向けの海事・海洋の魅力伝える広報活動に加え、地域の教育委員会や自治体などと連携し海洋教育の普及展開により、将来の優秀な人材確保を目指す。

【背景】

第三期海洋基本計画（平成30年5月）において、海上輸送の確保、海洋産業の振興、国際競争力強化、海洋環境の維持・保全、海洋立国を支える専門人材の育成と確保が求められている。

- 平成27年度から28年度
海洋人材育成にかかる実態調査等
- 平成29年度から30年度
国立高専と関係機関の連携によるプラットフォームを基にして、5商船高専において海事・海洋分野の人材育成（カリキュラム構築、教材開発、キャリア教育等）や海事・海洋の魅力伝える広報活動を実施
- 平成31年度
引き続き、海事・海洋分野の人材育成事業、海事・海洋の魅力伝える広報活動に取り組む。

国立高専における次世代の海洋人材の育成に関する協議会

富山高専専門学校
鳥羽商船高等専門学校
広島商船高等専門学校
大島商船高等専門学校
弓削商船高等専門学校

東京海洋大学
神戸大学
海事・海洋に関する協会等

国立高専と関係機関の連携によるプラットフォーム

1. 海事・海洋分野の人材育成事業の実施

実施事項

1. 現役の海事・海洋人材による遠隔キャリア教育実施、開発教材利用による実践と教材のブラッシュアップ
2. 海事人材の更なるグローバル化（海外駐在時の交渉や契約など高度な英語力）に対応した教材開発と実践
3. 外航船舶乗船による教員FD実施

協議会
支援
(人材派遣)

「日本船主協会」
「全日本船舶職員協会」
「全日本海員組合」
「国際船員労務協会」



海事・海洋分野の社会へのスムーズな接続と裾野拡大に向け、
1. 出口と連携したキャリア教育実践、2. 商船学科入学に向けての活動

2. 海事・海洋の魅力伝える広報活動の実施

実施事項

1. 海事系大学や工業高専との連携による総合体験型学習行事【高専フェア】開催と小中学生への海洋教育
2. 初等中等教育における指導要領改定にかかる海事・海洋人材のキャリア教育副読本の開発と実践

協議会
支援
(人材派遣・施設提供)

「日本船主協会」
「全日本船舶職員協会」
「日本海洋少年団連盟」
「海技教育機構」



次世代の海洋人材の育成に関する事業

(1. 海事・海洋分野の人材育成事業の実施)

グローバル化と技術革新の進む海運業界のニーズに将来にわたって応え続けることのできる、次世代の海事人材を育成するための新しい教育システムを構築すべく、過去の企業対象アンケート調査(H28)や卒業生対象アンケート調査(H26, H30)、またこれまでの協議会における議論を踏まえ、以下4つのサブプロジェクトを推進中である。

海事人材のグローバル化に対応した教育プログラムの開発

- ◆ 5校に設置されているグローバル教育拠点を活用し、専門的英語導入プログラムを開発
- ◆ 独自教材「商船英語への船出」を活用した教育の効果を学生対象アンケートによって検証
- ◆ **国際インターンシップ**をハワイ(2/29~3/18)とシンガポール(3/23~4/2)で実施予定



海事・海洋分野の技術革新に対応した教材の開発

- ◆ 新しい教科書を継続的に開発中(「船用ディゼール推進プラント入門」を10月に刊行済、「船に学ぶ基礎力学」を3月に刊行予定、「船橋当直ハンドブック」を開発中、さらに海洋学分野の教科書の新規開発を開始)
- ◆ **BYOD** (Bring Your Own Device) への対応を推進中



現役の海事・海洋人材によるキャリア教育の実施

- ◆ 連携協力機関の講師による**海事キャリア教育セミナー**を5校で随時開催(大島:12/5, 広島:12/6, 鳥羽:12/11, 弓削:12/19, 富山:1月開催予定)
- ◆ **OBやOG**が学生に語りかける会や、**学生が小中学生**に語りかける会を、各校で随時実施
- ◆ 独自教材「**キャリアデザインノート**」を改訂



船舶運航実務乗船研修による教員FDの実施

- ◆ 高専教員が運航中の船舶に同乗し現場を体験する**船舶運航実務乗船研修**を、7月~11月に実施、各校教員5名が参加
- ◆ その成果を高専教員から連携協力機関と企業へ紹介する**報告会**を以下のとおり開催予定
日時：令和2年1月28日(火) 11:30~12:30
会場：一橋講堂1階会議室




◆ 5校の委員による**企画委員会**を、テレビ会議システムも利用して随時開催(5/23, 6/14, 8/20, 10/10, 11/25, 1/7, 1/28)、また各サブプロジェクト毎の委員会も随時開催

◆ **Webサイト**を通じて事業の成果を社会に発信中、3月には**年次報告書**を掲載予定



今後に向けて



- ◆ これまでの取組を具体的に実装した**海事教育システムの持続的な実施体制**を構築し強化
- ◆ **BYOD** (Bring Your Own Device) の、**商船系高専5校・JMETS実習での活用**について検討
- ◆ 日本の海事教育機関の役割と、その中での**商船系高専の位置づけ**を明確化する取り組みを具体化
- ◆ 国立高専における次世代の海洋人材の育成に関する協議会において、連携協力機関から今後の**業界のニーズ**、船員に必要な資質、能力についてご意見を伺いつつ、**商船学科の将来像**について検討

主幹校: 富山高専

次世代の海洋人材の育成に関する事業

(2. 海事・海洋の魅力を伝える広報活動の実施)

商船系高専と全国各地の工業高専、海事系大学、海事団体などが連携した海事・海洋の教育イベントを行い、広い年齢層にわたって海洋に触れる機会を設け、将来日本の海洋産業を支える人材の発掘と確保を目指した広報活動を展開中である。

【実施体制】

連携の深化を図り
全国的な広報活動
を展開



【実施目的】

将来日本を支える
海洋人材の 発
掘と 確保



【実施事業】

高専フェアの開催

全国で開催

- ・海洋人材の少ない都市に所在する工業高専等と商船高専が連携してイベントを開催(11月：大阪市で開催, 来場者：1070名)
- ・小中学生とその保護者等を対象に、次世代の海洋人材発掘を行う。
- ・工業高専の技術体験や、練習船を利用した海洋体験教育、海洋関連企業と連携した現場見学等を行う。



工業高専や
地域団体と
連携



海事・海洋に関連した教育イベント

学校周辺を中心に開催

産業界等と連携したイベントを開催し、海洋に関する理解を促進

- ・小中学生及び保護者などを対象とした、海事・海洋に関する仕事紹介や練習船を活用した海洋体験及び海洋関連企業の仕事見学等の実施(計21件実施, 参加者2192名)
- ・地方で開催される海事関連のイベントや全国にある工業高専の学園祭において、海事関連産業紹介と海運への関心を高める広報活動を展開(計11件実施, 参加者2500名)
- ・東京海洋大学・神戸大学と連携し、小中学生及び保護者などを対象とした、海事・海洋の魅力を伝える広報活動を展開(計3件実施, 参加者890名)

年団や教育委
員会などと
連携



海事系関連
団体や海事系
大学などと
連携



今後に向けて



- 新学習指導要領に対応した、新たな教育イベント用教材の開発
- 海洋基本計画などの我が国の政府方針に沿った、教育イベントの企画
- 国立高専における次世代の海洋人材の育成に関する協議会の連携協力機関のご協力を得て、更なる海洋人材の発掘と確保のための事業の拡充
- これまで実施してきた地域での広報活動を継続実施するとともに、新たな地域を開拓し、広域的な広報活動を展開

主幹校：広島商船

他機関との連携

鈴鹿高専との連携

1. 教務主事関係

- PR活動
 - ・学祭で、各校の展示ブースを設置
 - ・鳥羽丸PR航海で鈴鹿の宣伝ブースを設置
 - ・中学校巡回PRで双方のパンフレットを配布
- 入学説明会
 - ・近大高専、鈴鹿高専との合同説明会(志摩は本校主催)
- 入試関係
 - ・互いの学校を試験会場に設定
 - ・両校での複数校受験の可能性を検討(継続中)
- 特別講義等の相互配信

2. 学生主事関係

- 各種規則に関する情報交換
- 学生会の交流
- 鳥羽のリーダーストレーニングに鈴鹿から参加

3. 寮務主事室関係

- 各種規則に関する情報交換
- 寮生役員の交流会

和歌山高専との連携

紀伊半島×海洋×KOSEN プロジェクト － 海洋CUBIC(K³)プロジェクト －

**海を未来に引き継ぐ
紀伊半島の海 連携事業**

鳥羽商船高専
鳥羽商船高専の練習船「鳥羽丸」

和歌山高専

和歌山高専－鳥羽商船高専
連携予定：
和歌山県、海洋研究開発機構、東京海洋大学

海との関係性「体験」スコア
47 都道府県中 第3位
(海と日本意識調査結果:2017日本財団)

海の大課題
海の異常気象、大規模災害
災害時連携

海の課題

海の資源
再生可能エネルギー

海の資源
海底資源エネルギー

海の資源・海の異常
環境整備・保全・修復

海の資源
海洋生物資源

日高港

紀伊半島 三重県

和歌山県

太平洋

93

地域との連携・貢献

県内機関との連携

三重県教育委員会との連携

- 「新時代に求められるICT活用能力の育成」検討協議会 委員長

三重県との連携

- 三重県工業研究所との連携協力に関する協定書調印(H30年1月16日)
- 三重県工業研究所海洋観測ブイの共同開発
- 三重県を代表機関とする「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」参画
- 三重県農林水産部重点政策
「AI・ICT技術の導入による魚類養殖用完全自動給餌システムの開発にかかる研究」受託研究
- みえデータサイエンス推進構想(仮称) 有識者委員

鳥羽市との連携

- 鳥羽市との包括協定締結(H30年3月28日)
- イニシアティブフォーラムのパネルディスカッションへ市長参加
- ゴミ分別サイト作成、住民情報可視化システム開発
- 農業向け灌水システム構築支援、獣害檻遠隔監視・制御システム導入支援

COC+事業 地域イノベーションを推進する三重創生ファンタジスタの養成



文部科学省 **地(知)の拠点**

三重創生ファンタジスタ (ベーシック)資格 始動!!!

県内のことを熟知! 使い次第で県内就職に有利!!

君も主役だ!!
三重創生ファンタジスタ

**三重創生ファンタジスタって
どんな人?**

- 三重県内の歴史、文化、産業等の特徴を理解している
- 地域が抱える課題に対して深く関心を持っている
- 能動的な活躍を期待できる
- 三重県が大好きで、地方創生に興味がある人!!

**三重創生ファンタジスタって
どんな資格?**

- 県内全高等教育機関(大学・短大・高专)が連携して教育する資格プログラム
- 県内企業や自治体も連携しているから、県内における資格の認知度◎
- 三重県で就職して、三重県で活躍したいと思える人にピッタリな資格!

**三重創生ファンタジスタは
誰でもなれる?**

- 平成29年度以降に対象科目の必要単位数を修得すること
※詳細は裏面参照
- 誰でも目指すことができます!!

三重創生ファンタジスタになるための詳細は裏面に記載 >>>>



三重を通して世界を見てみよう
地域の新たな魅力を見つけ出そう

三重創生ファンタジスタ (ベーシック)資格対象科目

学科等	科目名	種別	学年	単位数	認定条件	開講 (県中)
電子機械工学科	特別講義	学修	4	1	県内企業からの講師派遣があること。	後期
	校外実習	学修	4	1	県内企業のインターンシップであること。	前期
	プレゼンテーション演習	履修	4	1	地域に関わる調査結果のプレゼンテーションであること。	後期
	工学実験Ⅱ	履修	5	3	地域に関わる実験テーマであること。	通年
	卒業研究	履修	5	8	県内企業との共同研究または地域に関わる研究であること。	通年
制御情報工学科	制御情報工学特別講義I	学修	4	1	県内医療系高等教育機関ないし県内医療機関からの講師派遣があること。	後期 (県中)
	校外実習	学修	4	1	県内企業のインターンシップであること。	前期
	工学実験3	履修	4	3	三重県の抱えている課題等について取り上げ、それを実験テーマとすること。	通年
	組み込みシステム工学	学修	5	2	県内企業との共同研究または地域に関わるテーマが含まれていること。	前期
	情報通信	学修	5	2	最新のクラウド活用事例などをテーマに、県内企業からの講師派遣があること。	後期
生産システム工学科	卒業研究	履修	5	8	県内企業との共同研究または地域に関わる研究であること。	通年
	環境化学	学修	2	2	県内の環境問題を取り上げていること。	前期
	生産システム工学実験	学修	1,2	各2	三重県に関する題材を取り上げていること。	通年
	生産システム工学特別実習	学修	1	2	県内企業のインターンシップであること。	前期 (県中)
	生産システム工学特別演習	学修	1,2	各1	地域をテーマにしたものであること。	1年・後期 2年・前期
	生産システム工学特別研究I	学修	1	5	県内企業との共同研究または地域に関わる研究であること。	通年
生産システム工学特別研究II	学修	2	5	県内企業との共同研究または地域に関わる研究であること。	通年	

上記から90時間以上を平成29年度以降に修得。なお、学修単位数は1単位15時間、履修単位数は1単位30時間です。

手続き方法 三重創生ファンタジスタ(ベーシック)資格認定については、自己申請とします。
上記の科目より修得必要単位数を満たした場合は、単位認定申請書を教務係に提出して下さい。

君も主役だ!!
三重創生ファンタジスタ

担当部署 鳥羽商船高等専門学校 学生課 教務係
TEL 0599-25-8032
MAIL gakusei-kyomu@toba-cmf.ac.jp
HP(COC+) <http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/>

地域貢献

みえアカデミックセミナーで講演

今年度の講演タイトルは「古くて新しいセラミックス」、「パスワード(流行りのIT用語)の遡り解説～深層学習から過去へ～」

公開講座

「サイテクランド in 鳥羽商船高専2019」

「船員の仕事in鳥羽商船(鳥羽クルーズ)」(今年度は台風のため中止)

「小学生のためのバレーボール教室」

出前授業

- ・県内北中部 中学校・公民館 4件
- ・県内伊勢志摩地区 小中学校・児童館 3件

NPO法人故郷の海を愛する会

学生支援・生活支援

学生相談室

1.学生相談室体制

学生相談室長

学生相談副室長(学生相談室員4名の中から室長が選出)

学生相談室員4名(本校教員)

看護師1名(保健室)

非常勤職員1名(学生相談室)

臨床心理士2名(1名は週1回、1名は月1回)

精神科医1名(月1回)

2.メンタルヘルス調査の実施

- ネットベースのメンタルヘルス調査を9月に全学生対象で実施
要支援との判定を受けた学生に対して、学生相談室員が面談し、
状態に応じてカウンセラー、精神科医との面談につなげた。

3.利用状況(令和2年2月6日現在)

- 相談数合計:455件
(内訳)
 - 保健室等: 168件
 - 本校教員: 150件
 - 臨床心理士: 107件
 - 精神科医: 30件

4.メンタルヘルスに関連する授業の実施

(1) 本校非常勤カウンセラーによる授業の実施(1年生対象)

4月 「充実した学生生活のために——自分の考え方のくせを知る方法」

2月 「心の健康」(自殺予防対策)

5.教職員対象のFD研修実施

- 11月 「学校教育現場における体育心理学分野の手法の活用」
叶 俊文先生(皇學館大学)

6.啓蒙活動

- 相談室利用の啓発カードを作成し、全学生に配布した。(絵柄は次頁)
- 「学生相談室だより」の発行(年4回)。



潮騒会館 2階で待っています

- ・ 学生相談室 (0599-25-8138) 10:15～16:45
- ・ 保健室 (0599-25-) 8:30～17:00
- ・ 宗田カウンセラー 毎週水曜日 9～18:00
- ・ 早川カウンセラー 毎日1回木曜日 14:00～18:00
- ・ 松山医師 毎月1回火曜日 14:30～16:30



KOSEN健康相談室(24時間毎日)

0120-50-24



教務主事室による支援

学生指導

教務主事主導

1. 出欠席の確認

一昨年度より開始した、Office365を利用した「出席確認サイト」を継続している。
無断欠席者の安否確認も継続している。

ワークフロー × メール - k_syuji@toba.kc × 出席確認サイト - ホーム × SharePoint × 鳥羽商船高等専門学校 ×

https://kosenjp.sharepoint.com/sites/24toba/syusseki/S

参照 ページ 共有 フォロー

ホーム

本サイトの概要：本サイトは、出欠確認のためのサイトです。

[インフルエンザ情報リンク \(Excelオンライン\) \(仮運用\)](#)

[公欠情報リンク \(Excelオンライン\) \(仮運用\)](#)

当日欠席情報

新しいお知らせまたはこのリストを編集

日付・入力者及び係	クラス及び欠席者	理由
10/1M3担任	M3高井寛太	忌引 (祖父逝去のため)
10/1M3担任	M3山下真輝	遅刻(紀勢線参宮線運休のため)⇒家族による送迎で3限から登校予定
10/1:担任	I4 西村	欠席?JR運転見合わせのため 本人
10/1:担任	I4 西田	欠席?JR運転見合わせのため 本人
10/1:担任	I4米山	欠席?JR運転見合わせのため 本人
10/1:担任	I4 小久保	欠席 体調不良

無断欠席用掲示板

このリストの編集を完了

日付	欠席者	確認	更新者
10/1	M3 高井	済	脇坂 賢
10/1	M4 井村海斗		024鳥羽_教務係
10/1	M3 池田		024鳥羽_教務係
10/1	M2 豊河		024鳥羽_教務係
10/1	M2 柴原		024鳥羽_教務係
10/1	S1 山口		024鳥羽_教務係

103

2.HR(毎週水曜日の7限目)

1～3年生に対して、HRで担任が学習、生活指導を行っている。本校で作成された学級担任マニュアルが活用されている。

3.保護者懇談会(前後期各1回)

保護者と担任との連携を図り学生を指導することを目的に実施している。寮生保護者懇談会も同時期に実施している。

4.3主事室連絡会(毎週月曜日)

教務主事室、学生主事室、寮務主事室及び学生課の間の情報共有、意見交換を目的に実施している。学生問題についての協議も行っている。

5.全校集会での講話(前後期の始業式と終業式)

校長、教務主事、学生主事による講話を行っている。その際、教務主事は学修推進支援室、学生相談室などが利用できることを周知している。

学生課の取組

6.図書館の利用促進

学科推薦や今話題の図書について、学生にもっと興味を持つように、学生の往来の多い学生課前に掲示したりして改善を行っている。

7.学生課の活用促進

学生課職員が学生に声かけを行い、より親しみを持ってもらえるように心がけている。

8.図書館1階にラーニング commons の充実

ラーニング commons にも図書新着情報を掲示して、図書館を利用したくなる情報を提供している。



練習船「鳥羽丸」PR航海

四日市港PR航海(毎年実施)

■ 今年度は8月3日～5日

名古屋港PR航海(毎年実施)

■ 今年度は11月8日～10日

■ 参加学生15名(中間試験直前の為、5年生と専攻科生)

■ 一般公開や体験乗船を実施するが、乗船者の対応や各部署の説明は、全て学生の企画・運営で実施される。



今年度始めた、教務室主催の研修とFD

新任教員の学内研修。

新任教員が本校の教育に早くなれるために3種類の学内研修を行った。

(1) 初任者研修1

「就業規則の理解」(担当:総務課)

本校の組織の一員としての理解を深める為、就業規則を学修する。半日間、教務主事と事務部長が講義する。

(2) 初任者研修2

「日常業務の指導を通じた人材育成」(担当:各学科長(教務主事、校長))

各種日常業務の目標とその達成状況を定期的に学科長が確認し面談指導する。教務主事経由で校長に提出。

(3) 初任者研修3

「学校の教育活動の全般的な理解」(担当:教務主事、教務主事補)

教務室に一定時間滞在して教務全般と教員の在り方を体験学習する。毎週1回半年間、教務室に滞在して業務の一部を担当する。



教員FD(授業等に関する問題解決型FD・3回)

教員が感じている日常の教育に関する問題を抽出して、解決方法を議論した。各学科から必ず参加することを前提に、**段階的に3回に分けてFDを実施した。**

実施日	第1回(8/28)	第2回(9/4)	第3回(9/5)	参加合計
参加人数	14人	10人	10人	延べ34人

- ・3回のFDの結果、「解決すべき課題」と「解決方法」の一覧表を作成できた。
- ・このFDの結果の一つである「定期試験の監督者の減員」を後期から実際に採用し、FDの成果の実現を達成した。

学生主事室による支援

学校長：いのちを育む教育

演劇鑑賞：いのちについて考える



学生指導 1

全学生が安心して学べる学び舎の構築と学生の将来の希望実現を見据えた進路指導の実践

1. 生活指導

社会人基礎力の育成、学生の安全確保

(1) 登校指導

池の浦駅における登校指導（地域住民の皆様との情報交換）

(2) 導入教育

新入生オリエンテーション（4月（1泊2日）、曾爾青少年自然の家）

グループワーク：集団行動・規範意識の育成、いじめ防止、SNSの正しい利用

(3) 安全教育

自転車安全講習会（年度当初、校内、南部自動車学校 講師）

車両通学安全講習会（年2回、南部自動車学校で実施）

(4) 一般基礎教育との連携

規範意識の育成、いじめ防止

学生指導 2

全学生が安心して学べる学び舎の構築と学生の将来の希望実現を見据えた進路指導の実践

2. 学生会活動支援

学生の主体的・自律的活動の支援

(1) 学生会運営支援

総会、評議会、総務委員会、部会などの企画・運営支援

(2) 部・同好会支援

高専体育大会開催、学生引率

(3) 行事支援

体育祭・海学祭の運営・企画支援

(4) ボランティア支援

警察ボランティアの活動支援

(令和元年12月20 日鳥羽警察署長より感謝状授与)

(5) リーダー教育

リーダーとしてのソーシャルスキルトレーニング

学生会寮生会役員、部・同好会リーダー、鈴鹿高専学生会役員

鳥羽警察署長より感謝状授与

令和元年12月20日（金）本校の交通安全運動ボランティアに対して



写真：HP利用/印刷禁止

令和元年度 リーダーストレーニング

令和元年9月28日（土）鳥羽商船高等専門学校

ソーシャルスキルトレーニング

講師：臨床心理士 宗田美名子 先生（本校カウンセラー）

参加者：学生会寮生会役員、部・同好会リーダー、鈴鹿高専学生会役員



令和元年度 リーダーストレージング

AED講習会 (いのちを育む教育)



参加者：学生会寮生会役員、部・同好会リーダー、鈴鹿高専学生会役員

学生指導 3

全学生が安心して学べる学び舎の構築と学生の将来の希望実現を見据えた進路指導の実践

3. 地域連携

(1) 地域教育機関との連携

三重県教育委員会・南勢地区生徒指導連絡協議会との情報交換
鳥羽市・伊勢市の巡回補導

(2) 警察署との連携

防犯に関わる情報交換、講演

4. 教員支援・高専連携

(1) 学生指導力向上研修会（東海北陸関西地区高専）

新任教員を対象とし学生指導に関わる研修会の企画・運営

(2) 厚生補導主事会議（東海北陸地区高専，商船高専）

厚生補導支援に関わる情報交換

寮務主事室による支援

(曉寮)在寮者数(H31.4.1現在)

学年	S科	M科	I科	J科	合計
1年	35(4)			10(2)	45(6)
2年	25(2)	10(1)	4(1)	0	39(4)
3年	24(4)	7(1)	8(2)	0	39(7)
4年	22(5)	6(2)	5(1)	0	33(8)
5年	20(3)	8(2)	5(1)	0	33(6)
合計	126(18)	31(6)	22(5)	10(2)	189(31)

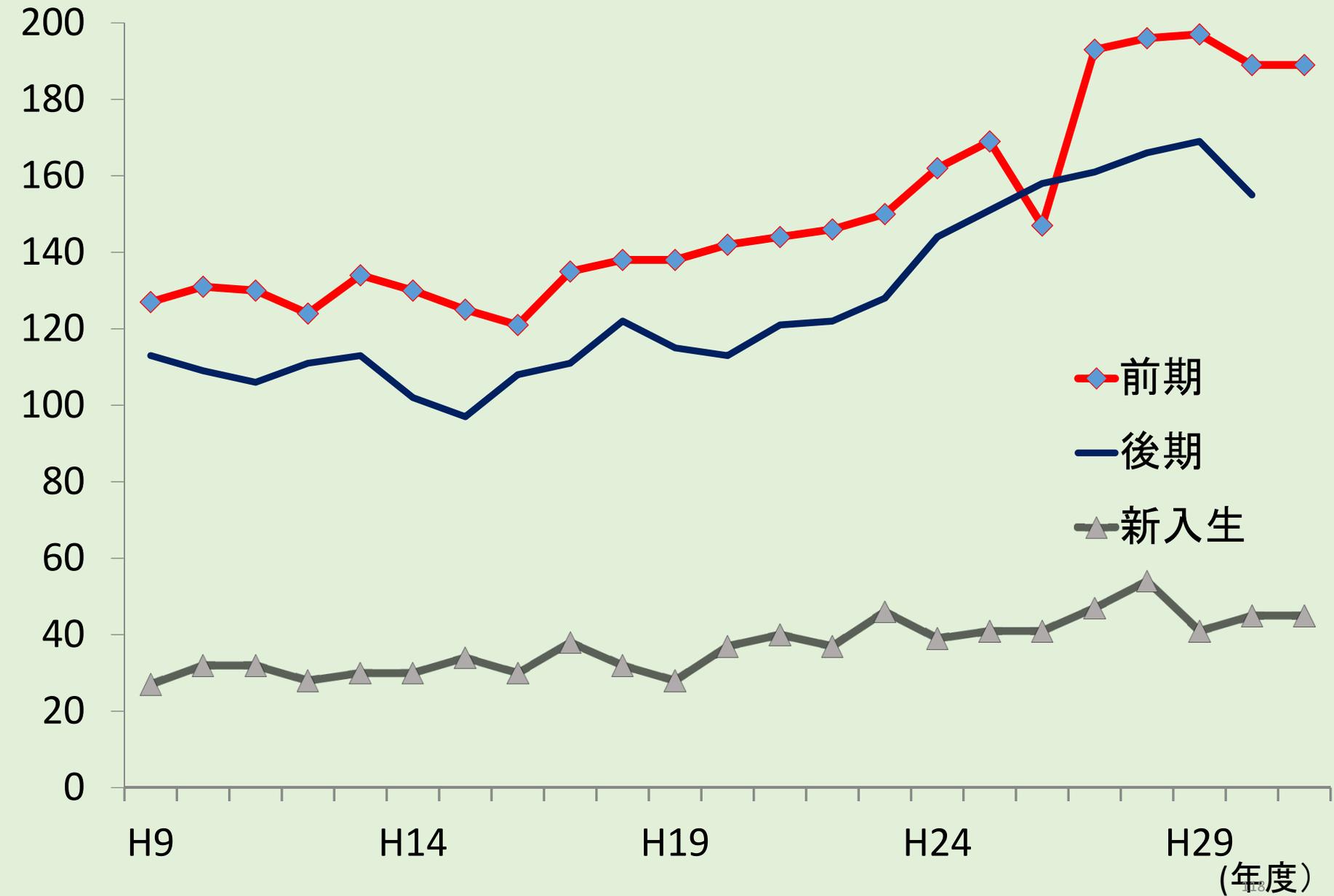
(平成31年4月1日現在)

(括弧内は女子内数)

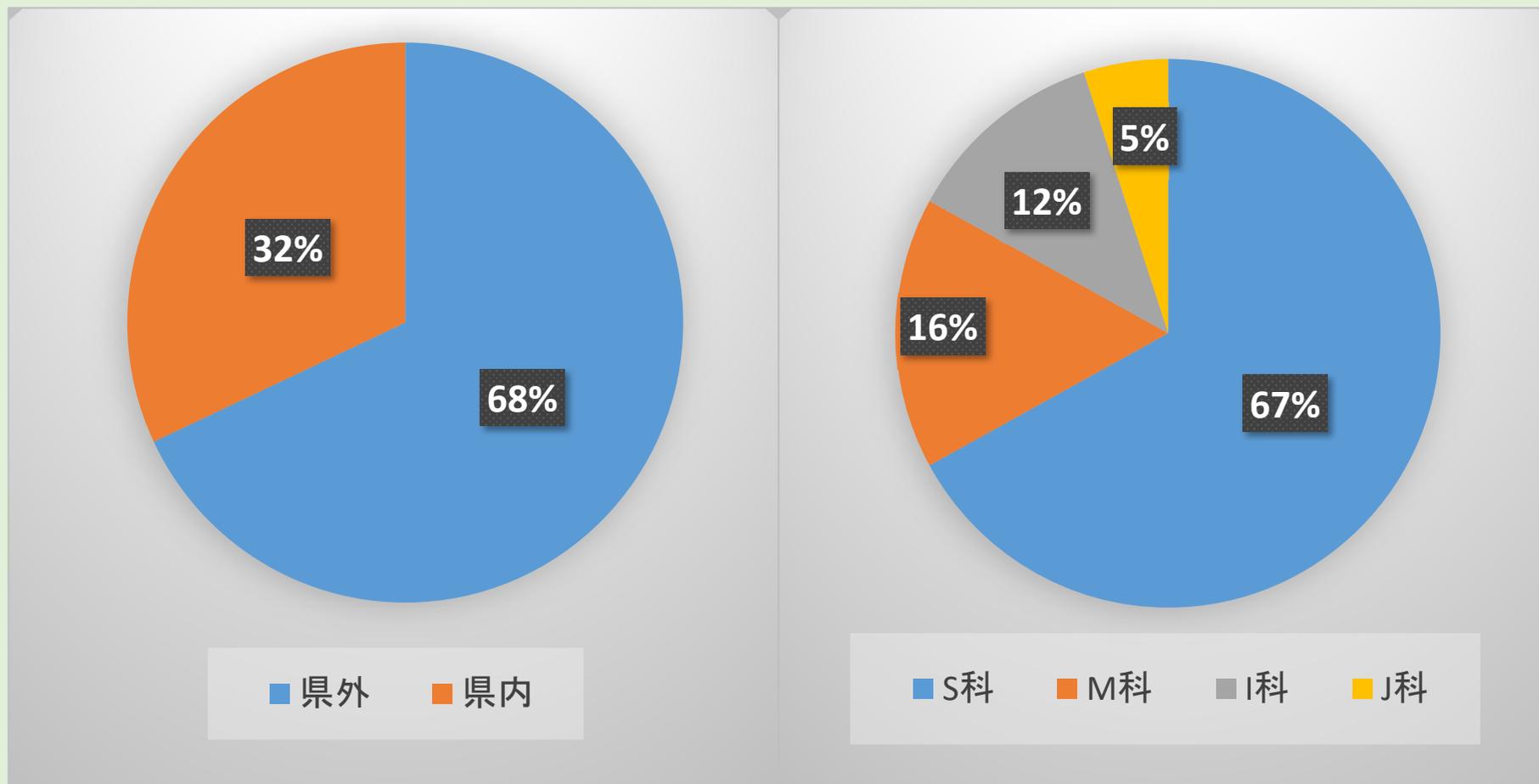
入寮可能人数:約200名

寮生数の推移(H10~H31(R1))

(人数)



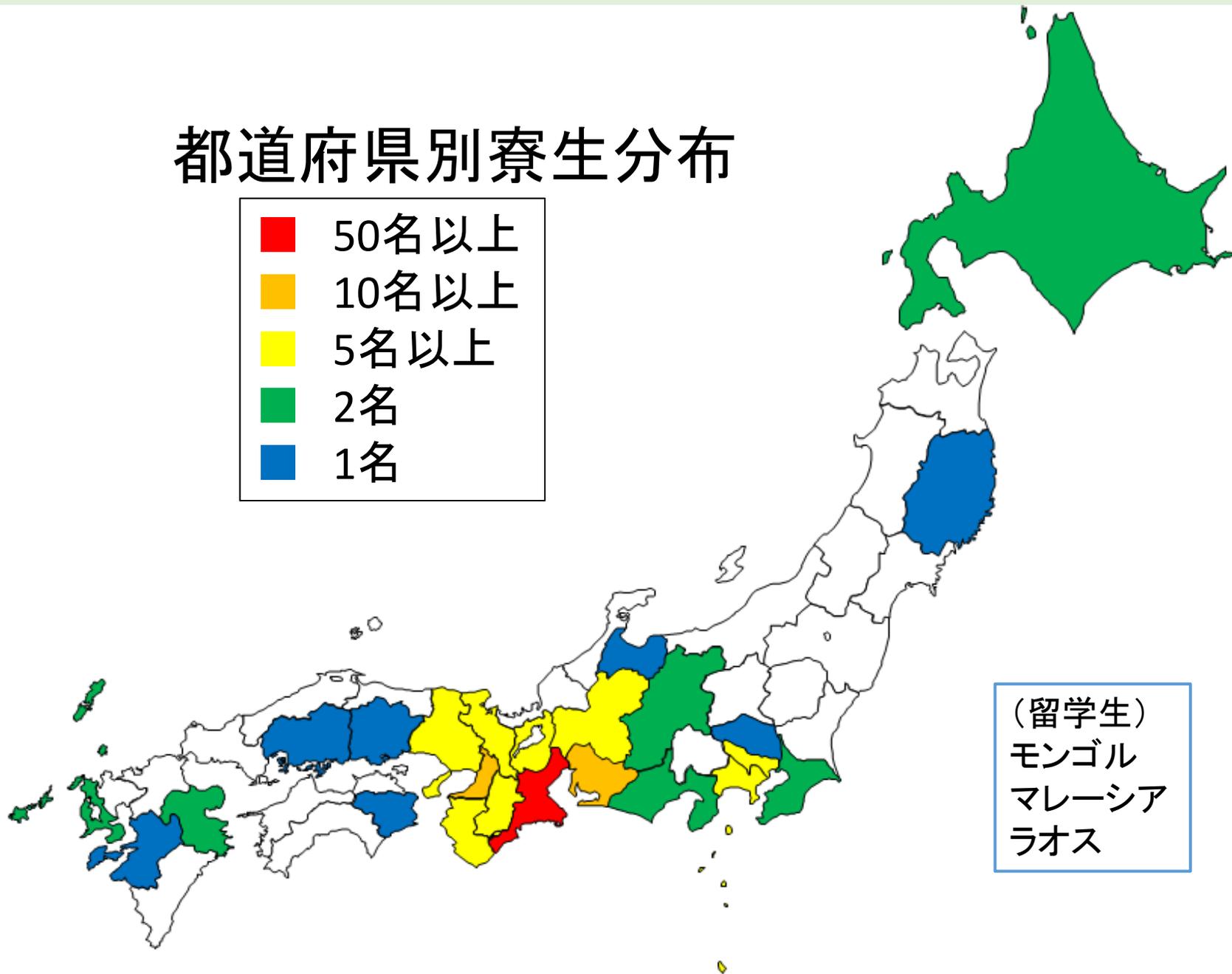
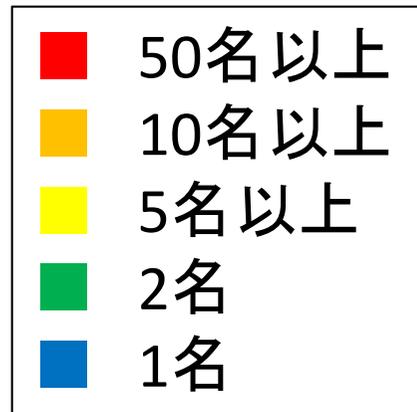
寮生出身地及び学科別状況(R1)



県内外別(全寮生)

学科別(全寮生)

都道府県別寮生分布



(留学生)
モンゴル
マレーシア
ラオス

諸問題に対する改善への取り組み

寮生との意見交換

寮生役員・世話係学生とのミーティング(各週1回)
全寮集会(月1~2回程度)個別学生との懇談(随時)

学校との意見交換

寮務主事室, 寮事務室での打合せ(毎朝)
三主事連絡会(週1回), 寮務委員会(年数回)
校長・副校長と寮生会役員との懇談会(年2回)

高専間での意見交換

東海北陸・5商船高専寮務主事会議(各年1回)
他高専の寮生会との交流(年1~2回)

保護者との情報共有

春・秋季寮生保護者懇談会
(平成31年6月16日、10月27日)

寮食業者と寮生会役員との懇談会



令和元年度寮生会役員承認・任命式



令和元年度 寮生ドッジボール大会



令和元年度 一年生歓迎BBQ大会



インフルエンザ予防接種

- ◆接種日時：令和元年11月18(月)
- ◆接種場所：本校保健室(潮騒会館2F)
- ◆予定者数：現在 **約129名**
- ◆接種機関：小林内科(鳥羽市大明西1-1)
- ◆接種金額：4,000円(後日学納金にて対応)
S2は接種しないと乗船実習に参加できない。

令和元年度 学寮行事

(12月～3月)

- 12/ 4 (水) クリスマス会
- 12/23 (月) 寮生大掃除、閉寮前点検、閉寮式(22:00)
- 12/24(火) 寮生帰省
- 12/25 (水) 閉寮(10:00予定)
- 01/06 (月) 寮生帰寮(21:45)、開寮式(22:00)
- 01/10 (木) 再入寮願・在寮継続願提出締切
- 02/ 5(水) 5年生送別会(卒業・修了を祝う会)(予定)
- 02/ 6 (木) 寮生部屋替え、寮生大掃除、閉寮前点検、閉寮式(22:00)
- 02/ 7(金) 1～4年寮生帰省・閉寮(10:00予定)
- 02/ 7(金) S5席上課程修了式、
- 02/12(水) 再試験受験寮生帰寮(21:45) (2/13・2/14再試験)
- 02月中旬 再入寮・在寮継続審査会議
- 02/26(水) 単位認定試験受験寮生帰寮(21:45) (S2のみ 2/19(水))
- 03月 入寮選考会議、入学・入寮説明会(新入生対象) etc

(*5年寮生退寮日は、卒業研究発表会の日程が決定次第)

研究活動

研究の充実

三重県工業研究所、鳥羽市、和歌山高専との包括連携を通じての研究の活性化と多様性を確保する。

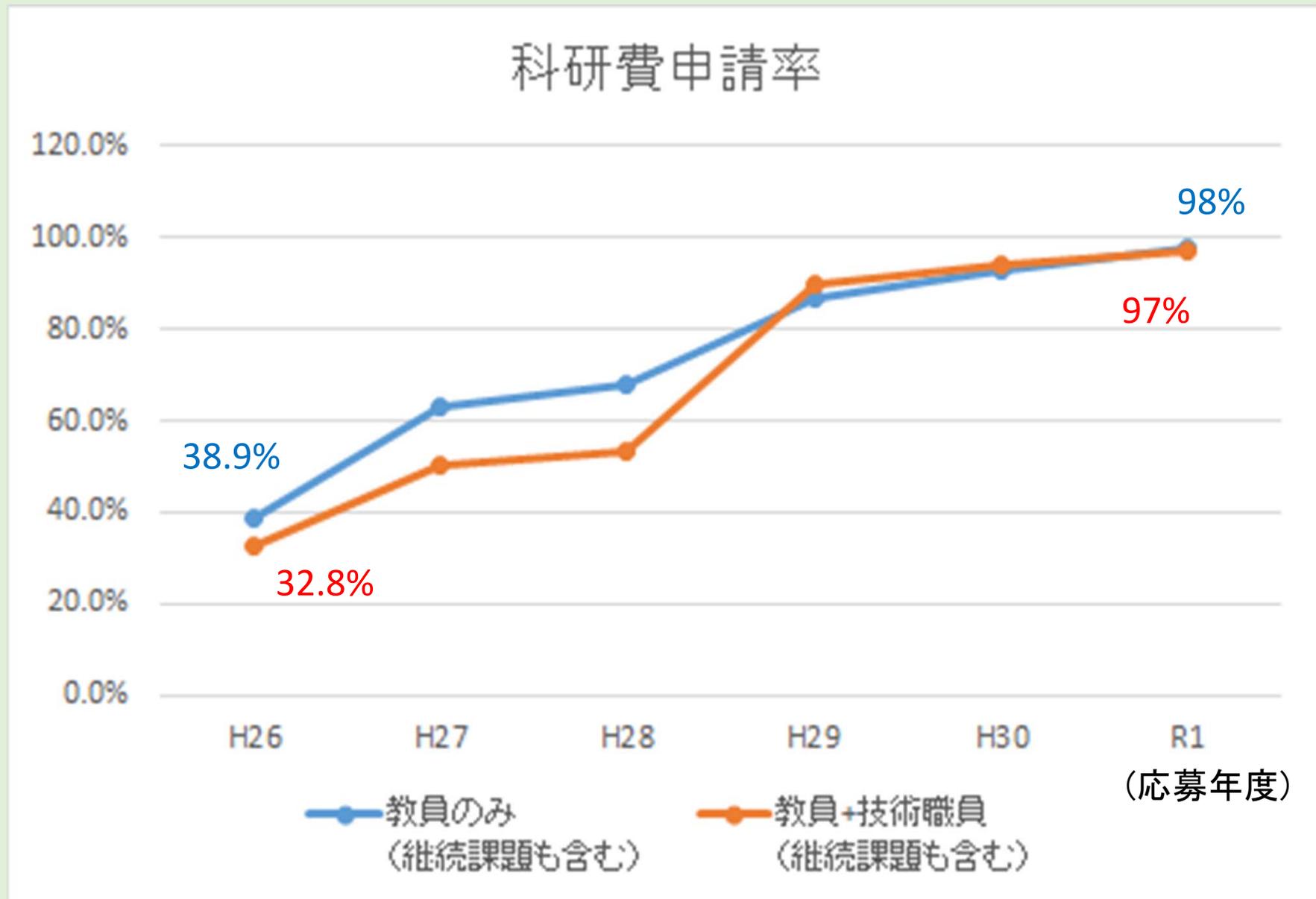
研究水準の向上

科研申請率の向上(68% ⇒ 98%)を実現した。今後は、採択率の向上に努める。さらには、各種プロジェクトへの応募及び外部資金獲得に積極的に取組み、外部資金等の増加を目指す。

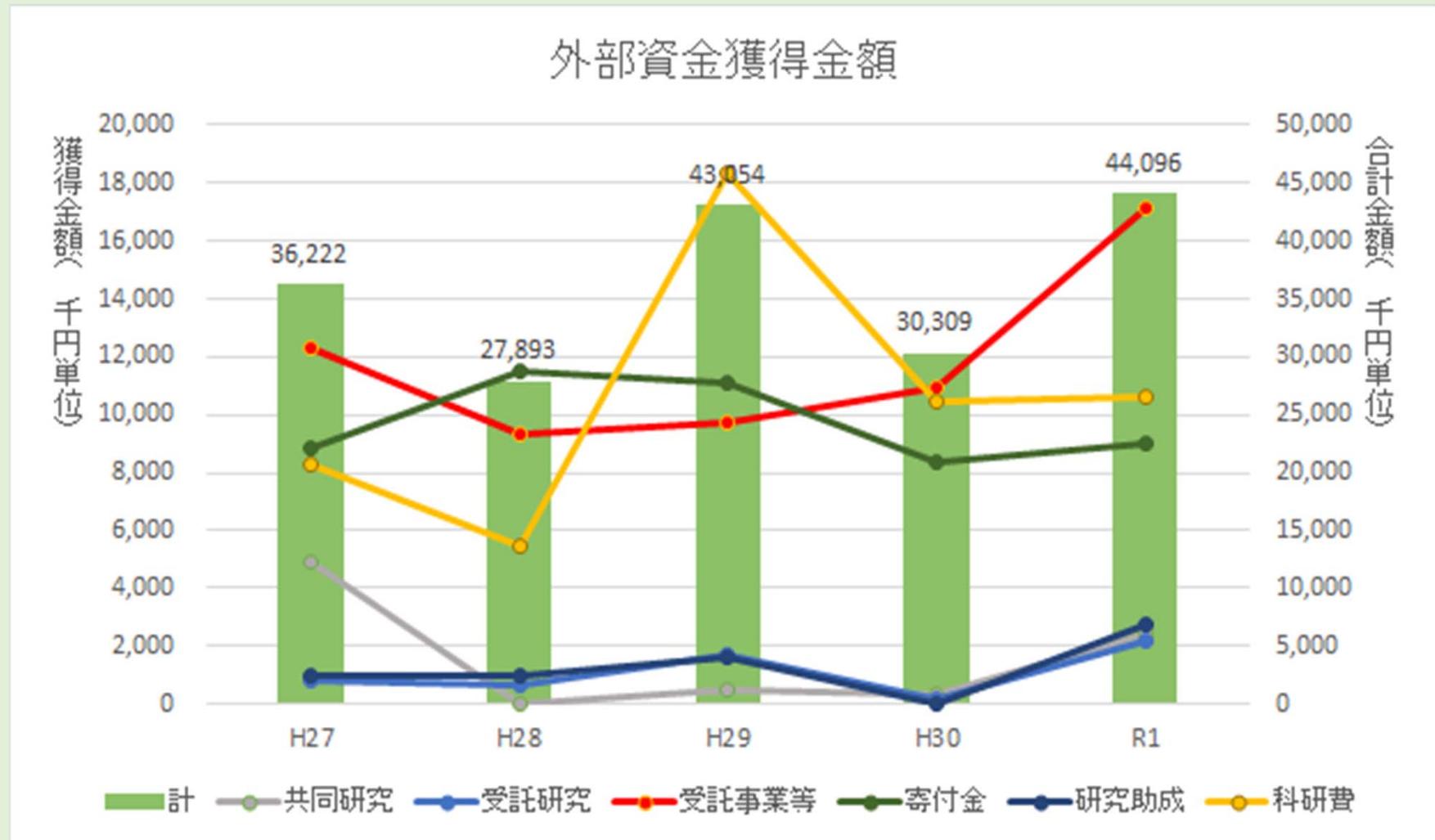
地域との連携

三重県においては、生産年齢人口減少問題もさることながら、若者の地元定着促進が大きな課題となっている。そのために本校は、人材供給の基盤を地域に置き、地域と連携したPBLを実施し、地域の発展に貢献できる人材供給を目指している。

科研費申請率の推移



外部資金獲得狀況



令和元年度 科研費獲得テーマ

代表者

S	渡辺幸夫	基盤研究(C)	H29年度～R1年度	海流発電に適した浮遊式二重反転水車の開発に関する研究
J	亀谷知宏	若手研究(B)	H29年度～R1年度	感圧及び感温特性を有した機能性3D模型の作製法の開発
G	深見佳代	若手研究(B)	H29年度～R2年度	女性医師支援策の有効性の検証と今後の課題分析～女性専門医の地理的・診療科的偏在～
J	坂牧孝規	基盤研究(B)	H29年度～R1年度	船舶環境における疲労削減を目的としたサイボーグスーツの開発
S	北村 健一	研究活動スタート支援	H30年度～H31年度	新規ポリマー材料を用いた唾液硝酸イオン測定器による操船者の心的負荷定量評価
J	白石和章	基盤研究(C)	R1年度～R3年度	高品質ミカン安定栽培に資する深層強化学習かん水技術開発
S	瀬田広明	国際共同研究強化(B)	R1年度～R4年度	海上交通管理の持続可能性に配慮したVTSオペレータのための意思決定支援システム

令和元年度 受託事業費獲得状況

受託事業

氏名	相手方	研究期間	研究課題
J 江崎修央	国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構 生物系特定産業技術 研究支援センター	R1.4.26～R4.3.31	AIやIoTによる、人材育成も可能なスマート獣害 対策の技術開発と、多様なモデル地区による地 域への適合性実証研究
J 江崎修央	国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構 生物系特定産業技術 研究支援センター	H30.4.17～R3.3.31	スマート捕獲・スマートジビエ技術の確立
J 江崎修央	総務省 東海総合通信局	R1.6.4～R2.3.31	人工知能を用いた海面養殖業向け自動給餌シ ステムの開発
J 白石和章	総務省 東海総合通信局	R1.5.28～R2.3.31	中山間地域における労働力不足の克服と気候 変動に適応した省力的高品質柑橘生産技術の 実証

令和元年度 共同研究

共同研究

	氏名	相手方	研究期間	研究課題
S	瀬田広明 鈴木治	イスタンブル工科大学	R1.1.2.1～R6.1.31	日本とトルコにおける海上交通の安全管理に関する研究
J	白石和章	株式会社 ニコン	H31.4.1～R2.3.31	フレキシブルセンサを用いた海中及び気中モニタリング
J	江崎修央 亀谷知宏	株式会社中電シー ティーアイ	H31.4.5～R2.3.31	水産業におけるIoT技術の応用
J	中井一文	株式会社ベステックス キョーエイ	R1.10.1～R2.3.31	生産における検査方法に関する技術支援
J	白石和章	NPO法人ハンサム ガーデン	R1.10.15～R2.3.31	中小農家が使いやすい安価なIoT/ICT技術による遠隔灌水制御技術の開発と実証

令和元年度 受託研究

受託研究

	氏名	相手方	研究期間	研究課題
J	土田隼之	株式会社東産業	R1.5.1～R2.2.29	ICTを活用した点検アシストシステムの検討
J	江崎修央	三重県(水産研究所)	R1.5.14～R1.10.31	AI・ICT技術の導入による魚類養殖用完全自動給餌システムの開発
J	江崎修央	三重県黒のり養殖広域水産業再生委員会	R1.12.1～R2.3.20	海象データ等の閲覧システム構築

地域連携PBLによる研究

農林水産省 スマート農業実証プロジェクト

38

(株)オレンジアグリ、(有)すぎもと農園 (三重県御浜町)

実証面積：4.1ha

実証課題名 中山間地域における労働力不足の克服と気候変動に適応した省力的高品質産地生産技術の実証

構成員 三重県農林水産部、農研機構果樹茶業研究部門、NECソリューションイノベータ(株)、伊勢農業協同組合三重南紀地区本部、(有)すぎもと農園、(株)オレンジアグリ、鳥羽商船高等専門学校

背景・課題 ○本地域は過疎化・高齢化による労働力不足と、近年の異常気象による品質低下が問題となっており、柑橘栽培の省力化と気候変動に対応した栽培管理が課題となっている。



本実証プロジェクトにかける思い

本実証プロジェクトにより、三重南紀地域柑橘産地の農業経営における省力化、高品質果実生産、製品率向上による所得向上を実現する。

また、気象観測・園地状況・選果時の形質情報を栽培管理にフィードバックするシステムを構築することで、栽培技術の高度定着化を目指す。

ひやけ果ORANGE(おらんじえ)

鳥羽商船高等専門学校 制御情報工学科 岡本真平 川添大和 里中海玲 村田雄斗

ひやけ果ORANGEはスプリンクラーの自動散水で日焼け果を減らすことができるシステムです

ひやけ果ORANGEの特徴とメリット 実証実験

- みかんの生産品質を向上**
今まで対策が難しかった日焼け果を防止できる**世界初**のシステム!
- 労働作業時間の短縮**
散水のみならず水やり用、肥料、農業散布に活用できる!
- みかん以外の作物でも日焼け防止**
スプリンクラーを作物に適した気象条件で制御することで、表面温度を下げることができる!

日焼け果について

日焼け果は9月中旬～9月下旬に収穫される極早生温州みかんに発生する。みかんの表面温度は外気温に対して約+15°Cもの温度になる。温度が高くなると果実からの蒸散が激しくなるので果頂部の果皮が乾燥状態になり日焼け果が生じる。

日焼け果発生部分



日焼け果発生部分



日焼け果が発生してしまうとみかんの商品価値が無くなり全収量の20%ものみかんが、日焼け果となり出荷できずに、廃棄されているのが現状!

日焼け果の対策方法は、果実を葉陰に移動させることや、寒冷紗被覆が一般的である。しかし、大規模みかん農園では、労力がかかりすぎるため、上記の措置をとることが難しい問題がある。

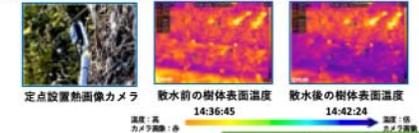
気象データ駆動形スプリンクラーの自動散水によって、表面温度を低下させ「日焼け果」発生率を下げることができる。また同時に作業の省力化も実現し、高品質果実の安定生産と労力の削減が実現できる。



- 《方法》
- 2019年9月11日、三重県南牟婁郡御浜町志原に位置する農園に「ひやけ果ORANGE」設置。
 - 散水条件を 気温32°C以上、相対湿度90%以下、定点熱画像カメラを設置し樹皮表面温度を比較。
 - おんどとりを各列に設置、日焼け果発生率を調査。



《結果》
スプリンクラー動作後、表面温度は5～7°C低下。



第3列や第4列は外気温と樹皮下(木部)の温度差が大きくなり、日焼け果発生率が高い。しかし第2列では、外気温と樹皮下(木部)の温度差が小さく、日焼け果発生率が低いことが確認できた。

- 《考察》
- 日焼け果の発生を抑制できるとされている表面温度の低下を実現した。
 - 樹皮下温度(木部)と外気温温度差が大きいほど日焼け果発生率が高くなる傾向を確認した。これは、樹幹が高い木ほど、樹皮下温度と外気温の差が大きくなるのが影響していると考えられる。

システム概要



今後の課題について

本システムは、設置日から現在に至るまで安定稼働しており、来年度収穫時には収穫果実個数と日焼け果実個数の計数等を行うことが決まっている。今後は、より多くの園地に設置し紀州地域全体の日焼け果減少に貢献する予定となっている。さらには駆動条件の自動学習をAIにより実現する予定である。

MIKAN

~MAJIDE II KANJINI AMAKU NARU~

簡単に水分ストレスを推定でき、甘いミカンの生産を支援するアプリ

鳥羽商船高等専門学校 制御情報工学科4年 加藤慶 中北創太 中谷瑞希
制御情報工学科3年 米田有美子 山本青奈

MIKANのポイント

- アプリで簡単に水分ストレスを推定**
学習済みAIを用いたスマートフォンアプリを開発することで水分ストレスの推定が簡単に!
- 農作業の省力・軽労化を実現**
従来の水分ストレス測定時の労務負担を軽減することで農作業の省力・軽労化を実現!
- アプリ開発によるコスト削減**
アプリ開発を行ったことで既存の製品に比べ安価に実現!

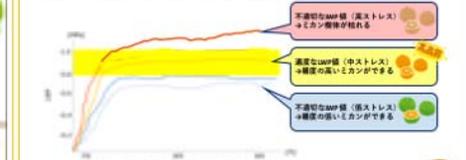


システム概要



LWPとは?

- 植物が葉内に水分を保持している力の強さを Leaf Water Potential (LWP) という。
- 水分ストレスを示す指標として用いられる。
- ミカンは乾燥による水分ストレスを与えることで糖度の高いミカンを生産することができる。



- 既存のLWP測定装置は高価であるうえ、人手や手間を要する。
- LWPの推定には長年の知識や経験が必要である。

アプリの機能



- カメラでミカンの樹木を撮影し、LWPを推定できる。
- 推定したLWPの推移をグラフ化できる。

実証実験

- 高ストレス、低ストレスのクラス分けでは、**正答率96%**を達成した。
- 現在さらに細かく分類できるようにAIに学習させている。
- 紀南果樹研究所で撮影された樹体の画像**1000枚**を用いる。
- LWP測定装置で測定したLWP値と樹体番号を照らし合わせ、高ストレス、中ストレス、低ストレスの3種にクラス分けした。
- 現在、画像を分割・回転させ、更に画像枚数を増やし、AIに学習させ、さらなる精度向上をはかっている。



今後の展望

水分ストレスをより正確に推定するために、AIに学習させるミカン葉の画像枚数を増やしアプリの精度向上を目指す。更には、複数の地域・果樹を対象に農業の現場で実証実験を行うことで、幅広い農園・果樹に対応するアプリを目指す。また、実装アプリ開発を進めることで、さらなる品質・生産の向上を実現し、地域活性化の貢献に努める。



まるみえホカクン 獣害檻遠隔監視・操作

ICTによる檻罠の遠隔監視・操作システム **特許出願中**

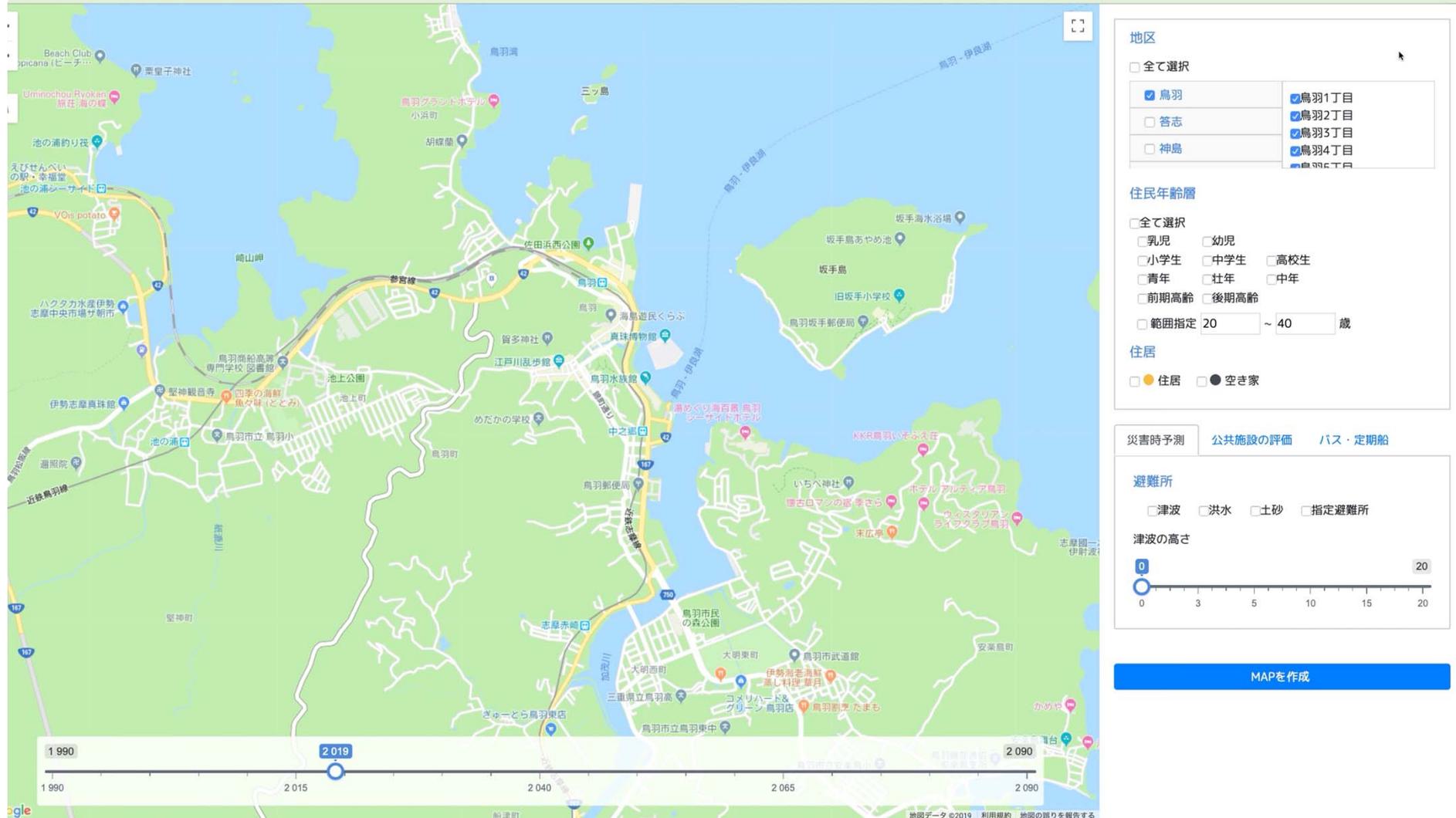
cloud
クラウド **まるみえホカクン**

いつでも、どこでも、
獣の動きが「まるみえ」

スムーズな餌付け、ベストタイミング捕獲

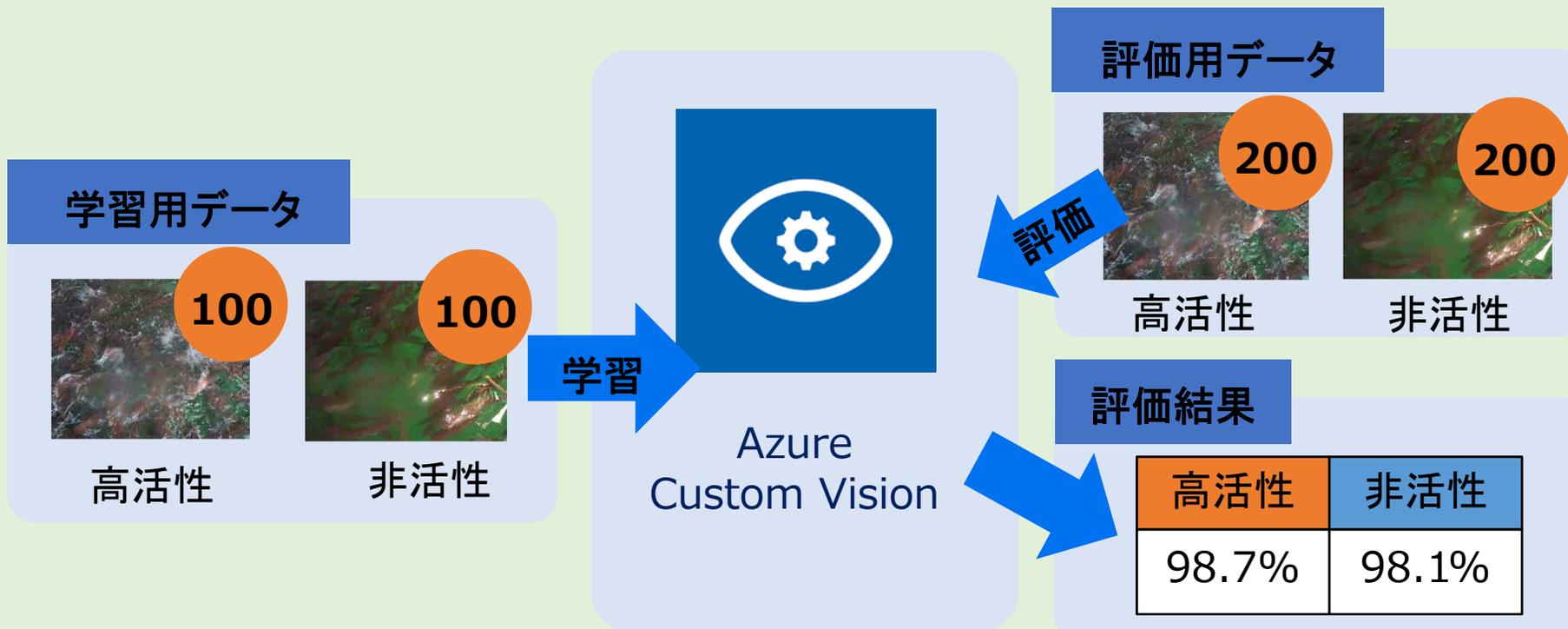


とばまっぷ 住民情報の見える化



- 住民情報の地図上へのプロット、未来・過去の情報閲覧
- 公共施設の評価、市営定期船の船橋からのライブ配信

海面養殖の給餌の人工知能化



学生の活躍

各種コンテスト

最優秀賞・優秀賞



高校・高専気象観測機器コンテスト



パソコン甲子園 モバイル部門



高専プロコン 優秀賞



CVG全国大会・MIT賞



情報処理学会・スマートフォンアプリコンテスト



カマテック 19 / 鳥羽商船高等専門学校 / 鳥羽市



市川 翔太



澤 快斗



河内 大翼



全日本ソーラー・人カボートレース選手権大会 学生特別賞

ご清聴ありがとうございました。

書面審議書

令和2年3月26日

鳥羽商船高等専門学校
校長 林 祐司 殿所属・役職
氏 名神戸大学名誉教授
石田 廣史

下記審議事項について、審議の結果の可否に○をつけてください。

審議事項	審議の結果	
	可	否
1. 平成31年度鳥羽商船高等専門学校 年度計画達成状況について	○	

年度計画達成状況について修正等のコメントを記載致しましたが、可否(各コメントについて)の判断は貴校運営委員会が年度計画作製を担当される委員会に一任致します。

書面審議書

令和2年 3 月26 日

鳥羽商船高等専門学校
校長 林 祐司 殿

所属・役職 奨学後援会長
氏 名 鳥山 光一郎

下記審議事項について、審議の結果の可否に○をつけてください。

審議事項	審議の結果	
	可	否
1. 平成31年度鳥羽商船高等専門学校 年度計画達成状況について	○	

書面審議書

令和2年3月22日

鳥羽商船高等専門学校
校長 林 祐司 殿

所属・役職
氏 名

同窓会長
夢野延之

下記審議事項について、審議の結果の可否に○をつけてください。

審議事項	審議の結果	
	可	否
1. 平成31年度鳥羽商船高等専門学校 年度計画達成状況について	○	

書面審議書

令和2年 3 月 25 日

鳥羽商船高等専門学校
校長 林 祐司 殿所属・役職 鳥羽東中学校 校長
氏 名 野村 睦

下記審議事項について、審議の結果の可否に○をつけてください。

審議事項	審議の結果	
	可	否
1. 平成31年度鳥羽商船高等専門学校 年度計画達成状況について	○	

書面審議書

令和2年3月26日

鳥羽商船高等専門学校
校長 林 祐司 殿所属・役職
氏 名伊勢工場群総務部
本田 直基

下記審議事項について、審議の結果の可否に○をつけてください。

審議事項	審議の結果	
	可	否
1. 平成31年度鳥羽商船高等専門学校 年度計画達成状況について	○	

別紙

書面審議書

令和2年 3月24日

鳥羽商船高等専門学校
校長 林 祐司 殿

所属・役職
氏 名
公益財団法人
三重県産業支援センター
技術支援課 増田 峰知

下記審議事項について、審議の結果の可否に○をつけてください。

審議事項	審議の結果	
	可	否
1. 平成31年度鳥羽商船高等専門学校 年度計画達成状況について	○	

別紙

書面審議書

令和2年 3 月 23 日

鳥羽商船高等専門学校
校長 林 祐司 殿

所属・役職
氏 名 環奈 理事 訓子
山本 俊彦

下記審議事項について、審議の結果の可否に○をつけてください。

審議事項	審議の結果	
	可	否
1. 平成31年度鳥羽商船高等専門学校 年度計画達成状況について	○	

平成31年度 鳥羽商船高等専門学校年度計画達成状況

平成31年度の年度計画の実施状況を自己点検評価にすにあたり、文部科学省独立行政法人評価委員会の項目別評価基準に従い、以下の自己評価標語を用いる。

- S：計画をはるかに上回る実績を残した
- A：達成度 100%以上
- B：達成度 70%～100%未満
- C：達成度 70%未満

年度計画	委員会等	事務	計画の実施状況等	鳥羽商船 自己点検評価	各委員コメント
1. 1 教育に関する事項					
(1) 入学者の確保					
①-1-1	広報・公開	総務	10月30日開催の広報・公開委員会公開部会にて、現在のホームページについて、12月末までを目途として学内で意見聴取を行った。集められた意見をもとに随時更新を行った。	A	内容は広報一般についての内容なので、出来れば入学案内について改訂した実施内容に改めるか、新たに情報公開等の欄を作り、そこに移動する。(石田委員)
①-1-2	教務	入試・支援	・ホームページは、閲覧者に分かり易いようレイアウトを改編した。 また他高専との合同説明会は延べ9回開催した。今年度の実績に基づき、来年度からの開催場所、時期等の改変を行うこととなった。(具体的な日程等は新年度に協議) ・今年度も本校同窓会会員(本校OB)による中学校訪問を実施し、訪問先は22校に及んだ。来年度以降、関西・東海圏において、新たに訪問先の開拓を進める予定である。	A	
①-2	教務	入試・支援	実験実習公開や練習船体験航海を実施しているオープンキャンパス(8月9日、10日)の参加者数が過去最高となり、多くの中学生やその保護者に本校の特性・魅力をアピールした。参加者へのアンケート結果からも概ね好評であった。 また国公立高専合同説明会(6月30日秋葉原)では、今年から出展コーナーにも参加し、派遣人員も増やすなど、積極的にPR活動を展開した。	S	
②-1	教務	入試・支援	国公立高専合同説明会(6月30日秋葉原)においては、商船学科女子学生が相談ブースにおいて参加者に直接対応し、女子在学生の立場で、女子中学生やその保護者に説明、PRを行った。 また、高校受験向け進路フェスタ(11月3日松阪市)に参加した際は、女性教員を派遣した結果、女子中学生及びその保護者にも好評で、ブース来訪者数が倍増した。	A	
②-2	広報・公開	総務	10月30日開催の広報・公開委員会公開部会において、英語版ホームページについて検討し、現在の英文ページに以下の項目に係るページを作成することとした。 ・学校案内(校長挨拶、ポリシー、沿革等) ・学科紹介(スタッフ、カリキュラム) ・活動状況 ・施設情報(アクセス等)	A	この内容は広報一般の内容を多く含むので、出来れば情報公開等の項目を作り、そこにまとめて移動する。 (英語版)既に学校要覧には英語表記がなされており、それらをまとめるだけでも十分に対応済みとも言える。しかし、英語表記などについては、貴校の専門教員等による見直しが必要かも?一般的な英語表記になじまい(適切でないかもしれない?)表記もあるかも?(石田委員)
③	教務	入試・支援	昨年度の入学における今年度前期試験の状況について、追跡調査を行った。選抜方法により、入学後の成績に差異が生じるのかを主体に議論を行い、来年度以降の参考とした。	A	議論が行われ、 一を行い、 参考とするした。 (石田委員)
(2) 教育課程の編成等					
①-1	校長	企画・地域連携	・1月28日に開催の「次世代の海洋人材育成に関する協議会」にて5商船関係者が集まり、商船学科の次世代海洋人材育成など将来構想についての検討を行った。 ・練習船鳥羽丸の代替新造を目指し、練習船新造期成会を立ち上げ、11月、5商船系高専が連携して政府、関係省庁へ説明を行った。 ・商船学科と海事システム学専攻を含めた一体型の具体的改革を検討する。 ・高度連携関係にある鈴鹿高専との教育・研究・学生指導等について、引き続き連携協力する。 ・和歌山高専との包括協定に基づいて、研究を中心とする連携協力を推進する。 ・「地域への貢献」を主として、コンソーシアムみえの事業など引き続き県内高等教育機関と連携をすすめる。 ・鳥羽市との連携協定を基に地域のニーズを取り入れた取り組みを設定し、学生を積極的に参加させる。	A	・「高等教育コンソーシアムみえ」～教育課程編成の欄ではなく、地域連携の内容なので、その項目を新設するか、関連欄に移動。 ・鳥羽市との～ 同上、単に参加ではなく、優れた実施内容を含んでいるので評価は「S」。社会連携活動の欄に移動しては? ・商船学科と～ 検討中であるした ・和歌山高専とは～ 交流をおこなった行った (石田委員)

年度計画		委員会等	事務	計画の実施状況等	鳥羽商船 自己点検評価	各委員コメント
①-2	専攻科学生の地域企業へのインターンシップ参加を推奨していく。また、豊橋技術科学大学等との連携教育プログラムについて、引き続き検討していく。		入試・支援	専攻科生産システム工学専攻の学生2名が地域企業へのインターンシップへ参加した。豊橋技術科学大学には、編入学で卒業生の入学を推進できた。	A	推進することとなった。→できた。 (石田委員)
②-1	学生が海外で活躍する機会を後押しするために、学生派遣を実施しているMELキャンプ等や逆に本校に短期留学生を受け入れて実施するプログラムを複数用意している。今年度もその具体的なプログラム内容を精査して改善を推進する。また、海外留学を経験した学生に積極的に学内で発表を行わせ、海外留学未経験の学生の留学意欲を向上させる。	教務 グローバル 教育推進室	入試・支援	12月19日～22日にタイで開催される日タイサイエンスフェアに、4名の学生が海外へ派遣された。また、シンガポールにおいて、3/23～4/2の期間でMELキャンプの実施計画を立てたが、 新型コロナウイルスの流行により中止 。2/29～3/17にハワイにて行われるKCC国際インターンシップへは3名の学生が参加する 計画を立てたが、新型コロナウイルスの流行により中止 。 なお、海外留学等を経験した学生の学内発表は、例年2回行われており、第1回は4月10日、第2回は11月6日に開催した。第2回目の発表では、SMA鳥羽丸トレーニングやニュージーランドでの研修プログラムの報告を行った。	A	「B」 Bであっても良い。評価が「B」である理由を明記する。「備考欄に世界的に広がった感染症（新型コロナウイルスによる肺炎）による渡航禁止等により中止した。」旨を記載。 (石田委員) MELキャンプの実施を予定した。→(計画を立てたが、新型コロナウイルスの流行により中止。) 学生が参加する。→(計画を立てたが、新型コロナウイルスの流行により中止。) (石田委員)
②-2	海外教育機関から短期留学生を積極的に受け入れ、日本人学生と交流させることによって、日本国内でも国際コミュニケーション力を向上させる。 学外講師を招いて実施するTOEIC特別講義などを通じて、積極的な支援を行う。	グローバル 教育推進室	入試・支援	9月11日～18日に開催されたSMA鳥羽丸トレーニングプログラムでは、短期留学生と同数の11名の日本人学生が参加し、シンガポールからの短期留学生たちと交流を行った。 また、7月13日～15日の3日間、学外講師を招いて「TOEIC対策特別講座」を実施し、参加学生は42名であった。3/9～4/17に本校にて、シンガポールからの短期留学生受入プログラムの 実施計画を立てたが、新型コロナウイルスの流行により中止 。	A	短期留学生受入プログラムの実施を計画した。→ 立てたが 。(新型コロナウイルスの流行により中止。) (石田委員)
③-1	「全国高等専門学校プログラミングコンテスト」、「全国高等専門学校ロボットコンテスト」、「全国高等専門学校体育大会」、「インターハイ」等の活動に積極的に参加し、加えて本校学生が優秀な成績を収められるよう支援して学生の意欲向上を図る。	教務 学生	学生生活	全国総合体育大会（インターハイ）に少林寺拳法部が出場し好成績を挙げた。また、全国高等専門学校体育大会に陸上部及び剣道部が出場した。 第54回全国商船高等専門学校漕艇大会（7月14日、15日）で本校Bチームが優勝、Aチームが準優勝した。 第30回全国高専プログラミングコンテスト(10月13、14日)で優秀賞を受賞した。 全国高等専門学校ロボットコンテスト東海北陸地区大会（10月20日）において、ベスト4に勝ち進んで、デザイン賞を受賞した。 会津大学で開催されたパソコン甲子園2019（11月9日、10日）において、モバイル部門 ベストデザイン賞を受賞した。	S	素晴らしい成果です。 関係者の皆様のご努力に感謝いたします。 (増田委員)
③-2	ボランティアの依頼情報があった場合については、学校内の掲示板等に情報を周知する。更に、近隣地域と連携して学生主体の地域ボランティア活動を促進する。	教務 学生 寮務	学生生活	6月に本科1～3年生が池の浦駅周辺及び本校周辺のクリーンキャンパスを行い、周辺地域住民と触れ合いながら、清掃活動を行った。 近隣の町内会より依頼があり、粗大ごみ回収のボランティア活動を11月に行った。 11月29日に鳥羽警察署で実施された啓発活動ボランティアに参加、協力を行った。 12月20日に鳥羽警察署で上記のボランティアに参加したことについての感謝状が授与された。	A	社会連携活動欄に移動しては？ (石田委員)
③-3	外部の各種奨学金制度については、学内の主要な掲示板に掲載して情報提供に努める。 更には、「トビタテ！留学JAPAN」プログラムに関する学内説明会を行い、前年度奨学金を受けた学生の体験談を紹介し、学生の申請を促す。	グローバル 教育推進室	入試・支援	奨学金制度である「トビタテ！留学ジャパン」プログラムに2名の学生が採択された。また、同プログラムの学内説明会を10/30に行い、高校生コースへ5名の学生が申請中である。また、大学生コースへは2名の学生が申請を行った。	A	申請を行う 行った 。 (石田委員)
(3) 多様かつ優れた教員の確保						
①	専門科目担当教員の公募において、応募資格の一つに原則、博士の学位を有する者を掲げること	教員選考	人事・労務	専門科目担当教員の公募において、応募資格の一つに原則、博士の学位を有する者を掲げた。	A	
②	企業や大学に在職する人材など多様な教員の配置を可能とするため、新たにクロスポイントメント制度の活用を検討する。	教員選考	人事・労務	クロスアポイントメント制度活用のため学内に周知を行ったが、今年の応募対象者はなかった。但し、校長が鈴鹿高専校長を併任した。	B	評価「A」？ 年度計画は、新たなクロスポイントメント制度の活用の検討であり、検討し制度の活用を周知したのであれば評価は「A」でも十分と考えます。 クロスアポイントメント制度活用のため学内に周知を行った。が、今年の応募対象者はなかった。 校長が鈴鹿高専校長を併任した→この件は別問題による。 (石田委員)
③	ライフステージに応じた柔軟な勤務時間制度や同居支援プログラム等の取組を周知する。 また、女性研究者支援プログラムの実施により女性教員の働きやすい環境の整備を進める。		人事・労務	柔軟な勤務時間制度については、変形労働時間制で対応している。 同居支援プログラム等の取組を周知した。	B	女性教員の働きやすい環境の整備を進める。・・・整備を進めることが出来なかった？→もし、何ら実施しなかったのであれば実施状況に何らかを記載。 (石田委員)
④	外国人教員の採用について検討する。	教員選考	人事・労務	英語教員の採用では、英語版募集要項を作成して公募した。応募が3人あったが適当な人材がおらず採用に至っていない。	A	英語教員について、外国人教員の採用について公募したが、適当な人材がおらず採用に至っていない。 英語版募集要項を作成、応募が3人あった。 → 英語教員の採用では、英語版募集要項を作成して公募した。応募が3人あったが適当な人材がおらず採用に至っていない。 (石田委員)
⑤	長岡技術科学大学及び豊橋技術科学大学との連携を図りつつ、国立高等専門学校・両技術科学大学間の教員人事交流を可能な限り検討する。	教員選考	人事・労務	両技科大との人事交流を周知し希望者を募った。	B	希望者を募ったが応募者はいなかった。 年度計画は人事交流の検討なので「A」でも良いか。このような場合の年度計画の表現を検討し直した方が良いのでは？ 両技科大との人事交流を周知し希望者を募った。希望者を募ったが、 (石田委員)
⑥-1	・法人本部による研修への参加を推奨し、かつ、国立高等専門学校におけるファカルティ・ディベロップメントを実施するとともに、学校の枠を超えた自主的な研修グループ等の活動を推奨する。 なお、教員の能力向上を目的とした各種研修について、積極的な参加を推奨する。	教務	人事・労務	法人本部による研修へ希望者を参加させた。 本校においては、教務主事室主催のファカルティ・ディベロップメント等を実施した。 教員の能力向上を目的とした各種研修について、積極的な参加を推奨している。	A	法人本部による研修への参加を推奨し、希望者を参加させているた。→計何名か判れば明記。 (石田委員)

年度計画		委員会等	事務	計画の実施状況等	鳥羽商船 自己点検評価	各委員コメント
⑥-2	・高専機構主催のファカルティ・ディベロップメント研修会に積極的に参加させ、また学内においても教員ファカルティ・ディベロップメントを実施し、能力向上を図る。	教務	教務	例年と指向を変え、学内企画として課題解決型のFDを実施（全3回：8月28日、9月4日、9月5日）した。その内容は実際に本校の業務改善に役立てる状況となっている。また、11月15日に皇学館大学 教育学部の教授を招へいし、FDも含めた教職員SDを開催した。 ※学内企画として3月4日に、ICTを活用した授業方法等の教員FDを実施を予定していたが、新型コロナウイルスの流行により延期（日時未定）となった。	A	評価「B」？ 「本部主催のFD研修会に参加させる」ことが年度計画とされている。→その結果は？参加させていなければ評価は「B」か？ このような場合、年度計画は「本部FDへの参加を推奨する」とするなどと年度計画にすべきか？ (石田委員)
⑦	教育活動や生活指導などにおいて、顕著な功績が認められる教員や教員グループを表彰していただくよう推薦し、各教職員のモチベーションの向上のきっかけとなるよう努める。	校長	人事・労務	教員顕彰：教育活動や生活指導などにおいて、顕著な功績が認められる教員や教員グループを表彰していただくよう機構本部へ推薦を行った。	A	おこなった。行った。 (石田委員)
(4) 教育の質の向上及び改善						
①-1	モデルコアカリキュラムに準拠したシラバスを作成するとともに、積極的に学生の自主的勉学を促進するPBLを取り入れていく。	教務	教務	3月中旬にモデルコアキュラムに準拠した来年度シラバスが完成する予定である。 また、情報機械システム工学科1年のPBL1、制御情報工学科、電子機械工学科3年・4年の創造実験においてPBLを取り入れている。 なお、創造実験では、専門技術を用いて地域の抱える課題を解決することに取り組んだ。	A	解決することに取り組んでいる。 (石田委員)
①-2	他機関等のファカルティ・ディベロップメント事例を収集・検討し、学内において行った教員ファカルティ・ディベロップメント研修の内容を本校ホームページにおいて公表する。	教務	教務	他機関等のファカルティ・ディベロップメント (FD) 事例等から、本校における今年度のFDは例年と手法を変えて行った。また、その内容をホームページに掲載した。	A	
②-1	平成25年度に受審した機関別認証評価結果に基づく改善を継続する。また、2020年度受審にむけて学内体制・整備を行う。	点検評価	企画・地域連携	・2020年度受審に向け、9月、学内に認証評価担当プロジェクトチームを立ち上げ、担当する教員、職員を任命し、資料の収集、作成を進めた。また、校長から諸会議において全学に向けての認証評価に係る周知、協力依頼を行った。 ・2020年6月末の資料提出期限を前に、大学改革支援・学位授機構担当者との事前相談を3月に行う予定である。	A	資料の収集、作成を進めている。 (石田委員)
②-2	STCW条約（船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約）に基づく資質基準を維持するとともに、同条約に基づいた設備の点検を継続する。	STCW条約対策	教務	STCW条約に基づく資質基準の維持に努め、学内で実施するQSS監査を実施した。	A	
③-1	本年度より開始となる新学科（情報機械システム工学科）の授業において、PBLの導入を積極的に進めていく。	教務	教務	後期から情報機械システム工学科1年生の授業科目としてPBL1が始まり、ロボットの制御演習を通じたグループワーク等を行い、与えられた課題について設定された目標を達成できるよう進めた。新学科は1年目であるため、上級学年との縦割り班によるPBL学習は組めていないが、制御情報工学科、電子機械工学科の4・5年生からレクチャー、アドバイスを受ける機会を設けた。	A	目標を達成できるよう進めている。 アドバイスを受ける機会を設けている。 (石田委員)
③-2	IT企業と人工知能に関する集中講座コンテンツを開発し、ネット配信することで遠隔地からの授業実施を可能にする。 地域の産業支援センターの協力を得て、アントレプレナーシップ育成のコンテンツを開発し、全国高専で利用可能な教材を作成する。	研究主事	企画・地域連携	株式会社FIXERの社員を講師として10月から12月の間に15時限（1単位分）の特別講義を実施した。内容は、最新のクラウド・AI関連とした。MicrosoftのTeamsによる授業実戦も積極的に取り入れたため講師は東京から授業を実施した回もあった。 また、地元の中小企業診断士とともにアントレプレナーシップ教育のための教育コンテンツを作成した。本件は、本部から指定されている共同教育拠点の事業の一環であり、教材作成後は本部が開発している教材共有システムに搭載し、全国高専で利用できるようにする。	A	評価「A」？ 集中講義コンテンツの開発は？ネット配信の授業実施を可能にしたかどうかの結果が記載されていない。もししていなければ評価は「B」となる？ 年度計画の表現を検討し直した方が良い？ 全国高専で利用できるよに作るした。？ (石田委員)
③-3	K-SEC提供のCiscoサイバーセキュリティ教材等を用いた実践教育を推進し、教育内容の高度化をはかる。	総合情報センター	総務	制御情報工学科本科5年生における「ネットワークシステム」講義にて、Ciscoサイバーセキュリティ教材「Cybersecurity Essentials」を主たる教材として実施した。	A	
④	高等専門学校教育の高度化に向けて、技術科学大学との間で定期的な連携・協議の場を設け、ビデオ教材を活用した教育、教員の研修、教育課程の改善、国立高等専門学校と技術科学大学との間の教育の接続、人事交流などの分野で有機的な連携等、可能性について検討する。	教員選考	人事・労務	高等専門学校教育の高度化に向けて、技術科学大学との間で定期的な連携・協議の場を設け、ビデオ教材を活用した教育、教員の研修、教育課程の改善、国立高等専門学校と技術科学大学との間の教育の接続、人事交流などの分野で有機的な連携等、可能性について引き続き検討した。	B	評価「A」？ 実施に向けての検討を行っているので、評価は「A」で良い？次年度は実施？ 可能性について引き続き検討するした。 (石田委員)
(5) 学生支援・生活支援等						
①	精神科医1名（月1日）、カウンセラー2名（月1日、週1日）を配置し、面接及び必要に応じて電話相談を実施する。また、学生相談室を設けて、平日は養護教員経験者を非常勤職員として配置し、学生の相談を受け付けている。 また、今年度も外部専門家を招聘し、本校教職員に対する研修実施を検討する。	学生	学生生活	学生相談は、教職員での対応のほか、精神科医1名及び臨床心理士2名、計3名の専門職が必要に応じて実施している。 特に、高学年の発達障害傾向にある学生に対して、月1回の精神科医による面談及び週1回の臨床心理士によるコミュニケーショントレーニングを行い、就職支援をしている。 教職員に対しての外部講師によるFD研修を11月15日に実施した。 1年生を対象に、臨床心理士による自殺予防に関する講演会を2月5日に実施した。 3・4年生を対象に、鳥羽警察署によるSNSに関するトラブルへの注意喚起に関する講演会を2月5日に実施した。	A	
②	機構本部と連携・情報共有し新しい奨学金制度に対応する。 奨学金制度の充実のため、新入生入学時の説明会における案内や学内、ホームページへの情報掲載を行う。	学生	学生生活	授業料免除や奨学金制度については、ホームページに掲載を行うとともに、保護者へ案内状を郵送し、情報提供に努めた。また、該当学年の教室、廊下の掲示板及び学生課前等にポスター掲示を行い、学生への情報提供に努めた。また、新入生においては、3月16日及び23日に行われる新入生入学手続説明会で本人及び保護者に対し、説明を行う計画を立てたが、新型コロナウイルスの流行により中止。	A	新しい奨学金制度→新しい奨学金制度とは何か？その対応のため何を行ったが明記されていない。 説明を行う計画を立てたが（新型コロナウイルスの流行により中止）。 (石田委員)

年度計画		委員会等	事務	計画の実施状況等	鳥羽商船 自己点検評価	各委員コメント
③	低学年時より社会人基礎力養成のためのキャリア教育を行い、高学年時で就職力養成のためのキャリア教育を行う。 また、企業の求人関係資料を学生が集まる図書館で閲覧できるようにして、学生のキャリア教育を総合的に支援する。	キャリア教育推進室	学生生活	社会人基礎力養成のための授業科目（一般基礎教育1・2）、就職力養成のための授業科目（キャリアデザイン1・2）に於いて、外部講師を招き、以下の授業を行った。 一般基礎教育1：4月17日に学生生活の心得 & SNSに係る授業を実施した。7月3日にスマホ安全安心講座を実施した。消費者教育講座を10月2日に実施した。10月9日にキャリアの形成及び社会意識（マナー）についての授業を実施した。 一般基礎教育2：6月5日にライフプランを考える授業を実施した。7月10日にデートDV防止啓発講座を実施した。7月17日に防災に関する講演を実施した。7月24日に三重県議会による出前授業を実施した。 図書館に進路支援システム閲覧用パソコン及び企業紹介パンフレットを配置した。 キャリアデザイン1：6月18日にWeb適性試験登録、結果の見方解説（マイナビ講師）を実施した。11月19日にインターンシップの動機づけ、Web適性試験登録（マイナビ講師）を実施した。11月26日に自己分析・適性検査の解説（マイナビ講師）を実施した。 キャリアデザイン2：11月19日に就活講座、Web適性試験登録・適性試験登録（マイナビ講師）を実施した。11月26日に模擬グループ面接、適性検査の解説（マイナビ講師） 2月7日に専攻科、本科3年生、4年生を対象とした校内就職支援セミナーを実施した。	A	評価「S」？ 多くの外部専門講師を招き、多様な内容についてキャリア教育を実施しており、評価は「S」でも良いのでは？ (石田委員)
1. 2 社会連携に関する事項						
①	三重県の特徴である水産業、農業、観光業を支援する技術提供を行い、持続的なサービス提供に寄与する。また、これらの情報はホームページに掲載することはもちろん、SNSを通じて積極的に情報発信する。 シーズ集は毎年更新し、ホームページに掲載するほか、関係各所へ印刷物を送付する。	研究主事	企画・地域連携	三重県や鳥羽市と連携し、水産業、農業、観光業を支援する技術提供を行っている。例えば、三重県の重点政策として「海面養殖業の人工知能給餌」を尾鷲水産研究所と実施、「柑橘類の灌水、収量予想に関する支援」も実施している。また、鳥羽市とは人口分布や人の導線記録に基づく、政策検討ツールを共同開発し、今後の市政や観光対応に役立てる。これらの情報は、ホームページはもちろん、学校のSNSで積極的に配信している。 なお、シーズ集を更新し、ホームページに掲載したほか、関係各所へ印刷物を郵送する。	S	同様の内容が他にも記載されている。検討要？ ①-1と③-2。 (石田委員) 鳥羽市の各機関や学校との連携にとっても貢献していただきました。 (野村委員) 地域との積極的な連携に感謝いたします。 (増田委員)
②	三重地方創生コンソーシアムと連携し、他の研究機関と協働することにより1次産業、3次産業の事業者等、三重県をはじめとする行政との意見交換を行う。 三重県工業研究所とは、包括連携を結んでいるため2次産業の事業者の課題解決にも取り組む。 これらの成果は、県内の各種研究会等で紹介し、情報発信、知的資産化に努める。	テクノセンター	企画・地域連携	三重地方創生コンソーシアムに、教員、学生が参加し、1次産業や3次産業の最新動向調査を行っている。9月に実施されたマリンITの勉強会では、本校教員も事例紹介を行なった。本コンソーシアムでつながった、1次産業や3次産業の事業者とは頻りに意見交換を行い、いくつかの事業も進めている。 例えば、海苔や牡蠣養殖の事業者向けに、定点観測ブイを設置し、水温をリアルタイムに閲覧できる仕組みを提供した。これにより、牡蠣の放卵時期の特定が可能になった。 また、海苔養殖の事業者向けに、漁期前講習会でICTブイの設置と効果について、複数回説明を行い、実際に鳥羽市、伊勢市、志摩市で実証実験を開始している。	S	成果は大変素晴らしいと思います。 ただ、江崎先生に集中しすぎている感があります。多くの先生に同様の活躍を期待いたします。 (増田委員)
③-1	(機構本部のみの計画のため、省略)					
③-2-1	学校行事、各種イベント開催、コンテスト参加等について、マスメディアに通知するとともに、コンテスト等で入賞した場合にも、積極的にマスメディア等へ連絡し広報活動に努める。 またホームページへの掲載もあわせて行う。	広報・公開	総務	学校行事、各種イベント開催、コンテスト参加等について、事前にマスメディアに通知し、PR活動を行うとともに、以下の受賞をHP等で公表している。 ・全国高専プロコンでの優秀賞の受賞 ・少林寺拳法部インターハイ出場、全国大会出場 ・公開講座の実施 ・男子走高跳で東海高校総体出場権獲得 ・東海地区高専大会男子走高跳で2連覇 ・全国高専大会男子走高跳で優勝 ・全日本ソーラー&人力ボートレース大会2019にて学生総合優勝および自己新記録達成 ・全国高専プログラミングコンテストで優秀賞を受賞 ・U18日本陸上競技選手権男子走高跳で7位入賞 ・高専ロボコン2019地区大会ベスト4・デザイン賞受賞 ・パソコン甲子園でベストアイデア賞を受賞 ・第8回高校・高専 気象観測機器コンテストで最優秀賞及び優秀賞を受賞	S	学生活動の内容や行事は、社会連携活動とは異なるので別の欄に整理、移動を検討されては如何でしょうか？ ・公開講座の実施→これは社会連携活動 (石田委員)
③-2-2	一般市民の利用促進のため、学校説明会等で中学生と保護者へ本校図書館についての紹介を実施するとともに、地元の情報紙へ図書館の利用案内の掲載を依頼する。	図書紀要	図書	主に中学生対象の公開講座（英語高速学習講座）を8月1日～6日、図書館で実施し、10人の参加があった。また、今年度はオープンキャンパス（8月9日入館者199人、8月10日入館者250人）及び地域住民が多く来校する海学祭（10月27日入館者134人）に図書館開放を実施した。 その他、鳥羽市、志摩市、伊勢市の広報誌へ利用案内が掲載された。	A	図書館開館開放を実施した。 (石田委員)
1. 3 国際交流等に関する事項						
①-1	機構本部、関係機関との組織的・戦略的な連携の下に、相手国と連携・協議しつつ、その要請及び段階等に応じた支援に取り組む。	グローバル教育推進室	総務担当補佐	従来交流活動に加え、ベトナムNo. 1およびNo. 2商船学校の学生の受け入れに関して、担当校の広島商船高専と連携活動を行った。先方のベトナムにおける日本語教育の遅れから、学生の受け入れは、次々年度以降となった。	B	同じ内容が記載されている。整理が必要。 ベトナムとの交流は検討となっており、検討しているので評価は「A」。KMUTTとの交流は実施しており評価は「A」。 「KOSEN」の海外展開は本部の仕事と考える。KOSENの海外展開は各学校単独では予算もないので実施は不可能。年度計画を見直す必要がある？ (石田委員)
②	学生に限らず教職員が国際化の重要性を認識するために、グローバル教育推進室を中心として「KOSEN」の海外展開を促進する活動を実施する。 ・ベトナム海事大学No.1校との具体的な交流を検討し、学生の受け入れを検討する。 ・4月17日来学のタイ高専（KMUTT）関係者に対して高専、学校紹介及び卒業生が勤務する地域企業見学を実施する。	グローバル教育推進室	総務担当補佐 教務	4月17日にタイ高専（KMUTT）関係者10名が来校し、本校の学校紹介を行った。また、本校卒業生が勤務する地域企業見学を実施した。	B	

年度計画		委員会等	事務	計画の実施状況等	鳥羽商船 自己点検評価	各委員コメント
③-1	学生が海外で活躍する機会を後押しするために、学生派遣を実施しているMELキャンプ等や逆に本校に短期留学生を受け入れて実施するプログラムを複数用意している。今年度もその具体的なプログラム内容を精査して改善を推進する。また、海外留学を経験した学生に積極的に学内で発表を行わせ、海外留学未経験の学生の留学意欲を向上させる。【再掲】	教務 グローバル 教育推進室	教務	12月19日～22日にタイで開催される日タイサイエンスフェアに、4名の学生が海外へ派遣された。また、シンガポールにおいて、3/23～4/2の期間でMELキャンプの実施を予定した。(新型コロナウイルスの流行により中止) 2/29～3/17にハワイにて行われるKCC国際インターンシップへは3名の学生が参加する。 なお、海外留学等を経験した学生の学内発表は、例年2回行われており、第1回は4月10日、第2回は11月6日に開催した。第2回目の発表では、SMA鳥羽丸トレーニングやニュージーランドでの研修プログラムの報告を行った。【再掲】		
③-2	海外教育機関から短期留学生を積極的に受け入れ、日本人学生と交流させることによって、日本国内でも国際コミュニケーション力を向上させる。 学外講師を招いて実施するTOEIC特別講義などを通じて、積極的な支援を行う。【再掲】	グローバル 教育推進室	教務	9月11日～18日に開催されたSMA鳥羽丸トレーニングプログラムでは、短期留学生と同数の11名の日本人学生が参加し、シンガポールからの短期留学生たちと交流を行った。 また、7月13日～15日の3日間、学外講師を招いて「TOEIC対策特別講座」を実施し、参加学生は42名であった。3/9～4/17に本校にて、シンガポールからの短期留学生受入プログラムの実施を計画した。(新型コロナウイルスの流行により中止) 【再掲】		
③-3	外部の各種奨学金制度については、学内の主要な掲示板に掲載して情報提供に努める。 更には、「トビタテ！留学JAPAN」プログラムに関する学内説明会を行い、前年度奨学金を受けた学生の体験談を紹介し、学生の申請を促す。【再掲】	グローバル 教育推進室	教務	奨学金制度である「トビタテ！留学ジャパン」プログラムに2名の学生が採択された。また、同プログラムの学内説明会を10/30に行い、高校生コースへ5名の学生が申請中である。また、大学生コースへは2名の学生が申請を行う。【再掲】		
④-1	※ホームページ関係については、(1)の①-1、②-2にて記載済み。		総務 総務担当補佐	10月30日開催の広報・公開委員会公開部会にて、現在のホームページについて、12月末までを目途として学内で意見聴取を行った。集められた意見をもとに随時更新を行った。 10月30日開催の広報・公開委員会公開部会において、英語版ホームページについて検討し、現在の英文ページに以下の項目に係るページを作成することとした。 ・学校案内(校長挨拶、ポリシー、沿革等) ・学科紹介(スタッフ、カリキュラム) ・活動状況 ・施設情報(アクセス等) 【再掲】		
④-2	日タイ産業人材育成協カイニシアティブに基づく留学生の受入を引き続き検討する。		入試・支援	今年開催された「日タイ高校生ICTフェア」への参加を行った等、同イニシアティブに沿ったタイとの学生交流を深めるとともに、留学生に特化した寮の増改築を検討するなど、積極的に留学生受入れ実施に向けた取り組みを検討した。	B	評価「A」? 計画は「・・・引き続き検討」なので、ICTフェアに参加し、取組みを検討したので、評価は「A」でも良いのでは? 実施に向けた取り組みを行う検討した。 (石田委員)
⑤	本校学生の国際交流に関しては、法人本部の実施基準に加えて、外務省の海外危険情報も考慮した本校独自のガイドラインの作成を検討する。また、外国人留学生に関しては、資格外活動状況のヒアリングを定期的実施する。		入試・支援	グローバル教育推進室会議にて「鳥羽商船高等専門学校の主催事業における海外渡航及び滞在に関する実施基準」を定めた。また、本校留学生に対して、毎月行う在籍確認等の機会を利用し、資格外活動状況を含む近況に関する情報提供を行った。	A	近況に関する問い合わせをしている情報提供を行った。 (石田委員)
2 業務運営の効率化に関する事項						
2. 1 一般管理費等の効率化						
	事務の効率化及び管理経費の削減を推進する。	事務部	総務課 学生課 (総務課財務担当補佐)	・事務部に設置されているプリンタの消耗品費や保守・修繕費等の維持費削減のため、リース契約の導入の準備を進めた。 ・書類を保管しておくパイプ式ファイル等を再利用し、管理経費の削減を行った。	A	導入の準備を進めた。 管理経費の削減を行っている。 (石田委員)
2. 2 一般管理費等の効率化 (機構本部のみの計画のため、省略)						
2. 3 契約の適正化						
	・引き続き真にやむを得ない場合を除き一般競争入札等によることを徹底する。 ・鈴鹿高専とのさらなる共同調達を検討する。また、近隣高専、大学との連携の在り方を探る。		調達	・引き続き真にやむを得ない場合を除き、一般競争入札等によることを徹底した。 ・ガソリンについて鈴鹿高専と引き続き共同調達を実施している。また、電気契約についても名古屋大学を中心に共同調達を検討した。	A	共同調達を検討している。 (石田委員)
3 予算(人件費の見積もりを含む。)、収支計画及び資金計画						
3. 1 一般管理費等の効率化 (機構本部のみの計画のため、省略)						
3. 2 外部資金、寄附金その他自己収入の増加						
	科学研究費補助金はもちろん、総務省や農林水産省の募集する事業にも応募し、外部資金獲得を進める。 事業化につながるようなものは、産業支援センターが募集する助成金に事業者と応募を進める。 地元企業に勤めるOB等と連携し、外部資金の獲得にも注力する。	研究主事	企画・地域連携	科研費については教員、技術職員へ申請を促した結果、教員への申請率は98.0%(昨年度92.7%)、技術職員を含む申請率は97.0%(昨年度94.2%)であった。三重県産業支援センターが募集するファンドに連携企業経由で応募し、海洋観測パイの製品化に向けた助成申請が採択された。また、総務省の外部資金を1件、農水省系の外部資金3件を獲得した。	S	海洋観測パイの製品化に向けた助成を受けることができた申請が採択された。 (石田委員) 科研費以外にも、産学官連携で申請する外部資金はいろいろあります。一層の地域企業との連携を推進してください。 (増田委員)
4 短期借入金の限度額 (機構本部のみの計画のため、省略)						
5 不要財産の処分に関する計画 (機構本部のみの計画のため、省略)						
6 重要な財産の譲渡に関する計画 (機構本部のみの計画のため、省略)						
7 剰余金の使途 (機構本部のみの計画のため、省略)						
8 その他主務省令で定める業務運営に関する事項						

年度計画		委員会等	事務	計画の実施状況等	鳥羽商船 自己点検評価	各委員コメント
8. 1 施設及び設備に関する計画						
①-1-1	教育研究設備の整備について、設備マスタープランの更新を行う。 ・学生寄宿舎内のスペースを有効に活用するための改修を10月までに完了させる。 ・総合情報センター、図書館、関連施設を統合する総合情報センター構想について計画・立案する。	校長 総合情報センター 施設 環境整備	財務担当補佐 総務 施設	・学生寄宿舎の改修を9月末日をもって完了させた。これにより有効活用されていなかったスペースに寮室を14部屋追加及び留学生との交流用スペースを作成した。 ・今年度補正予算で図書館改修の概算要求の内示があったため、図書館の機能改修を含めた改修内容を検討するためのWGを1月に立ち上げ2月末に仕様を策定した。予算示達があり次第、設計の契約を行う。 ・総合情報センター、図書館、関連施設を統合するメディアラボ構想について具体的に計画するため、1/8、1/22、1/29、2/12、2/19の合計5回の図書館改修ワーキングを行った。	A	
①-1-2	学生用図書の実用性を高めるなど学生の学習支援施設としての機能を充実させるとともに、学生及び一般市民が利用しやすい図書館となるように施設・環境の改修・整備について検討を進める。	図書紀要	図書	今年度は1月末時点で735冊の増書を行っている。施設・環境整備については、図書館棟改修計画においてより良い改修内容が盛り込むよう対応した。	A	改修内容が盛り込まれるよう対応していく 盛り込むように対応した。 (石田委員)
①-2	昨年度に実施した非構造部材の耐震点検結果を元に、耐震化を検討する。	施設 環境整備	施設	非構造部材の耐震診断結果の内不良があった喫食食堂の庇改修を9月中に完了させた。また、その他不良がある箇所については、改修計画を立て令和2年度以降の概算要求の改修希望として10月に要求をあげ、今年度補正予算で図書館改修が採択された。図書館改修時に非構造部材の耐震対策を行う。	A	評価「S」 計画は「耐震化の検討」なので、検討を下に耐震工事を実施しており、評価は「S」でも良いのでは。 耐震診断結果のうち内不良があった (石田委員)
②-1	学生及び教職員を対象に、「実験実習安全必携」を配付するとともに、安全衛生管理のための各種講習会を実施する。	安全衛生	人事・労務	教職員を対象に、安全衛生管理のため各種講習会への参加を推奨し、今年度は新任等を対象としたAED講習会へ8名の教職員が参加した。	A	参加者は8名程度の表現は？ 既に以前に配布済みであればよし。 学生及び教職員に「実験実習安全必携」を配布した？また、教職員を対象に、 (石田委員)
②-2	「実験実習安全必携」を学生便覧に盛り込む。	安全衛生	教務	「実験実習安全必携」を3月末完成の学生便覧に盛り込む予定である。	A	
③	・女子学生用の更衣室のリニューアルを検討する。 ・練習船鳥羽丸の女子学生居住区の改善を推進する。	施設 環境整備	施設	女性学生の更衣室の改修計画の初回として、扉を引戸に改修する案を5月に学生課と立案し、7月に仕様を決めた上で 見積りを取った。 鳥羽丸の女子学生用トイレドアを8月のドック時に改修を実施した。	B	評価「A」？ 計画は改修の検討、推進であり、既に改修検討に基づいた見積もりを行っており、また鳥羽丸の女子トイレドアの改修を行っている。評価は「A」で良いのでは？ 見積りを取得したが、予算化には至っていない 取った。 (石田委員)
8. 2 人事に関する計画						
(1) 方針						
①	課外活動において、外部指導員の計画的活用を昨年度に引き続き実施するとともに、寮務についてアウトソーシング等の活用を検討する。		人事・労務 学生生活	今年度においては、平成31年4月から令和2年3月にかけて、6部活で外部指導員を活用している。	B	評価「A」？ 寮務委員会にて寮務のアウトソーシングについて検討を行ってれば評価は「A」で良いのでは？検討もしていないのであれば「B」が良い。 (石田委員)
②	教員の戦略的配置のための教員人員枠の再配分の仕組みを検討する。	教員選考	人事・労務	最善の教育環境を維持するため、戦略的に教員人員枠の再配分の仕組みと 実行に向けた取り組みを検討した。	B	評価「A」？ 検討しているので評価は「A」で良いのでは？ 再配分の仕組みを検討し、現在実行にむけ取り組んでいると 実行に向けた取り組みを検討した。 (石田委員)
③	若手教員確保のため、教員人員枠の弾力化を検討する。	教員選考	人事・労務	若手教員確保のため、上位職ポストを考慮した公募を行っている。	A	
④-1	専門科目担当教員の公募において、応募資格の一つに原則、博士の学位を有する者を掲げること検討する。【再掲】	教員選考	人事・労務	専門科目担当教員の公募において、応募資格の一つに原則、博士の学位を有する者を掲げた。【再掲】		
④-2	企業や大学に在職する人材など多様な教員の配置を可能とするため、新たにクロスアポイントメント制度の活用を検討する。【再掲】	教員選考	人事・労務	学内に周知を行ったが、対象者はなかった。【再掲】		
④-3	ライフステージに応じた柔軟な勤務時間制度や同居支援プログラム等の取組を周知する。 また、女性研究者支援プログラムの実施により女性教員の働きやすい環境の整備を進める。【再掲】		人事・労務	柔軟な勤務時間制度については、変形労働時間制で対応している。 同居支援プログラム等の取組を周知した。		
④-4	外国人教員の採用について検討する。【再掲】	教員選考	人事・労務	英語教員について、外国人教員の採用について公募したが、適当な人材がおらず採用に至っていない。		
④-5	男女共同参画室を中心に、男女共同参画に関する意識啓発のため、関連情報を教職員へ提供し、外部が主催する男女共同参画に関する研修等に教職員を積極的に参加を促す。 また、学生に対しても様々な意識啓発を行う。	校長	総務	男女共同参画室を中心に、男女共同参画に関する意識啓発のため、男女共同参画に関する情報を教職員へ提供した。 また、12月21日開催の高専女子フォーラムへ学生4名を派遣し、3件の発表を行った。	A	
⑤	教職員の積極的な人事交流を進め、多様な人材育成を図るとともに、各種研修へ計画的に参加させ、資質の向上を推進する。 ・採用された教員の学内新任研修の実施を検討する。		人事・労務 教務	教職員の多様な人材育成を図るとともに、各種研修へ計画的に参加させ、資質の向上を推進した。 採用された教員の 学内新任研修を実施した。	A	各種研修へ計画的に参加させ一具体的な参加者数は分かりますか？ 学内新任研修の実施一いつ実施したか分かりますか？ 資質の向上を推進している た。 採用された教員の学内新任研修の実施 した、 一或いは現在日々の業務の中で実施中である。 (石田委員)
(2) 人員に関する指標						
	常勤職員について、その職務能力を向上させつつ業務の効率化を図り、適切な人員配置に取り組むとともに、事務のIT化等により中期目標期間中の常勤職員の抑制に努める。		人事・労務 教務	教職員の 出退勤の管理方法について着手した。具体的な手法について引き続き検討した。事務のIT化等については、機構本部と連携を検討した。	B	評価「A」？ 事務所でIT化等による常勤職員の抑制の検討をしていなければ評価は「B」でも良いが、検討をしていけば「A」でも良いのでは？ 管理方法について着手したが、一。具体的な手法については決定に至らず引き続き検討していく た。 事務のIT化等については、現状、本校単独で開発・導入するには予算的な余裕がないため、機構本部と連携した を 検討を行いたいと考えている した。 (石田委員)
8. 3 情報セキュリティについて						

年度計画	委員会等	事務	計画の実施状況等	鳥羽商船 自己点検評価	各委員コメント
本校教職員を対象とした情報セキュリティ教育として、Azure Information Protection (AIP)に関する講習会を開催し、職責等に応じて必要となる実践的な情報セキュリティ教育を実施する。 「すぐやる3箇条」を周知徹底し、定期的に情報セキュリティインシデントの予防および被害拡大を防ぐための啓発として事例紹介等を実施する。 MieCS-ISACの参画機関として、近隣地域機関と共同で情報セキュリティインシデントの予防や啓発活動に取り組む。	総合情報センター	総務	2月25日にセキュリティ管理委員会を開催し、情報セキュリティに関する情報共有および注意喚起を行った。また、情報セキュリティ教育に関して、Azure Information Protection (AIP)講習会を2020年3月17日に実施し、主体認証暗号化についての教育を実施する。また、メール、教員会議等を通して「すぐやる3箇条」の周知を継続的に行っている。また、定期的に情報セキュリティインシデントの予防および被害拡大を防ぐため、メールによる周知を継続している。さらにMieCS-ISACの参画機関として、三重県警サイバー犯罪対策課と情報共有を行いながら、2020年2月1日のサイバーセキュリティ月間啓発イベント運営に、教員1名、学生ボランティア6名が参加し、フィッシング詐欺体験等の体験講座サポートを行った。	B	評価「A」？ 年度計画内容を十分実施しているので評価は「A」で良いのでは？ (石田委員)
8. 4 内部統制の充実・強化					
①-1 ～ ②-1	(機構本部のみの計画のため、省略)				
②-2	校長	総務	高専機構作成「コンプライアンス・マニュアル」を 教職員 に配布し、「セルフチェックリスト」により、教職員のコンプライアンスの向上を行った。(12月)	A	教職員が「セルフチェックリスト」によるチェックを実施確認したかどうか？もし確認したのであれば、その旨を記載しても良いのでは？ 「コンプライアンス・マニュアル」を 教職員 に配布し、 (石田委員)
②-3 ～ ③	(機構本部のみの計画のため、省略)				
④	校長	財務・経理	平成27年度に初版を作成した「公的研究費使用マニュアル」について、改訂版を作成し、教職員に配布し周知を行った。コンプライアンス研修については3月に実施、研究倫理教育については今年度新規採用の教員に対し実施した。	A	評価「B」？ 年度計画の目標が高すぎるかも？ 防止策を「確実」に実施した旨の実施状況の記載がないが？ 研修を「複数回」実施し・・・定期的に行う。→複数回、定期的に実施していないので評価としては「B」か？ 年度計画で研修複数回定期的に行うのに越した事はないが、そこまで計画に入れるのは目標が高すぎるのでは？ 今年度新規採用の教員に対し実施した。→いつ実施したが記載？ (石田委員)

2019年度 学生の活躍記事(新聞)

No.	日付	記事タイトル	対象学生	備考
1	2020. 2. 18	本校学生がキャンパスベンチャーグランプリ全国大会にてMIT賞を受賞	制御情報工学科	日刊工業新聞
2	2020. 2. 3	気象観測機器コンテストで最優秀賞・優秀賞をW受賞し、鳥羽市長を表敬訪問	制御情報工学科	中日新聞
3	2020. 2. 2	気象観測機器コンテストで最優秀賞・優秀賞をW受賞し、鳥羽市長を表敬訪問	制御情報工学科	伊勢新聞
4	2019. 12. 18	鳥羽署より防犯啓発に関わった6個人、11団体に署長感謝状を授与	学生ボランティア	伊勢新聞
5	2019. 12. 18	鳥羽署より防犯啓発に関わった6個人、11団体に署長感謝状を授与	学生ボランティア	中日新聞
6	2019. 11. 22	天皇陛下の伊勢神宮参拝に際し、ゆかりのある県民らの天皇陛下との思いでや印象について	卒業生	中日新聞
7	2019. 11. 12	鳥羽商船高専と近藤真琴を校祖とする兄弟校「攻玉社」との学生交流が実現	電子機械工学科	東京新聞
8	2019. 11. 12	鳥羽商船高専と近藤真琴を校祖とする兄弟校「攻玉社」との学生交流が実現	電子機械工学科	中日新聞
9	2019. 10. 26	本校学生が開発した肉や魚の鮮度を写真から推定するアプリ「せんどくん」がスマートフォンアプリコンテストで最優秀賞を受賞	制御情報工学科	中日新聞
10	2019. 10. 23	「即位礼正殿の儀」の挙行に際し、ゆかりのある県民らが喜びの声	生産システム工学専攻	伊勢新聞
11	2019. 10. 20	本校学生が開発した人工分布予測アプリ「とばまっぷ」が全国高専プロコンの課題部門で優秀賞を受賞	制御情報工学科	中日新聞
12	2019. 10. 17	本校学生のチーム「A leak biz」が開発コンテスト「Hack U」大阪大会で最優秀賞を獲得	生産システム工学専攻 制御情報工学科	中日新聞
13	2019. 10. 8	本校学生のチーム「A leak biz」が開発コンテスト「Hack U」大阪大会で最優秀賞を獲得	生産システム工学専攻 制御情報工学科	中日新聞
14	2019. 10. 5	鳥羽市の要請を受け開発したアプリ「とばまっぷ」を鳥羽市民文化会館で市幹部らにプレゼン	制御情報工学科	中日新聞
15	2019. 10. 2	本校学生のチーム「A leak biz」が開発コンテスト「Hack U」大阪大会で最優秀賞を獲得	生産システム工学専攻 制御情報工学科	伊勢新聞
16	2019. 9. 14	鳥羽商船高専と学術交流協定を締結しているSMA学生が鳥羽商船で研修。鳥羽市長を表敬訪問。	商船学科	中日新聞
17	2019. 7. 23	鳥羽市ゆかりのインターハイ出場選手の壮行会を開催（少林寺拳法部）	少林寺拳法部	中日新聞
18	2019. 7. 12	志摩市出身選手の壮行会を開催（全国高専プロコン出場学生）	制御情報工学科	中日新聞
19	2019. 5. 24	本校学生が全国高校選抜大会（少林寺拳法 弁論の部）で第2位を受賞	少林寺拳法部	伊勢新聞
20	2019. 5. 3	学生の研究紹介（「自動給餌システム」）	制御情報工学科	中日新聞

気象観測機器コンで最優秀賞・優秀賞

ミカン農園の自動散水

甘い果実づくり、アプリでサポート

鳥羽商船がW受賞



最優秀と優秀の同時受賞を喜ぶ鳥羽商船高専の学生たち。鳥羽市役所で。

【鳥羽】「第八回高校・スト」で、鳥羽市の鳥羽商高専 気象観測機器コンテ 船高専制御情報工学科の学

生チームが開発したミカン農園の自動散水システム「ひやけ果ORANGE（おらんじえ）」が全国トップの最優秀賞を受賞。同高専の別のチームが開発したスマートフォンアプリ「MIRKAN」は二位の優秀賞となり、ダブル受賞を果たした。

コンテストは、一般財団法人WNI気象文化創造センターが主催。書類審査を通過した全国の三十一チームが昨年十二月の本選でフレンテーションを行い、実運用での成果や実用性が評価された。同校が最優秀を受賞するのは二年ぶり三回目。

最優秀のひやけ果ORANGEは、リーターの四年生川添大和さん（30）ら四、五年生四人が開発した。高温などが原因で早生ミカンの果皮が変色する「日焼け果」を防止する自動散水システム。農園に設置した気象観測器で温度や湿度、日照量などを観測し、一定の

気象条件を超える制御装置が作動しスプリンクラーで散水する。散水によってミカンの表面温度を下げ、日焼け果の発生を防ぐという。日焼け果は、商品にならず廃棄されるが、システム導入によって生産を向上させ農業者の労働時間の短縮につながる。昨年九月に御浜町の農園で実証実験に取り組み、すでに導入、運用している。

優秀賞のMIRKANは、糖度の高いミカンづくりをサポートする新規就農者向けのアプリで、三、四年生の五人が開発した。スマートフォンで撮影したミカンの樹木の画像から、AI（人工知能）が葉の状態などを解析して水分量を推定し、甘い果実を作る決め手となる「水分ストレス」値を判定。判定結果から農業者が水分の過不足を判断できる。両チームは、県内の産地から相談を受けて開発に着手し、約一年かか実用化した。

学生らが三十一日、市役所で中村欣一郎市長に受賞を報告した。リーターの川添さんは「チームみんなの力で受賞できうれしい。日焼け果で破壊されるミカン

を少しでも減らしたい。システムは、リンゴやナスなどの作物でも運用でき、散水のほか肥料散布などにも

応用できる。改良して、農作業の省力化や安定生産に貢献できれば」と話した。（中川美紀）

横断歩道で男性はねる

四日市南署、容疑の男逮捕

【四日市】歩行者をはねてけがをさせたとして、四日市南署は三十日、自動車運転処罰法違反（過失運転致傷）の疑いで、鈴鹿市福生塩屋一丁目、介護士中川尊信容疑者（31）を現行犯逮捕した。

心臓搬送の県警ヘリ不時着

7人負傷 福島、脳死移植初の中止

1日午前8時10分ごろ、福島県郡山市三穂町下守屋の田んぼで、脳死男性から摘出した臓器移植用の心臓を搬送していた県警航空隊のヘリコプター「あづま」が不時着、横転した。搭乗していた警察官や医師ら7人のうち4人が骨折の重傷、3人は軽傷だった。

ヘリは、同県会津若松市の竹田総合病院で50代男性から摘出した心臓を運ぶため、ヘリポートのある会津中央病院から福島空港に向かっていた。日本臓器移植

ネットワークによると、心臓に着いたが、医学的理臓はパトカーで福島空港に運ばれた後、東大病院（東）に運ばれた。事故による脳死移植中止は初めて。

【伊賀】先月三十一日に伊賀市内の名阪国道沿いで、軽トラックが逆走し、大型トレーラーと乗用車が相次いで衝突した事故で、

町内男性会社員（50）を乗用車ではね、頭を切るなどの軽傷を負わせた疑い。容疑者を認めている。

【伊賀】先月三十一日に伊賀市内の名阪国道沿いで、軽トラックが逆走し、大型トレーラーと乗用車が相次いで衝突した事故で、

町内男性会社員（50）を乗用車ではね、頭を切るなどの軽傷を負わせた疑い。容疑者を認めている。

名阪国道で逆走 重体男性が死亡

【伊賀】先月三十一日に伊賀市内の名阪国道沿いで、軽トラックが逆走し、大型トレーラーと乗用車が相次いで衝突した事故で、町内男性会社員（50）を乗用車ではね、頭を切るなどの軽傷を負わせた疑い。容疑者を認めている。

【伊賀】先月三十一日に伊賀市内の名阪国道沿いで、軽トラックが逆走し、大型トレーラーと乗用車が相次いで衝突した事故で、町内男性会社員（50）を乗用車ではね、頭を切るなどの軽傷を負わせた疑い。容疑者を認めている。

【伊賀】先月三十一日に伊賀市内の名阪国道沿いで、軽トラックが逆走し、大型トレーラーと乗用車が相次いで衝突した事故で、町内男性会社員（50）を乗用車ではね、頭を切るなどの軽傷を負わせた疑い。容疑者を認めている。

【伊賀】先月三十一日に伊賀市内の名阪国道沿いで、軽トラックが逆走し、大型トレーラーと乗用車が相次いで衝突した事故で、町内男性会社員（50）を乗用車ではね、頭を切るなどの軽傷を負わせた疑い。容疑者を認めている。

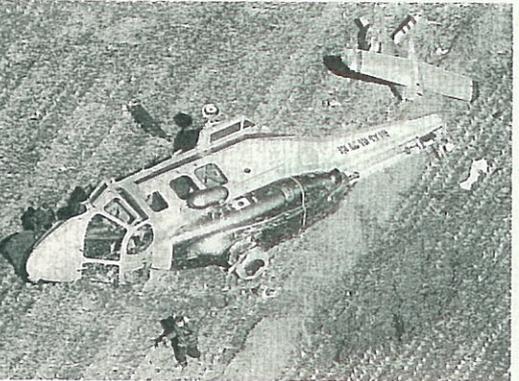
【伊賀】先月三十一日に伊賀市内の名阪国道沿いで、軽トラックが逆走し、大型トレーラーと乗用車が相次いで衝突した事故で、町内男性会社員（50）を乗用車ではね、頭を切るなどの軽傷を負わせた疑い。容疑者を認めている。

【伊賀】先月三十一日に伊賀市内の名阪国道沿いで、軽トラックが逆走し、大型トレーラーと乗用車が相次いで衝突した事故で、町内男性会社員（50）を乗用車ではね、頭を切るなどの軽傷を負わせた疑い。容疑者を認めている。

【伊賀】先月三十一日に伊賀市内の名阪国道沿いで、軽トラックが逆走し、大型トレーラーと乗用車が相次いで衝突した事故で、町内男性会社員（50）を乗用車ではね、頭を切るなどの軽傷を負わせた疑い。容疑者を認めている。

【伊賀】先月三十一日に伊賀市内の名阪国道沿いで、軽トラックが逆走し、大型トレーラーと乗用車が相次いで衝突した事故で、町内男性会社員（50）を乗用車ではね、頭を切るなどの軽傷を負わせた疑い。容疑者を認めている。

【伊賀】先月三十一日に伊賀市内の名阪国道沿いで、軽トラックが逆走し、大型トレーラーと乗用車が相次いで衝突した事故で、町内男性会社員（50）を乗用車ではね、頭を切るなどの軽傷を負わせた疑い。容疑者を認めている。



福島県郡山市の田んぼに墜落した県警ヘリは1日午前10時28分（共同通信社ヘリから）

「500」社側は同9月1日、豊嶋被告が設立した

秋元容疑者の再逮捕容疑は、2000万円の受領に加

民放キー局番組同時配信へ

秋以降、テレビ離れに対応

だったが、3月（7～11時）で検討。テレビ信を始めるNH朝日は、若者の視聴者が多

社員は「五輪で視聴者に認

可能地域を制限しない見通

「500」社側は同9月1日、豊嶋被告が設立した

秋元容疑者の再逮捕容疑は、2000万円の受領に加

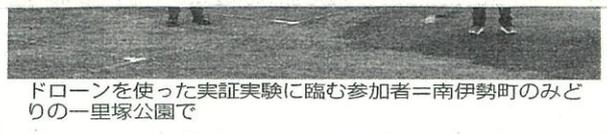
南東
Lo
伊勢志
☎0596

尾鷲支
☎0597

きよ
洗濯
1.車
紫外線
2.人
風邪ひき

「ルマ」実現へ実験

ドローン使い自動飛行



ドローンを使った実証実験に臨む参加者＝南伊勢町のみのりの一里塚公園で

【度会郡】「空飛ぶクルマ」の実現に向けたドローン（小型無人機）の実証実験が十七日、南伊勢町宿浦のみどりの一里塚公園であり、県や受託事業者である「みえ空の移動革命社会実装共同事業体」が課題抽出に向けた実験に臨んだ。

ドローンををはじめとする空の移動手段を実現させることで、交通や観光、防災など様々な地域課題解決に生かそうと、経産省と国交省や三重など五都府県が進めている取り組みの一環。県内では観光など産業活用を見据えた実験として、十一月の熊野市内での実験を皮切りに、年度内に鳥羽を含めた三市町での実験を予定。また志摩市では、物流を見据えた実験開催も予定しているという。

画家12人が24点出展 「チャリティー色紙展」

玉城町のギャラリー

【度会郡】玉城町宮古の「日」から、毎年恒例の「チャリティーポータル」で十八日、チャリティー色紙展が始まる。



前田勇男館長が企画した「チャリティー色紙展」の出展者。左から、今村幸生、森島澄子、西雅子、伊勢市河本正雄、志摩市野村昭輝、鳥羽市小林克巳、多気町南庄八明、和歌山県和歌山市田中武臣（南伊勢町）

前田勇男館長が企画し、今年で三十一回目。展示した色紙作品を額付き二枚一万円で販売。収益金は県社会福祉協議会を通じて恵まれない人のために役立てている。

国内外で活躍する画家十二人が油彩や水彩、パステル画など二十四点を出展。来年の「ねずみ」をモチーフにした作品、色彩豊かな作品が並び、参加して下さることを呼び掛けている。出展者は次の皆さん。今村幸生（パリ）森島澄子（東京部）井上慎介（岐阜）伊藤清和（津市）倉岡雅（同）真弓俊郎（同）大西雅子（伊勢市）河本正雄（志摩市）野村昭輝（鳥羽市）小林克巳（多気町）南庄八明（和歌山県和歌山市）田中武臣（南伊勢町）

芳茶飲もう 中で入れ方伝授

【度会郡】「空飛ぶクルマ」の実現に向けたドローン（小型無人機）の実証実験が十七日、南伊勢町宿浦のみどりの一里塚公園であり、県や受託事業者である「みえ空の移動革命社会実装共同事業体」が課題抽出に向けた実験に臨んだ。

生徒らは急須を使い、からの入れたお茶を「苦い」ぶせ茶とほじ茶を入れる「おいしい」などと言いつつ体験を実施。お茶によってお湯の温度や色、香り、味が違つてくることを確かめ、自分（こ）は「緑茶の成分はカテ

【鳥羽市】鳥羽署は十七日、生、啓発活動など各方面で鳥羽市松尾町の同署内署警察業務に協力した六個人長感謝状の贈呈式を開き、と十一団体を表彰した。今年一年間、医療や福利厚野呂寿夫署長は贈呈式

【和具】甚一 入港中
安市 入港中
第27源吉 入港中
しるちどり 入港中
【引本】興隆 帰港中
【紀伊長島】第11勇喜 帰港中
第11光 帰港中
第5裕幸 帰港中
第5雄誠 帰港中
第11光栄 入港中
第11良栄 帰港中

つくる、かたちに残す。

原稿などはありませんか？
短歌や俳句・詩。写真や日記も、
重要な記録です。

伊勢新聞社の本

高校生レストラン

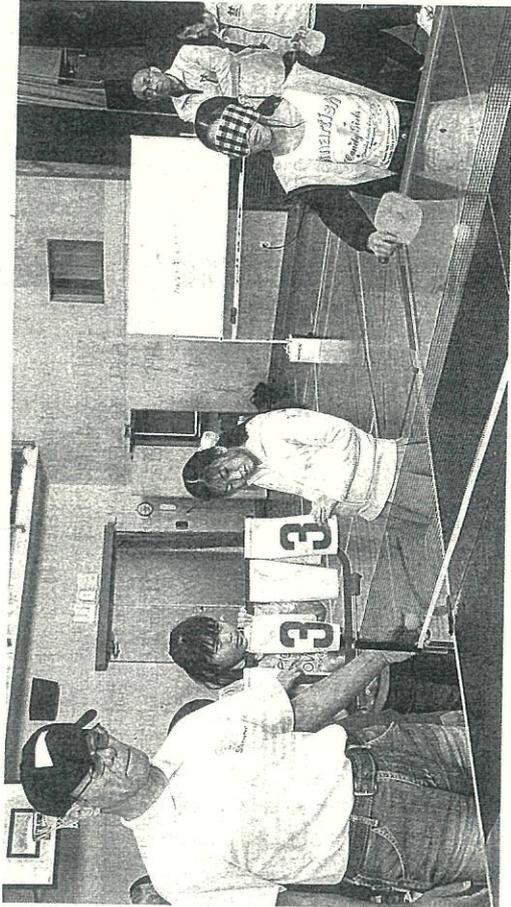
りゅう

音が頼りラリー「難しい」

伊勢・東大淀小児童「SSピンポン」体験

障害者スポーツを通じて、子どもたちに障害意識を高め
てもらった特別授業が伊勢市の東大淀小学校であった。四年
生七人が視覚障害者と一対一に実際に競技を体験した。

(足達 優)



SSピンポンを体験する児童ら。伊勢市の東大淀小で

県内発祥 視覚障害者らと楽しむ

特別授業は、津地方務
局伊勢支局と伊勢人権擁護
委員会が主催する人権
教育の一環で、二〇二〇年
の東京五輪・パラリンピ
クに向けた企画。この日
は、二年の全国障害者ス
ポーツ大会三重とわか
大会で実施される視覚障
害者向けの卓球競技「サウ
ンドテーブルテニス」を誰
も簡単にプレイできるよ
うにアレンジした県内発祥
の「SSピンポン」が取り上
げられた。

金網が入った音が鳴る球
まわりの上を転がすよ
うにネットを打つ。競
技で、NPO法日本SS
ピンポン協会の村井基代
表が「いきまき」と
言ってから打つんだよな
と児童らに指導した。

児童らはアイマスクで視
界を遮断してプレイし、聴
覚だけで球が来る場所
を把握して打つ姿勢を学
び、体感した。窪田修善君
は「球が近くにつれ

てちよつと音が大きき
なるのは分かるけど、打つ
のは難しかった」と話し
た。

児童らは、人権マッペ
シを書いたカードをかみ
草の種を結び付けた風船百
五十個も校庭から飛ばし
た。

6人と11団体 署長感謝状

鳥羽署 防犯啓発の高校生らに



鳥羽署署長宛から感謝状を受け取る高校生ら。鳥羽署で

鳥羽署は十七日、一年間
で警察業務に協力した個
人、十二団体に署長感謝状
を贈った。
対象は、検視業務に携わ
る警察医、留置場に弁当を
届ける飲食業者、イベント
会場となる全盛屋アイン村
のほか、志摩高、鳥羽高、
鳥羽船橋高等学校の防犯ボラ
ンティアグループも含まれ
た。

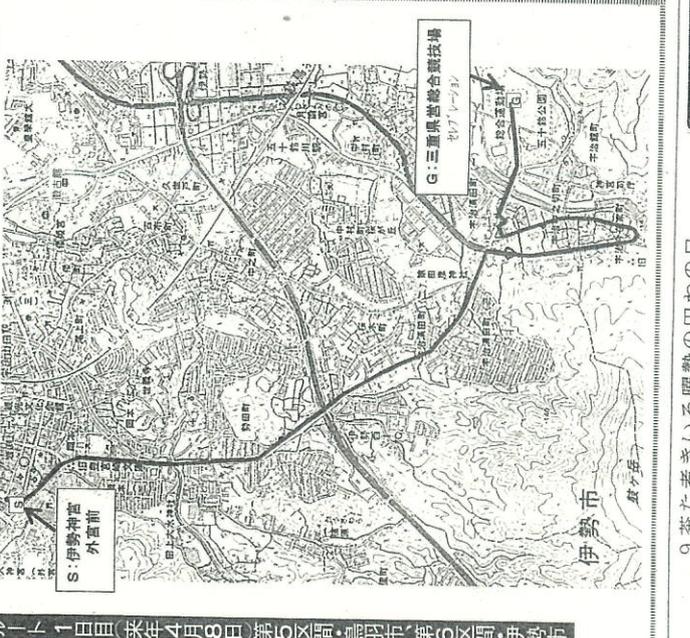
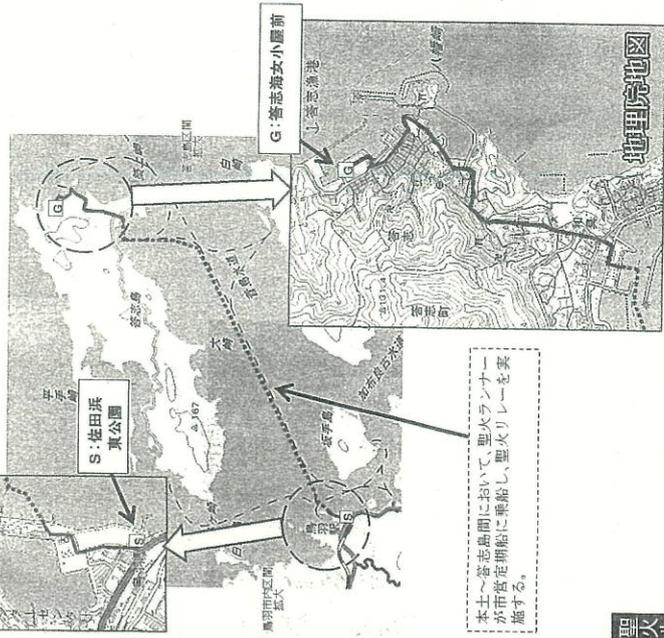
同署で贈呈式があり、感
謝状を手渡した鳥羽署署
長は「警察業務へのこぞ支
援へご理解をいただきと感
謝する。来年も安全安心に
まい進したい」と話し、
啓発活動も五回ほど行な
った鳥羽高「安全戦隊鳥羽シ
ヤ」の三年沼田吐苑
さんは「頑張ってきたと
きに認められ、うれし
い」と喜んだ。(西山和宏)

鳥羽東中で漏水 修繕代など計上

市補正予算案

鳥羽市安楽鳥羽町の鳥羽東
中学校で、三月ごろから十
月にかけて水道の漏水が
続き、市が水道料を百十二
万円と修繕代五十五万円を

一般会計補正予算案に計上
していた。市議会予算決算
任委員十七日、市側が説明
した。
市教委によると、三月ご
ろから同校の水遣代が百十
万円ほど上がり、継続して
調査を実施。十一月十六日
に校内の受水槽周辺を掘り



聖火スタート1日目(来年4月8日)第5区画・鳥羽市第6区画・伊勢市

「だめかろうた」の作品を募
集しています。投稿の決まり
大前 22日
三草 栄華
大前と三
のセシタ
のほのぼ
のぼろ
でボロ
食材を使
スマス
くり文
警察部の
起し、
きと
築から
新など
水場所
話して
事前相談受付中
心をつなぐ
おめ
【玉生】
藤知

三重版



チャーター(18歳)
新世紀美術協会 大市道代
(四日市市市川)

- 三重線画(〒514-0065)
津市鳥羽町227-2
059(228)2121~4
FAX: 059(225)6213
- 四日市支局 059(352)3108
FAX: 059(353)7239
- 伊勢支局 0596(23)3511
FAX: 0596(23)3521
- 松阪支局 0598(21)6148
FAX: 0598(26)2207
- 伊賀支局 0595(21)3241
FAX: 0595(24)4310
- 尾鷲支局 0597(23)0192
FAX: 0597(23)0771
- 鈴鹿通商局 059(382)0314
FAX: 059(382)3699
- 桑名通商局 0594(22)0235
FAX: 0594(23)6771
- 鳥羽通商局 0599(25)2063
FAX: 0599(25)2090
- 熊野通商局 0597(85)2263
FAX: 0597(89)4801
- 名張通商局 0595(64)0146
FAX: 0595(64)0154
- 志摩通商局 0598(43)0028
FAX: 0597(47)0724
- 紀伊通商局 0597(47)1487
FAX: 0597(47)1487
- 新宮支局 0735(21)3737
FAX: 0735(21)3738
- ニュースは上の電話へ
- 読者センター
052(221)0800
- 広告のお申し込みは
広告部三重大センターへ
059(221)2530

日本画入門
毎月2、4、6日
10:00-12:00

津市文化センター
津市市川
05959-225-8411

陛下と触れ合ってきた県民ら

天皇陛下は即位前に県内を十八回訪問され、うち十三回は伊勢神宮を参拝した。各地と県民と触れ合ってきた陛下について、接したごちのある若者と被災者に聞いた。



天皇陛下の前でホッパチャの試合を披露した西田さん(津市大里町田町)

緊張で頭が真っ白。特交校養護部 西田さん。昨年八月、皇太子だった天皇陛下は全国高校総体(インターハイ)で来県した際、津市の県立女子ども心身発達医療センターと併設のかやぎ特別支援学校を訪問された。障害者スポーツのホッパチャの試合を見学し、同校高等部三年の西田さん(16)は緊張で頭が真っ白になった。それがもう一つ、嬉しいことだった。

もともとホッパチャが広まるのでもっともうれしかった。うれしさを。「今はまだ手だけどもっと練習してうまくやりたい。また機会があったら披露してみたい」と話した。(後掲未発表)



陛下との思い出を語る西田さん(四日市市安島)で(河口さん提供)

天皇陛下のこれまでの来県

年	月	訪問地
1969	11	伊勢神宮初参拝
1969	7	津市、鳥羽市など
78	3	学習院高等科研修旅行
79	11	伊賀市など
80	2	学習院大文学部ゼミ旅行
83	6	成年を報告する伊勢神宮参拝
86	11	英国留学を報告する伊勢神宮参拝
87	5	帰国を報告する伊勢神宮参拝
91	2	式年遷宮関係行事参拝
93	6	立太子の礼後の伊勢神宮参拝
93	10	ご成婚を報告する伊勢神宮参拝
94	7	全国農業博覧会
94	10	秋田運動推進全国大会
99	8	国民文化祭みえ94
2007	7	全国農業青年交流大会
08	11	式年遷宮おまつり手こみミツミツ
13	5	全国農業博覧会
14	7	式年遷宮後の伊勢神宮参拝
18	7	全国高校総体

下段は過去訪問地 ※は伊勢神宮参拝

優しい表情印象的
五鳥羽高専生 河口さん
昨年八月の来県時は、鳥羽市の鳥羽商船高専にも立ち寄られた。当時五年生だった会社員河口さん(17)は「四日市市新正一」は人工知能(AI)で養殖魚に最適な量の餌を与える仕組みを研究する成果を発表した。緊張するまで不安だったが、陛下の優しい表情が印象的だったと感嘆する。「聞きおれいできたのは一生の思い出。妻が近畿宇治山田駅の近くで陛下の即位後初の伊勢参拝は喜びもひとしお。「地元に来てくださることは大変うれしい」と話している。(足達優人)

励ましの言葉感謝
宮川豪雨遺族・地崎さん
皇太子時代の二〇一三年五月、「全国からの愛護」のため、四九年九月の宮川豪雨で七人の死者・行方不明者が出た大町を視察し、遺族を励まされた。土砂災害で母・当時高専生が流された地崎さん(61)は「災害で

柔らかな笑みに感動

両陛下 即位後初の伊勢入り

両陛下は午後四時半ごろ臨時専用列車で宇治山田駅に到着した。ホーンでは鈴木英敏知事や鈴木健一伊勢市長が出迎えた。駅前には約五百六十人が待



近鉄宇治山田駅に到着され、車内で内宮へ向かう天皇、皇后両陛下(=いずれも伊勢市で)

1500人祝うちょうちん行列



内宮周辺800mを歩く

天皇陛下の即位を祝ううちょうちん行列が二十一日、伊勢市の伊勢神宮内宮周辺であった。県内外から集まった千五百人の参加者は、紅白のうちょうちんや国旗を手に持ち慶事を始めた。伊勢商工会議所など四団体でつくる御大礼祝賀委員会が主催。参加者は午後六時ごろ内宮近くの駐車場に集合し、鈴木英敏知事と奉祝委員会長の鈴木健一伊勢市長があいさつした後、参加者はおほらい町を通り七列に整列して宇治橋前まで歩いた。一行は宇治橋前で国歌斉唱と万歳三唱をした。上皇さまが即位や退位で伊勢神宮を訪問された際も、うちょうちん行列に参加したという伊勢市鳥羽町の齋藤会社社長、平賀竹子さん(61)は「陛下にこれからの日本国をまかされたため、一刻も早くお祝いさせてもらった」と話した。

前五時すぎから待っていた尾鷲市の主婦小畑仁子さん(61)も「立ち寄るお車での姿もほっと見られた」と興奮して話した。神宮内宮まで約4kmの道には、車で通過する陛下を一目見まごころもの人ばかりがでできた。日帰り旅行に来いた大阪府泉南市の自営業吉田憲保さん(61)は「お二人の笑顔をみては感動しすぎます。現実離れたように感じました。鹿兒島県霧島市から訪れたパート田中加代子さん(61)は「令和になって災害が続き胸を痛めてもらっちゃって思うが、良い時代になれば」と話した。伊勢神宮は十二日、内宮が終り、外宮は午後三時まで参拝停止となる。内宮は二十三日も終り、参拝が停止される。



日の丸の小旗を手に、天皇、皇后両陛下を迎える児童たち

体協
住民
日、市、鈴鹿
自販機
合には
販売して
かつかつ
民監査
市は、
施設の
二〇一
自販機
して、
陛下に
百四十六
九施設、
請求書
高井幸部
政財産の
目的外使
格と設置
く、直接
られたは
たを指摘
り消えな
監査結

東京新聞 TOKYO Web

【社会】

近藤真琴の縁 固い握手 東京・攻玉社高と三重・鳥羽商船高専

2019年11月12日 朝刊



握手を交わす鳥羽商船高専の学生と攻玉社高校の生徒(右)ら=11日、三重県鳥羽市の鳥羽商船高専で

蘭学者で教育者の近藤真琴(1831～86年)が創立した攻玉社(こうぎょくしゃ)高校(東京都品川区)の生徒が11日、同じく近藤が創立した鳥羽商船高専(三重県鳥羽市)を訪れ、学生らと初めて交流した。

近藤真琴は1863年、攻玉社の前身となる私塾「攻玉塾」を設立、75年には塾の中に日本で初めてとなる商船学校を設置した。鳥羽商船も81年に攻玉社の分校として開校した。

攻玉社の生徒は、1984年から毎年、修学旅行の際、鳥羽商船に立ち寄っている。今年は鳥羽商船同窓会(会長・菅沼延之名古屋メッキ工業社長)の働き掛けで、両校の生徒と学生の交流が実現した。

この日、鳥羽商船を訪れた攻玉社の1年生232人のうち、生徒会の3人が、学生2人と言葉を交わした。学生が「生徒会の主な活動は」と聞くと、生徒が「最近ではセブン-イレブンの自動販売機の設置を企画している」と答え、驚きの声が上がると楽しそうに交流していた。

攻玉社の1年中原匡祐さん(15)は「また話す機会があればと思う。次はもっと深い交流をしたい」と話した。鳥羽商船の電子機械工学科5年の飯田慎也さん(20)は「進学校だけあってしっかりしているなと思った。もっと交流の時間がほしかった」と惜しんだ。(高橋信)

東京新聞の購読はこちら【1週間ためしよみ】【電子版】【電子版学割】

関連記事ピックアップ

首里城再建に「赤瓦」欠かせないが… 土採取地に入れない、職人もいない

(2019年11月8日)



風の中 I
中部書局 柳川三重子
(四日市市川島田)

三重線高(〒514-0005)
津市鳥居町1-2-7-2
059(2)281211~4
FAX 059(2)2516213
四日市支局 059(3)523108
FAX 059(3)537259
伊勢支局 0596(2)33511
FAX 0596(2)33521
松阪支局 0598(2)14148
FAX 0598(2)69297
伊賀支局 0585(2)13241
FAX 0585(2)41310
尾鷲支局 0597(2)31092
FAX 0597(2)31071
鈴鹿通商局 059(3)8210314
FAX 059(3)8213999
桑名通商局 0594(2)10235
FAX 0594(2)10771
鳥羽通商局 0599(2)21063
FAX 0599(2)21090
飛騨通商局 0597(8)2283
FAX 0597(8)14801
名張通商局 0595(6)0541
FAX 0595(6)0146
志摩通商局 0599(4)0154
FAX 0599(4)0028
紀伊通商局 0597(4)0724
FAX 0597(4)71487
新宮支局 0735(2)3737
FAX 0735(2)3738
ニューズ上の電通へ
読者センター
052(2)10800
FAX 0735(2)3738
広告のお申し込みは
広報部三重アドセンターへ
059(2)212530

キッズスマートフォン
059(2)212530
津市鳥居町1-2-7-2
059(2)2516213
059(3)523108
0596(2)33511
0598(2)14148
0585(2)13241
0597(2)31092
059(3)8210314
0594(2)10235
0599(2)21063
0599(2)21090
0597(8)2283
0597(8)14801
0595(6)0541
0595(6)0146
0599(4)0154
0599(4)0028
0597(4)0724
0597(4)71487
0735(2)3737
0735(2)3738
052(2)10800
0735(2)3738
059(2)212530

とこわか国体・大会ホスター決定 とこまる県内駆ける

津・由井さん考案

二〇二二年に開催される三重とこわか国体(国体・国民体育大会)と三重とこわか大会(国体開催者スポーツ大会)に向けホスターのデザインが、津市の会社員由井浩志さん(41)の応募作品に決まった。県は早五箇校を印刷し、今月中にも県内各地の学校やスーパーなどで配布を始める。両大会のホスターを統一して制作したのは全国で初めて。(佐藤裕介)

県は三月から七月末にかけてホスター案を募集。応募があった三百五十九点の中から国体・大会実行委員会の専門委員会などが選定した。ホスターには、とこわか



を待たせながらデザインは持っているとして選ばれた。県によると、由井さんは勤務先の印刷会社でデザイン

ナニを考めているという。二十一日には県庁で表彰式が開かれ、優秀な作品を表彰される。由井さんは県を通じた「地元の人間なので少しでも貢献できたい。このホスターをぜひ大会を知ってもらい、盛り上げてもらえればうれしい」とコメントしている。

背後からヒツジ突進男性骨折

伊賀の青山北部公園
柵つなぐひも切れる
伊賀市は十一日、同市阿保の青山北部公園で、飼育しているヒツジが柵から逃げ、突進された市内の自営業男性(五十)が左腕を骨折したと発表した。市青山支所無償課によると、十日午前十一時ごろ、男性は親戚ら七人と公園を訪れていたところ、ヒツジ(雄、体重一・一ト)が背後からぶつかってきた。通常、柵の中で飼育されていたが、柵同士を繋ぐひもが一部切れたため、ヒツジは公園の柵裏のた

兄弟、握手初の交流

鳥羽商船高専と東京・攻玉社高

蘭学者と教育者の近藤真琴をしのぶ。今年は鳥羽商船同窓会(会長・菅沼達之吉、慶應義塾大)が創立した攻玉社高校(東京都品川区)の生徒が十一日、同じく近藤が創立した鳥羽商船高専(鳥羽市)を訪れ、学生らと初めて交流した。近藤は一八六三年、攻玉社の前身となる私塾「攻玉塾」を設立、七五年には塾の中に日本で初めてとなる船舶学校を設置した。鳥羽商船も八二年に攻玉社の分校として開校した。攻玉社の生徒は、一九八四年から毎年、修学旅行で関西を訪れる際、鳥羽商船に立ち寄り、勝海舟が碑銘を書いた「近藤真琴翁記念碑」前で記念撮影など

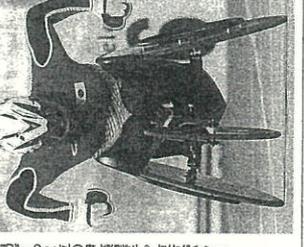


握手を交わす鳥羽商船高専の学生と攻玉社の生徒ら
―鳥羽市の鳥羽商船高専で

ツ工業社長)の働きかけで、同校の生徒と学生の交流が実現した。この日、鳥羽商船を訪れた攻玉社の一年生三百三十八人のうち、生徒会の三人が、学生二人と先輩を交わした。学生は生徒会の主任活動は「とく」と生徒が「最近は何年一ヶ月の自動販売機の設置を企画している」と意気込みの声を上げるなど、楽しそうに交流していた。攻玉社の一年中屋原佑さん(一五)は「まだ話す機会があればいい。ぜひもっと深い交流をしたい」と話した。鳥羽商船の電子機械工学科五年の飯田慎也さん(一八)は「進学校だけあってしっかりしているなと思った。もっと交流の時間がほしい」と話した。(高橋昌)

銀三

大会王者の米國選手を抑え、賞々の二位。決勝前は「三位狙い」と言っていただけに「赤飯炊きまわると大興奮だった。二十四歳で多発性硬化症を発症し、翌年に車いす陸上を始めた。プロ転向を経て、〇八年北京大会で金メダル、二〇一二年ロンドン大会で銀三を獲得後、退いた。後進の指導や講演活動に励んでいた二六年、札幌が勃れる。冬、アイスホッケーの用具開発を手がかりに、玉泉の会社「RDS」から競技用車いすの開発に誘われ、準備を始めた。ボイスでの今大会で、開発した「相棒」を試した。軽いカーボン製。自分の体の動きを解析し、技術者と一から作り上げた新しい武器だ。使い始めて一カ月。フィッティングはまだ六パーセント。伸びしろが大きい。ロンドン大会以来、八年ぶりの大舞台が迫る。「RDSの杉原行雄社長に会うてなければ復帰しなかった。関わっていただいた方々の多くはアートの道。その人たちの責任を感じられる競技人生を送れるのがうれしい」と感謝を込める。パラリンピックのメダルを首にかけたらと比べて髪はすっかり白くなったが、向上は変わらない。「大会は誰と闘って本当は大事で楽しんで大切なもの」。競技する喜びを再び感じて東京の舞台上に上がる。



掲げる位の伊藤真琴。東京六人選手いざれば(共同)

地元の服部さん 壮年の部準優勝

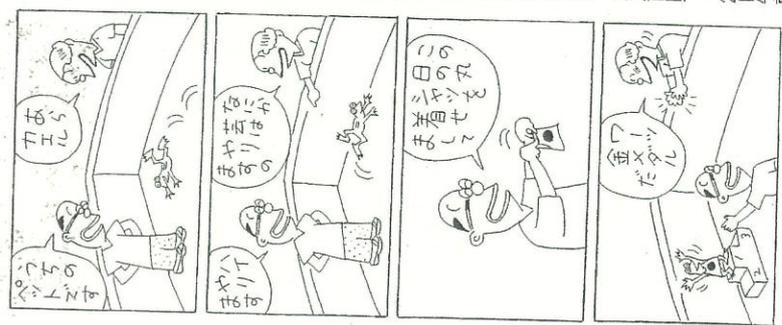
尾鷲市民文化会館で十日にあった第三十四回全国尾鷲節コンクールで、地元から出場した同市青陽町の服部敬之(きやう)が、二十五歳以上の「壮年の部」四十四人中、準優勝に輝いた。与真。「我流だったが、お風呂に入っているときに感覚で歌った。それが逆に良かったのかも」と喜んだ。四年前に知人に誘われ、初めてコンクールに出場した。高校時代や五十年代のころはバンドを組んでいた。もともと歌うことが好き。尾鷲節も気に入っており、毎年出場を続けてい

全国尾鷲節コンクール

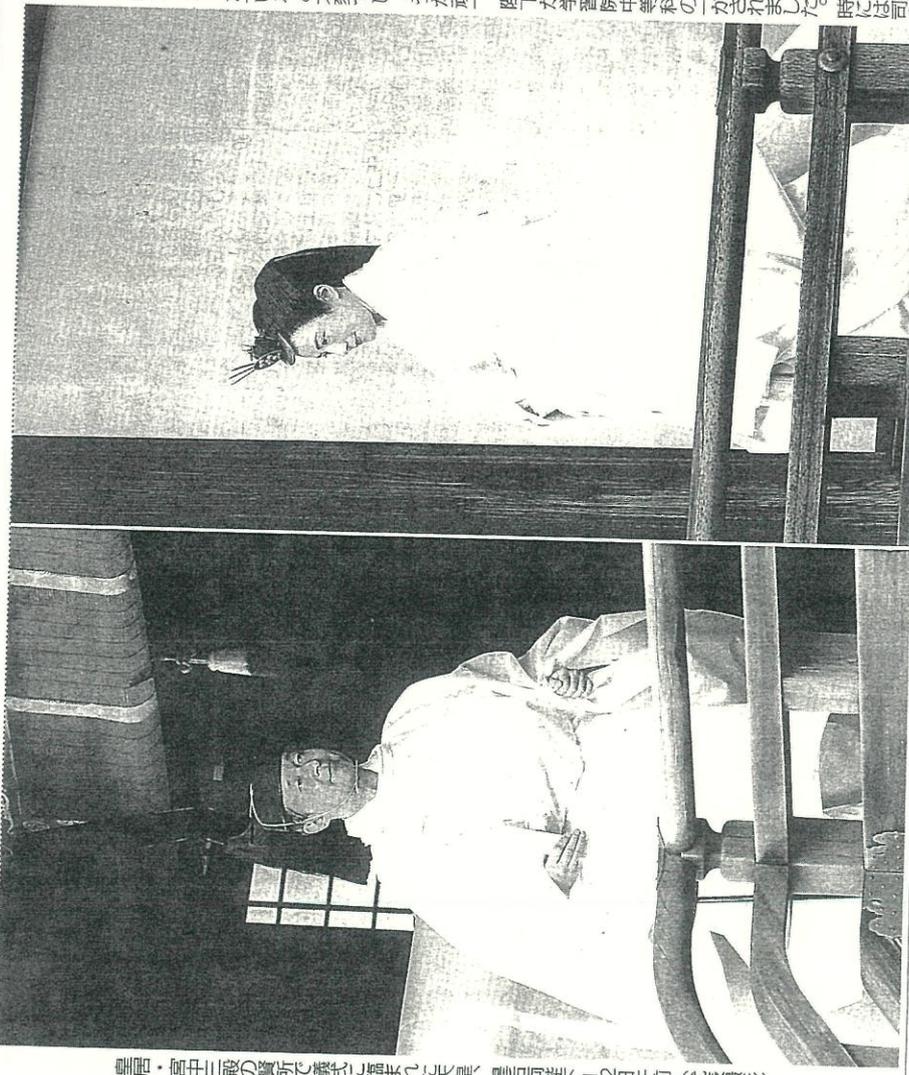
これまでは市内の民謡教室で喉を鍛え、歌唱力を磨いて臨んでいた。今年は教室に通わず、自分だけの方で歌ったところ、過去最高の成績に「まさか自分がと驚いた。素直にうれしい」とロウソクを掲げた。「尾鷲節は既婚の節回しがあつて、上手な人の技術を参考にしながら自分のものにしていくのが魅力」と語る服部さん。「自分にとっては最高の賞をいただいた。これからも参加していきたい」と意気込みを話した。(木道康博)

東 19 日 本 式 祭
四日市 0 0
6時 9 12 15 18 21
まごころ
藤村の仮
る。二十
ていた途
電話
◆三
万田ま
市西署は
職の70代
敷で51
られる被
した。
署によ
るから「
防止セ
ら「捕ま
た名簿に
ている。
にアシ
する必要
話があ
社社員を
罰される
どと検
方を名乗
を払ふ必
回電話が
月19日に
定された
りみ、日
受け取り
の男にら
したま
かかっ
手紙を
こなか
思った女
て発見
詐欺の
ヤツに
高橋君
カードが
盗案件を
署は1日、
分市花高
修習者
後、時
の90代女
警官を誘
取ったキ
枚入りの封
り封を
罪による
は、靴
方、別
の田
カード
ていた
盗の

コキゲン



即位の礼、厳かに



皇居・宮中三殿の眞所で儀式に臨まれた天皇、皇后陛下(22日前)(代表撮影)

ゆかりの県民ら喜びの声

天皇陛下が内外に即位を宣言する「即位礼正殿の儀」が二十一日、皇居・宮中三殿で執り行われ、陛下とゆかりのある県民らから喜びの声が上がった。「西参照」

玉城ふれあい農園代表 野口長一さん(62)
慶会郡玉城町

天皇陛下即位、おめでとございます。玉城ふれあい農園には、陛下が皇太子時代、平成二十年の全国農業担い手サミットに出席して来られた際、イチゴ栽培の現地視察で来られました。すごく緊張しました

が、陛下は園を上手で穏やかに話してくれるので、すぐに緊張がほぐれました。一緒にイチゴハウスに入って栽培方法などを説明するといろいろと質問してくれました。イチゴも手にとって食べ、とても甘いですよと言ってくれたことが印象に残っています。最後に「これからいろいろ大変でしょうが頑

張ってください」という激励の言葉をいただき、やる気が出ました。また三重県にお越しになる機会があるなら、今度はご家族でイチゴ狩りに来したいと思います。

県立芸術大名塾教授 小林仁さん(83)
四日市出身(東郷町住)

陛下が学習院中等科の頃、三年半ほど赤坂東宮御所でピアノを習った。当時、皇太子殿下だった上皇さまが主催する「秋のコンサート」で、陛下はピアノだけでなくバイオリンやオーボエも披露されていた。コンサートは、御所に勤められる方々を交えて音楽を楽しむアットホームな集いでも。レッスンではうまく弾けなくても、本番にお強い陛下にはいつも驚かされました。時には国会

開く、三年半ほど赤坂東宮御所でピアノを習った。当時、皇太子殿下だった上皇さまが主催する「秋のコンサート」で、陛下はピアノだけでなくバイオリンやオーボエも披露されていた。コンサートは、御所に勤められる方々を交えて音楽を楽しむアットホームな集いでも。レッスンではうまく弾けなくても、本番にお強い陛下にはいつも驚かされました。時には国会

をなさるともあり、軽妙なジョークで場を盛り上げて

県教育長 廣田恵子さん(61)
四日市中

昨年、全国高校総体の総合開会式で天皇陛下(当時皇太子さま)の登壇を祝ったのですが、自然と話しやすくなる柔らかい笑顔が印象的でした。高校生にも歓迎演技の中で「アタックナンバー」の主題歌が流れると、純粋な思い

元明和町長 中井幸充さん(74)
多気郡明和町佐田

平成十九年に伊勢神宮式年遷宮のお木崎の視察で、斎宮歴史博物館を見学され、お出迎え、お見送りをさせていただきまして、ご即位、本道にうれしく

心から 平和な

思います。即位パレードの延期はやはり台風19号被害を考慮して、国民のために延期されたと思いき、国民の心に合った優しさを感ずります。来館当時もすごく気を遣っていただきました。昼食をご一緒させていただきました。明和町や斎宮のことを尋ねられ、気さくに皇太子さままで。もう一度来てほしいです。斎宮跡の整備が進み、十年前とだいぶ変わっています。ぜひご覧いただきたいです。

元県立藤野吉道センター長 花尻薫さん(87)
熊野市有馬町

即位された天皇陛下が平成二十五年に熊野古道センターを訪れた際、案内しました。陛下は顔を見ながら丁寧に話してくださりました。熊野古道が世界遺産に選ばれる時は「努力しよ

ました。土が積もって、草木を覆われた古道の巨木を掘り起こした取り組みをお話する。これらは大変でした。お話を聞かせてくださいました。とてもうれしかったです。熊野古道が世界遺産に選ばれる時は「努力しよ

ては、本気で考えた。お話を聞かせてくださいました。熊野古道が世界遺産に選ばれる時は「努力しよ

人口分布予測アプリで全国2位

鳥羽商船高専 来年世界大会へ

鳥羽商船高専(鳥羽市池上町)の学生チームが開発したアプリは、今年度、全国高専プログラミングコンテストの課題部門で二位にあたる優秀賞に輝いた。チームは来年三月、ベトナムで開催される世界大会に出場する。(西山和宏)

アプリは人口高齢化や人口減少が進む中、将来の人口分布予測などを施策に活用させる。鳥羽市が包括連携を推進している。関係したは制御情報工



優秀賞を賞状(前列中央)から鳥羽市池上町の鳥羽商船高専で

「とばまっぷ」市が施策に活用

学科技四生(五年生)の五人チーム。Googleマップをベースに、地図上の世界どこに家族構成や年齢などのデータを取り込み、十年後の子どもや、地域ごとの高齢化率などをシミュレートできる。また、津波避難所などの避難者の分布、浸水の可能性なども予測する。今月四日には、パソコン画面を使い、市幹部にも披露された。

コンテストは富山県都市で十三、十四日にあり、予選を通過した十チームが機能のプレゼンをした。同校は昨年まで三年連続で最優秀賞を獲得しており、代表の高橋剛さん(こは)は優秀賞にて賞状を後に嬉しかったので残念だが、評価されてうれしいと話した。とばまっぷの協賛企業賞にも輝いた。

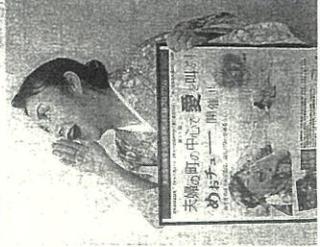
日本の高専教育を導入したベトナムなど四カ国で開催する世界大会は、上位十チームの日本代表として臨む。

いっ夫婦仲良く叫んで

来月1日、二員興玉神社で「めおちエー」

伊勢市一見町江の二員興玉神社の境内から夫婦思い向かして配偶者ならぬ愛を叫ぶイベント「夫婦の町」の中心で愛を叫ぶ「めおちエー」の参加者を募っている。

めおちエーは市民団体「日本愛妻家協会伊勢支部」の主催。二〇〇九年から毎年、い夫婦の日である十二月二十二日周辺に開催している。十二回目の今年は十二月十七日に開かれる。定員は三十組で、当日参加も可能。



参加者は、配偶者への愛を伝えたり恋人へのアプローチをしたりするほか、家族への感謝やまた見聞の無は聞かない。参加者には伊勢シーパラタイン(岡子見町江)のペアチケットなどの参加賞もある。

鳥羽の魅力チヨークアートで

一番街などで展示 26日まで



鳥羽市鳥羽一の商業ビル「鳥羽一番街」などでチヨークアートの作品展が開かれている。二十六日まで。

チヨークアートの作品は、鳥羽城などが色鮮やかに描かれている。鳥羽市鳥羽一の商業ビル「鳥羽一番街」などでチヨークアートの作品展が開かれている。二十六日まで。

〈恋愛相談〉
「買い物にそといて私 いらしゃいませ ありがとうございます お私はい現金ですか? カトですか?」
子 (入さし指を立て) うち いろいろ(一括)!!
屋中千種区豊年町 母・足立由佳
〈お疲れです〉
遊びでいて動が鈍くなりました
私 私 疲れたん?
少 横にならね
(しばらくして)
孫 充電完了!
よつや・なつき(1) 四日市市豊田一色町 祖母・

〈組み立ておもちゃ〉
おぼあちゃんで作りたい対象年齢 7歳以上で書いてあるわ
孫 私 おぼあちゃんは7歳以上で大丈夫わ(部品の番号が小さく見えず説明書を見ても訳がわからせん)
あんどろ・ふ(5) = 松阪市垣内町、祖母・松岡久代



機が半分になったらおまさんたちどうするの? えんどろ・みさ(4) 亀山市南崎町、祖母・伊藤

〈令和育ち〉
(赤ちゃんの写真を撮るを見て) 私 (昔)おき・なな(5) = 津市大里野田町、父・青木義成



何姉妹? (姉と二人姉妹です) めいちゃん、まじ姉妹? おまじ? ほか・まじ(8) 一色町北勢町興村、母・水谷真美 (感心) (味付けのを食へ) 子 このり おいしい
私 おぼあさんからもらったのりだよ
子 おぼあさん すご
いなあ、はま(3) 桑名市鷹たまりの丘 母・富松利恵
〈投稿の来着〉
き作品と投稿者の住所、氏名、電話番号、子どもとの続柄、子どもの名字と名前を明記し、〒514 0002 中目新町三重総合「めだかのつた」係へ、紙面で取り上げたい作品は、本社の電子媒体などに掲載される
ことあります。

深野 今年 松陰市 恒例の「が工士元佐良どん四年 理想的な富貴 実行の誓言 会野の野 人に真実 場を降す 深野の 謝を切ら 櫻が流 殿に玉冠

鳥羽商船高専の作品「とばまっぷ」の展示風景

鳥羽商船高専の作品「とばまっぷ」の展示風景

鳥羽商船高専の作品「とばまっぷ」の展示風景

志摩市に観光庁長官



真珠アクセサリー作りを体験する観光客。志摩市提供

真珠使った体験プログラム評価

市観光商工課の担当者は「真珠がとやうってできるのか、地元でも知らない人は多い。志摩に来て真珠を多くの人に知ってもらい、真珠の販売促進や養殖産品の活性化にもつながれば」と受賞を喜んだ。表彰式は今年二十五日に大阪で開かれる。

産業観光まちづくり大賞は公益社団法人日本観光振興協会が二〇一七年度に創設。産業界観光を取り組む地方自治体、観光協会、商工会議所、NPO、商店街、企業などを対象に幅広く取り組み事例を募集し、産業界観光を通して地域振興に貢献しているか、受け入れ側と訪問側双方にメリットがあるビジネスモデルになっているかなどを主な評価の視点にしている。本年度は全国から十三件の応募があった。

美しさ



鳥羽市鳥羽西の観光交流施設「鳥羽大庄屋かどや」で、プリザーブドフラワーを材料としたリースなどの展示が開かれている。二十七日まで。

名古屋西区の秋田亜友美さんが制作した二千五百円を展示。プリザーブドフラワーは生花の水分を抜いた後、長期保存できるように特殊な液に浸して乾燥させており、通常のドライフラワーより長持ちするという。

会場には、色鮮やかなさの

会場には、色鮮やかなさの

永年の信用と豊富な実績
一家族葬ならお任せ下さい
～西日本有数の北太谷斎場～

心をなぐり 家族葬

事前相談受付中
光倫会館
0120-114248

残るアジサイやバラ、千日紅などをリースに仕立て上げた作品が並ぶ。

三年前からリース作りに取り組む秋田さんは「生花のような美しさを楽しんでほしい」と話す。〇かどや 〇0599(26)86806 (西山和宏)



犯人役の警員一人が偽の拳銃やナイフで行員を脅し、袋に現金を詰めさせて逃亡。行員らは通報などの手順を確認しながら犯人の顔や服装、年齢や逃走車両を記憶し、警員に説明した。

また、二七電話詐欺の被害防止として、声掛け訓練も実施。不審な送金を求める顧客に対し、窓口でどう声を掛けるかなどを確認した。(西山和宏)

強盗事件を想定 行員ら対応確認
百五銀行と鳥羽署
鳥羽市にある百五銀行の二支店が十六日、鳥羽署と強盗対応訓練をした。犯人役の警員が大声を上げる中、行員らは通報などをを行った。

献血車
17日(木)▽伊勢市 前10、11、後15(成安寺) 前10、11、後15(15時～30分)(全血) 献血施設ミタス伊勢内の伊勢献血ルームへ予約
おめでた(祝) 17日(木)伊勢市 上地町、山邊一木(祝) 同(祝)

運営や広報力貸して

とわか国体大会 ボランティア募る
二〇二二年に開催される「とわか大会」の伊勢市実行委とわか国体・三重と一員会は、大会運営や事前の

可対象は伊勢市在住、在勤、在学の中学生以上の個人か、同市に活動拠点を置く団体。専用の申込書に記入し、市実行委(市国体総務課)の窓口提出する。申込書は市ホームページ

「Hack U」大阪大会に出場し、トップの最優秀賞に輝いた。

祖父の介護を支援するロボット製作を志し、小保中から高専に進んだ。現在は先輩の研究を引き継ぎ、南伊勢町のマイド養殖業者と連携して餌やりなどを自動化するシステム開発に取り組む。「卒業後も地域問題の解決に向け、エンジニアとして地元で貢献していきたい」と意気込む。

Hack Uは十二月に全国大会がある。別のプログラムを用意する必要がある。「みんなで力を合わせて優勝したい」と意気込む。(西山和宏)

伊勢市実行委「全体で盛り上げよう」



広報活動に携わるボランティアを募集している。千人程度を想定しており、定員に到達次第締め切る。

運営ボランティアは三重とわか国体で、市内が会場となる陸上競技、女子サッカー、卓球、相撲、バドミントン、高校野球の六種目を担当。競技当日の受け付けや案内、ドリンクサーバーや清掃活動のほか、会場設営や来場者の誘導なども受け持つ。

広報ボランティアは、両大会への誘客を目指し、地域のイベントや祭りなどでPR活動をし、大会イメージを「未来に響け」に合わせた「とわかタウン」の普及を担う。大会当日は記録用の撮影なども担当する。

運営、広報両方の応募も

2021 市開催競技

ボランティアへの応募を呼び掛けるチラシ「伊勢市 田久志本町で

プログラム全国V挑む



「練り上げたアイデアをプログラムで表現させるのが楽しい」

鳥羽商船高専(鳥羽市池上町)の生産システム工学専攻一年。プレゼンの際、音波の周波数などを解析して砂時計の弁を調節し、面

白くない場合は規定時間よりも早く砂が落ちるプログラム「落しすぎ時計」を六人チームで構築。プログラムを競う九月上旬の

鳥羽商船高専 生産システム工学専攻一年
佐伯 元規さん(21) =伊勢市小保町

遠洋船舶 だより

16日(木) 鹿児島商船株式会社
のボム(ボム)

(磯浦) 11月15日(木) 磯浦中
11月15日(木) 磯浦中
(和良) 11月15日(木) 磯浦中
11月15日(木) 磯浦中
(尾鷲) 11月15日(木) 磯浦中
11月15日(木) 磯浦中
(三木浦) 11月15日(木) 磯浦中
11月15日(木) 磯浦中
11月15日(木) 磯浦中
11月15日(木) 磯浦中
11月15日(木) 磯浦中
11月15日(木) 磯浦中

着買 金銀・ジュエリー・時計・カメラ・パソコン

ピアノの定期的なケアをお勧めします!
ピアノ調律
毎月先着20名様
5,500円~8,800円

お引越しやリフォーム時の大切なピアノをお預かりします。
1ヶ月
3,780円~

ピアノの耐震対策忘れていませんか?
ピアノ耐震対策
16,500円

サイレントキット 71,500円

OAKLEY TRUE DIGITAL
インフラ赤外線治療は保険適用外となっております。
治療内容と費用につきましてはご理解いただいた後にご予約・丁寧に対応しております。

鳥羽商船高专チーム 最優秀賞



最優秀賞を喜ぶ佐伯さん(後列中央)ら。鳥羽市池上町の鳥羽商船高专で

プログラミングの大阪大会へ 12月の全国大会へ

鳥羽商船高专(鳥羽市池上町)のチームが、プログラミングを競った中高生や大学生らの「Hack IT」大会でトップの最優秀賞(金賞)を受賞した。十一月に東京で

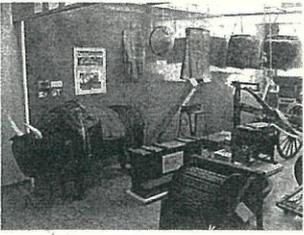
四年一専攻科一年の六人。プレゼンの面白さなどを判定する「落着きな時計」を開発した。プログラムでは、音声の周波数を解析し、笑い声など周囲の反応も計測して、ペットボトルにヒースを入れた砂時計を製作し、真目の弁をモーターで開閉。内容が面白い場合は弁を狭めてヒースの落下を遅らせ、長く話せるようにするが、つまらない場合は弁を上げてヒースを落ちやすく、早めに打ち切らせる。二週間かけて作り上げた。

開かれる全国大会に出場する。チームは、生産システム工学専攻一年の佐伯元規さん(三)伊勢市小俣町代表とする制御情報工学科



学校資料室の展示物を見て回る児童たち。いずれも四日市市の八郷小で

四日市・八郷小 博物館



四日市市立八郷小学校(1879(明治12)年に八郷村立八郷小学校となった。7年後に八郷村と四日市市との合併で四日市市立に。昨年度の学校づくりビジョンでは、基本理念を「子どもたちの力を信じる」ことから出発」として、子どもには「社会人になっても通用する問題解決能力」を「つけさせたい力」に据える。四日市市平津町に所在。

四日市市では「地域とともにある学校づくり」を推進。「四日市版」コミュニケーションの拡充を進めている。八郷小学校は、調査研究を始めた〇六年度に初めてモデル校に指定された三校のうちの一校。学校資料室以外にも、さまざまな学校活動に地域の人たちが関わって児童を見守り、一五年度には優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受けた。(梅田威晴)

再逮捕容疑者

再逮捕容疑者では、8月28日昼、詐欺グループの男が銀行員を名乗り、いずれも松阪市の無職80代女性2人に「キャッシュカードが使えるなくなっているので、カ

事件事故

二七電話詐欺の疑い。津署は7日詐欺の疑いで、京都市伏見区、無職中山徹也容疑者(27)を再逮捕した。

びやすい。触らせてもらえらる」と紹介し、同じ学年の真田萌花さんも「地域の人たちとの触れ合いもあり、知らないことを知ることができ、とても良い勉強になる」と満足そうに話した。

おすすめ番組

- 三重テレビ
- FM三重
- News情報番組「Mライフ」(8日午後5時40分)
- ラジオFlapper(8日午後1時30分)
- SCHOOL OF LOCK!(8日午後11時)
- ON THE PLANET(9日午後1時)

「ドを回収したい」などと電話した直後、銀行員になりすまして2人の自宅を訪ね、キャッシュカード計3枚と通帳1通を盗み取り取ったとされる。署によると、容疑者を認めている。中山容疑者は9月2日に詐欺容疑で、同24日に窃盗容疑で逮捕された。

止に縦糸針履防下怪盗容疑者(34)を現行犯逮捕した。逮捕容疑では、同日午後1時ごろ、鈴鹿市内の男性(74)の自宅庭に、正当な理由なく侵入したとされる。署によると、容疑者を認めている。庭にいる容疑者を見た41歳の男性と容疑者の間に面識はなかった。

情報ちっぴ

☆岐阜の地鶏料理店オープン。岐阜県の地鶏「清流美(みどり)」を使用する「カシワヤ」が、岐阜市のJR岐阜駅に隣接するアクティブGに開店した。J Aグループの岐阜アグリフーズが指定農場で抗生物質・抗菌剤を与えずに飼育処理した鶏で、臭みがなく、あっさりとした風味。ディナーでは、120分のオーダーバイキング形式で「鶏焼コ

古美術品 高価買入

茶道具、掛軸、古銭、武器、陶器類、銅器・鉄瓶、古本、金銀製品、壺、中国骨董、人間国宝及び有名作家の作品、その他古い物

0120-578910
TEL.059-382-1082
宝山西美術 鈴鹿市神戸5丁目9-28

めがね屋がつくるスポーツグラス

視覚機能をより高めるために 日に快適なレンズをラインナップ

eyewear shop ONFACE

クラフト & 雑貨マルシェ

日時 10/26(土) 10:00-16:00
場所 松阪農業公園ベルファーム(松阪市伊勢町551-3)

組合加盟店は、葬祭サービスガイドライン遵守事業所です。

富田光倫会館、四日市本館光倫会館、四日市第二会場光倫会館、光倫会館

愛灯館 阿下喜、愛灯館 大安、愛灯館 多度、愛灯館 東員

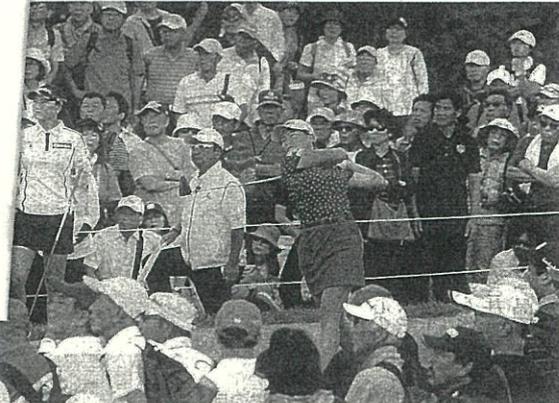
快慶の

け、鎌倉時代を代表する仏師・快慶の作で、松阪市の寺で見つかった阿弥陀如来立像が五日から、津市の県総合博物館で初公開される。県内で確認された快慶の像は一体目で、保存状態が極めてよい点でも貴重といつ。(森耕一)

像は松阪市安楽町の安楽寺に置かれていた高さ七十八センチの立像。安置した厨子が長年閉じられたまま存在が知られていなかったが、二〇〇九年に像があることが確認された。表情や耳の形、衣のしわの造形などが快慶に特徴的で、一四年には専門家の調査で台座に「巧匠 法眼快慶」と記されていたことが分かり、快慶作と判断された。昨年には奈良国立博物館の瀧川和也展示・交流事業課長は「長年閉ざされた状態で保管されており、表面の金箔が残るなど保存状態が素晴らしい」と感嘆した。

快慶の

日本女子オープンゴルフ



大勢のギャラリーに囲まれながらティーショットを放つ浪野選手=津市の白山ヴィレッジゴルフコースで

津市の白山ヴィレッジゴルフコースで開かれている日本女子オープン選手権で、四十二年ぶりに海外メジャーを制覇した浪野日向選手(〇のプレーを一目

見ようと、連日大勢のギャラリーが詰め掛けている。四日は八千三百三人がコースに詰め掛けた。浪野選手の手組には大勢の人だかりができ、ショットを打つたびに拍手と歓声が起きた。鈴鹿市の会社員黒田雅也さん(左)は「浪野選手と一六、一七年の同選手権を連覇した」畑岡奈紗選手を一度に観戦できる機会なんめつたにない。十八ホールずつについて行きました」と笑顔で話した。

人口や世帯構成予測



とばまっぷを説明する学生ら=鳥羽市民文化会館で

鳥羽市の要請を受け、鳥羽商船高専(池上町)は、人口や世帯構成の推移などを地図上でシミュレーションできるアプリ「とばまっぷ」を開発し、市民文化会館で説明会を開いた。

市は少子高齢化や人口流出が進み、平成元(一九八九)年の二万八千人に対し、令和元年の八月下旬は一万八千五百四十人に減少した。このため、将来の人口分布などを施策に生かすため、包括連携協定を結ぶ同校に、データの「見える化」に向けたシステム構築を依頼した。

マップなどを活用し、データを取り込んで分かりやすく表示するアプリ。プレゼンではタミデータを使って住宅ごとに家族構成、年齢などを打ち込み、十年後の児童数なども推測できる。高層階のビルディングにより、高齢化が進む地域も地図上で表示できる。津波避難所での避難者分布予想とともに、津波を五、一〇分などに設定すると、標高データから浸水する避難所も即座に分かる。

市はアプリが完成すれば、内部的に住民基本台帳などのデータを取り込み、施策に生かす方針。中村欣一郎市長は「各課で活用方法を探り、さまざまな取り組みに生かしてほしい」と期待した。

とばまっぷは、制御情報工学科三、四年の学生五人が四月から制作。プレゼンで学生は「どういう機能が必要か考えるのに苦労した」「被災時に家族がどう動くのか参考にしてほしい」と話した。

とばまっぷは全国高専アプリコンテストのロゴラミングコンテストの賞メダル受賞の栄誉に浴した。この年のサロン批評においてシャルル・ボードレールは、ドビュニーの作品は才気豊かで魅力的である一方で堅固さに欠けると指摘。諷刺(ふうし)「画家としても知られるナタールは「オワーズ河群」を前に泳ぎたい衝動にかられ脱衣する人物を描いた戯画を発表。誇張されてはいるが、本物の風景を現前させるというドビュニーの作品の本質を端的に表した戯画である。サロンを訪れたクロード・モネは、師への手紙に「ドビュニーの作品は私にはとても美しく見える」と書き、賞賛を惜しまなかった。



1860年頃 公益財団法人村内美術館蔵

「オワーズ川の中州」

シャルル=フランソワ・ドビュニー

美術館だより

- 【津・別所書店修成店調べ】
- ①死の海 中河原海岸水難事故(後藤 藤宏行、洋泉社) 1800円
 - ②帰還(堂場暉一、文芸春秋) 1800円
 - ③Iの悲劇(米澤穂信、文芸春秋) 1500円
 - ④罪の轍(奥田英朗、新潮社) 1800円
 - ⑤落日(淡かなえ、角川春樹事務所) 1600円
 - ⑥70歳のたしなみ(坂東真理子、小学館) 1100円
 - ⑦犯人に告ぐ 3(堺井簡介、双葉社) 1800円
 - ⑧9月1日 母からのパト(樹木希林、ポプラ社) 1500円
 - ⑨禍 妹背山婦女庭訓魂結び(大島真寿美、文芸春秋) 1850円
 - ⑩発酵野郎!(鈴木成宗、新潮社) 1500円

描かれているのは、画家シャルル・フランソワ・ドビュニーの制作拠点オワーズ川を流れるオワーズ川とその中州、ヴォー島。この風景を気に入り、彼はこの島を舞台に繰り返した作品制作に取り組んでいる。画家は一八五九年のサロン(高展)に、この作品とほぼ同じ構図で、一回り大きい作品「オワーズ河群」(ポルドール美術館蔵)を出品。「オワーズ河群」は大いに注目を集め、画家は一等

公務員 合格率に 2019年 11~3月 | 2020年 4~9月 生募集
2018年度合格実績(1次)・事務系(市役所・県職員等)のべ131名合格・公安系(警察官・消防官等)のべ103名合格
10月末までの申込みが最大割引 2020年4~9月コースを申込み込みの力
15%OFF 50,000円OFF 70%OFF
三重で公務員を目指すなら 津市広町町364番ビル3F(津駅西口すぐ)
三重公務員学院 059-224-8890 http://www.miekaumuin.net

焼肉・ホルモン 一升びん 宮町店 宮町交差点東
TEL.0598-50-1200
本 店(42名席常設席) 半生町店(ゆめの酒場隣り) 津本店(店蔵・焼酎場)
TEL.0598-26-4457 TEL.0598-23-9689 TEL.0598-52-6606

カラオケ&雑貨 マルシェ in アクアイグニス
日時 10/12日~14日 18:00~16:00 場所 アクアイグニス 三重 郡山駅前野4800-7
HAPPY HALLOWEEN
明治42年創業 誠意と実情
0120-578910

古美術品 高価買入
茶道具、掛軸、古銭、武器、陶器類、銅器・鉄器、古本、金・銀製品、壺、中国骨董、人間国宝及び有名作家の作品、その他古い物
0120-578910



新築・増改築のことなら
子ホーム
 津市殿舟 059-237-4488 見積無料

地元食材で腕振るう

J A伊勢の鳥羽支店（鳥羽市岩倉町）で、女性部鳥羽支店のメンバーがワンデーシェフとして日替わりランチを提供するカフェが今月4日にオープンした。多目的スペース「JA-OASIS めくもり」を活用し、地元の農水産物を使った料理を800円程度で提供している。（西山和宏）



絵画が飾られ、初日から賑わいをみせためくもり。いづれも鳥羽市岩倉町で

いせしま

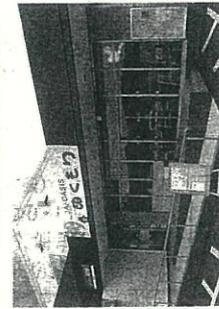
地域の食に親しんでもらう。JA伊勢では別の試みとしてスタートした。農機具や肥料を販売していた百貨店店舗を改修し、調理加工室も設置。炊食用には三平方ほどのスペースに二階を用意した。昨年九月から第一階目に地元産品やおむね、かき揚げなどを販売する朝市「わのわ市」を開催。そこで提供する五百円の「ままぐれランチ」が

人気を集め、「腕を振るう日数を増やしたい」という要望が高まったことか



①鶏目のステーキ ②コロッケ シエラの開かれる「めくもり」

らランチ提供を計画してきた。初日は女性部副支店長の小畑由美さん（さび）と安業壽晴（しらの）グループ「ままぐれ」が、地元の加茂生（ま）をメインとした牛丼（八百円）を用意した。小畑は「海鮮ラーメンやシヤガイモ、インゲン、ミニトマトなど地元産を使った料理が並び、みそ汁のみそは手作り。食材の多くは女性部員が持ち寄り、接客も大で分担当した。用意した十五食は午後一時過ぎに完売。小畑さんは「家庭の味なので不安もあったが、お客さんにおいしいと言ってもらえればいい」と笑顔。牛肉は買取り、収益はあまり期待できないとした上で「みんな



③JA伊勢めぐり加茂店 0599(25)1414

で楽しんで良かったと振り返った。岩倉町周辺は昼食を兼ねる店が少なく、家に閉じこもりがちで通勤以外に食を楽しむ人も少ないのが目的の一つ。支店長の野村まゆみさん（まゆ）は「JAを通じて元気になってほしい」と話した。ランチタイムの営業は火曜日の午前十一時から午後二時。七日は「ササエ」と「野野菜のフレッシュ」などを予定する。ランチのメニューは一つだけ。コトコトのサイドメニューはない。今は営業しながら日もあり、野村さんは「まだ結婚はばかり。業人はかひひ収入としては見込めないが、無理せず楽しんでいきたい」と話す。

鳥羽支店は四十五人ほど。ワンデーシェフの登録は志摩支店を入れて八グループ。ワンデーシェフの資格は女性部員限定するが、農業に関係なくとも年間目標で人数をきき、「ワンデーシェフ」として料理を楽しみたい人にも参加してほしいと期待する。加工調理室では販売用なものもつく

る予定だ。

くき漬け作り 紀北で最盛期

紀北町などの郷土料理「くき漬け」の生産が最盛期を迎えている。サトメの一種、ヤツガシラの葉を漬けた夏にぴったりの味で、関係者は「日照不足でヤツガシラの成長が心配だったが、順調に生産できている」と話す。



八月下旬、四日袋を作った町の道の駅の「夢古漬販売所」の企画書（06）269

留学生が農業体験や交流



東洋大の国際共生社会研究センター（東京神田文京区）の留学生たちが、帯任して町内での農業が始まる。コバトナからの留学町内で農業には町の英才を育てて二十二年の連携が、同町佐々木は「町長は「だめ、まちづくりたい」と話している。町長は「なごみの町」を推進したい。セータは「認識されれば可能開発している。遂に受け入れたい。町長は「なごみの町」を推進したい。一年二日に始まり土曜日の相手は選ばれた。

全国高校総体 頑張れ



沖繩県や鹿児島県などで開催される全国高校総体（インターハイ）に出場する鳥羽市ゆかりの九人の選手たち。鳥羽市役所で

行会が王日、同市役所でであった。フェンシング六、陸上のやり投げ一人、少林拳法の組練武四人、ボクシング二人でこの五人が出陣。「ベスト8を目指したい。昨年より良い結果を出したい」と悔いが残らないよう頑張りたいとそれぞれ抱負を語った。中村欣一郎市長は「家族や学校関係者や地域にたくさんのおもてなしを期待したい」と活躍に期待した。

- ①出場選手の宣言
 ②フェンシング 那須園（鳥羽高）
 ③小崎二樹（鹿島高）木崎悠斗（同）
 ④やり投げ 中村欣一郎（伊勢志摩高）
 ⑤少林拳法 伊勢志摩高（鳥羽高）
 ⑥ボクシング 伊勢志摩高（鳥羽高）
 ⑦ボクシング 伊勢志摩高（鳥羽高）
 ⑧ボクシング 伊勢志摩高（鳥羽高）

心をつなぐ 家族葬 米倫会館 0120-114248

認知症医療や高齢者運転

志摩病院 地域の課題話し合う 志摩市の県立志摩病院は十九日、自治会、民生委員、医師や市議会議員、民生委員などが多岐分野の専門家が参加。十のアイ



志摩市の医療連携強化を推進し、参加者たち。志摩市の県立志摩病院で

に分かれ、認知症の患者を適切に医療につなげるには「高齢者の運転をどう考えるか」などのテーマについて議論した。アスとこのテーマの結果発表し、参加者全員で考えを共有した。「高齢者の運転免許の返納を進めたいだけでなく、電動カーの普及も考える必要がある」とも、認知症の診断を気軽に受けられる環境をつくるべきだなどの意見を述べた。地域医療を考えると、これにしっかりと取り組む必要がある。一年二日に始まり土曜日の相手は選ばれた。



新築増改築のことなら アーホーム 津市殿舟 059-237-4488 見積無料

フエンシング5人抱負 鳥羽

「8強向け頑張りたい」



全国大会へ気合をこめる小中学生ら＝鳥羽市役所で

若き才能いざ全国へ

フエンシングの全国大会に出場する鳥羽市内の小中学生五人の壮行会が十日、同市役所であった。出場するのは、県予選で小学男子優勝の小久保真希君(安養寺小、五年)と、いずれも鳥羽真中での中学女子優勝の那須香重さん(三年)、同二位の青塚さん(同)、中学男子優勝の江崎蒼一朗さん(二年)、同二位の木下太慶さん(同)。小学生大会は静岡県で八月二十日、中学生大会は東京都で七月二十日にそれぞれ始まる。五人は「ベストに入るよう頑張りたい」「来年につなげるもの努力したい」と、この抱負を述べた。中村欣二郎市長は「小さなまちにもかかわらず、一つの競技でこんなに全国大会へ出場するのは良いニュース。地元の期待を担って頑張ってください」と話した。(西山和宏)

今月末から浜縄、鹿兒島県などで開かれる全国高校総体(インターハイ)などに出場する志摩市出身選手の壮行会が市役所であり、選手や保護者約四十人が出席した。インターハイでは陸上競技バレー、相撲の三種目に出場する。このほか、全国高校総体文化祭やプロダクションコンテストなどに出場する生徒も出席。それぞれが「最後の全国大会、悔いが残らないように臨みたい」「ベストを勝ち取るものに頑張ります」と、決意を表明していた。(山崎俊輔)

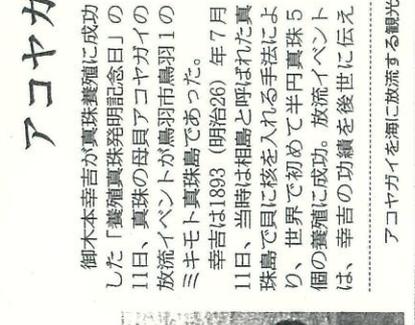


ベスト尽くす 選手決意 志摩

- △全国大会などに出席する選手
 - ①全国高校総体(陸上、相撲、水球、バレー、柔道) 磯上 剛(磯上 剛、磯上 剛、磯上 剛)
 - ②プロダクションコンテスト(文化祭) 大田 圭(大田 圭、大田 圭)
 - ③インターハイ(陸上) 山崎 俊輔(山崎 俊輔、山崎 俊輔)
 - ④インターハイ(相撲) 青塚 健(青塚 健、青塚 健)
 - ⑤インターハイ(相撲) 那須 香重(那須 香重、那須 香重)
 - ⑥インターハイ(相撲) 木下 太慶(木下 太慶、木下 太慶)
 - ⑦インターハイ(相撲) 小久保 真希(小久保 真希、小久保 真希)
- △志摩市出身の選手
 - ①全国大会(相撲) 大田 圭(大田 圭、大田 圭)
 - ②全国大会(相撲) 那須 香重(那須 香重、那須 香重)
 - ③全国大会(相撲) 木下 太慶(木下 太慶、木下 太慶)
 - ④全国大会(相撲) 小久保 真希(小久保 真希、小久保 真希)
 - ⑤全国大会(相撲) 山崎 俊輔(山崎 俊輔、山崎 俊輔)
 - ⑥全国大会(相撲) 青塚 健(青塚 健、青塚 健)

アコヤガイ 海へ放つ

御木本幸吉が真珠養殖に成功した「養殖真珠発明記念日」の11日、真珠の母貝アコヤガイの放流イベントが鳥羽市鳥羽1のミキモト真珠島であった。幸吉は1893(明治26)年7月11日、当時相島と呼ばれた真珠島で貝に核を入れる手法によって、世界で初めて半円真珠5個の養殖に成功。放流イベントは、幸吉の功績を後世に伝える



アコヤガイを海に放流する観光客ら＝鳥羽市鳥羽1のミキモト真珠島で

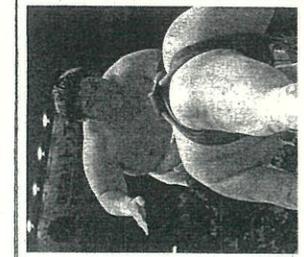
「伊勢路は観音様の道」 出立の地、玉城で講演会

熊野古道が世界遺産登録十五周年を迎えた記念講演会が十日、玉城町勝田の保観社で開かれた。観音様の道、伊勢路の歴史や文化について、熊野古道研究会運営委員長の三石孝さんの話に、地元住民ら約百人が耳を傾けた。三石さんは一九八〇年から熊野市役所で勤務しつつ、熊野古道伊勢路の探と調査研究をしてきた。講演では、土に埋もれたままだった石畳の遺存発掘した自身の経緯を交えつつ、昔の人々にとつての熊野の位置づけや、熊野と伊勢の信仰の比較などを話した。熊野の石畳は表面に見えている部分よりも下に深く積んと敷いて

フオレストコンサート in 鳥山



老いの形態



ある。その石の隙間を水が通って川に流れる仕組みで、崩れることがない。基礎がしっかりしてて手抜きがないなど、石畳が劣化するのに元形を保ち続けている理由も説明した。三石さんは、伊勢路は、り、まき、その出立町の魅力だ。初就任で二年、浜岡議長や産業部長などを務め、議員は三、部長など一部の役員だ。熊野市議会議長(三石)無所属、副議長(三石)無所属、同市選だ。市議員も

(9) 令和元年(2019年)5月24日 金曜日

少林寺拳法通し平和説く

弁論の部は少林寺拳法の教えを目標にどう生かすか自分の考えを発表する講習。七つのテーマから「私にとこの平和とは」を選び、創始者の師・宗道臣さんの遺した人々へすべては人の愛にあるを元へ、少林寺拳法を通じて人間形成が平和につながることを語り、三月の全国高

校選抜大会で二位に入った。昨年春に少林寺拳法を始めて最初に習った言葉。昨年十月末から約三週間、発表内容をまとめ、書類審査で六人に絞り、香川県で開催の全国選抜大会全豪で行われた。今年十三回目の同大会で県内各校所属の選手が準備

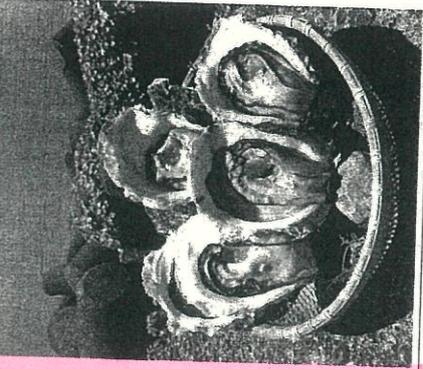
スポットライト

服部彩喜さん(16) 愛知県日進市



勝したのは今回が初めて。最終発表に備えて、原稿用紙三枚分の発表内容を暗記し、何度も練習を重ねてきた。会場でも早口にならないように練習していた。新しうなスピーチを心がけた。努力の結果、全国二位に輝き、準備の大切さを知った。次は競技でも全国大会にと、来月のインターハイ予選に向け、凛々の練習に励む。(二)

岩ガキを水揚げする東さん(左)ら紀北町東豊島の名産場で



【北半農記】紀北町東豊島の岩ガキ養殖業「県民食水産」で岩ガキの出荷が最盛期を迎えている。代表の東俊紀さん(左)らは十三日、岩ガキの水揚げ作業に追われた。出荷作業は三月下旬から始まり、九月ごろまで続く。岩ガキの養殖を始めて十年の東さんは、同町の名産場に設置している養殖いかに十二基と岩ガキを育てている。生食も食べられる岩ガキの養殖は町内では保紀丸水産だけという。七畝のロープに種付けしたホタテの殻を三十枚付け、養殖いかだに吊り下げ、海に沈めている。約半年後に平均二百五十〜三百

キは洗浄し、減菌したまき前に選別する。町内の宿泊施設をはじめ、東海・関西圏の料亭やレストランと取り引きし、今年は例年より多い約三万个を出荷する見込み。一戸当たりの千五百円から、東さんは「今年は海の状況が良く、身入りがよく、レモンを絞ったり黒ごま

岩ガキの出荷ピーク

紀北町 保紀丸水産、身入りよし

Local News 南勢 東紀州

伊勢志摩総局 伊勢市緑洲1の8の16 0596(28)2065 FM0596(23)2120

尾鷲支局 尾鷲市大字向井2390-4 0597(22)7786 FM0597(22)7787

きょうの指数情報

鳥羽	4.よく乾く	洗濯	4.よく乾く
尾鷲	4.よく乾く	紫外線	5.きわめて強い
		熱中症	3.警戒

しみち商店街で シェアラビストロ

伊勢 31日、15店が出店

伊勢伊勢市の西洋料理

ビストロ しみち

2019/5/31(Fri) 1600-2100 伊勢市人みち4-11番地

漁船通信

23日午後4時収録

- 中水漁29・0 長栄 操業
- 中▼第11長栄 帰港中
- 中▼第11長栄 帰港中
- 行中▼第2長久 操業中
- 中▼第11長久 入港
- 中▼第12長久 入港中▼第11長久
- 21長久 入港中▼第23長久
- 入港中▼第35長久 入港
- 中▼和良 豊一 近海調査
- 中▼安市 正午館山ササ場
- 中▼和良 豊一 近海調査
- 中▼安市 正午館山ササ場

まちがどガイド

イベント

伊勢市で「図書館のはなし会」工作 25日午後3時から、小俣図書館1階おはなしのくや。お話の後、かたまりを作る。対象は3歳小学生(未就学児は3歳未満)まで。

プレゼント

伊勢市で「図書館のはなし会」工作 25日午後3時から、小俣図書館1階おはなしのくや。お話の後、かたまりを作る。対象は3歳小学生(未就学児は3歳未満)まで。

おめでとう おくやみ

「死」イ勢市市杉本 たつみき(こ)に三上

理店などのシェアたちが出店し、料理や飲み物を販売する「ビストロしみち」が三十一日、同市のしみち商店街で開かれる。午後四〜九時。市内のシェアのオナシエらでつくる「おまじく」に伊勢シェアクラブなどが、商店街を運営しようを企画。シェア加盟店を中心に十五店がブースを並べ、三〜四時ごろ提供される。玉城隊の自家製ハム、志摩産薩摩豚とアカネのソーセージ、小俣産トマトとイカのマリネなど地元食材を生かした料理やスイーツを三十一日午後五時から、地ビールや各店が選んだアイテムもそろえる。問い合わせは「ビストロしみち」電話0596(63)8998

日本気象協会提供

めんたいこ味のポアチ

湖池屋は、めんたいこの羊味とパ...

湖池屋は、めんたいこの羊味とパ...

三重版



ルビナス
印刷グループ 五井野子
(津市高津区小笠原1)

三重地区(〒514-0000)	059(228)2121~4
津市地区(〒514-0000)	FAX 059(228)0213
四日市支局(〒519-0527)	059(357)3106
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)7209
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3511
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3521
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3531
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3541
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3551
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3561
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3571
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3581
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3591
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3601
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3611
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3621
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3631
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3641
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3651
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3661
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3671
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3681
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3691
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3701
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3711
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3721
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3731
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3741
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3751
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3761
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3771
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3781
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3791
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3801
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3811
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3821
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3831
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3841
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3851
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3861
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3871
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3881
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3891
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3901
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3911
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3921
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3931
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3941
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3951
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3961
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3971
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3981
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)3991
伊勢支局(〒590-0201)	FAX 059(357)4001

名張市の鳥羽商船高専専攻科1年 服部魁人さん(21)

大紀町の鰺漁港から漁船に乗り、約十分を見えたら、直径十センチほどの円形のいかだ。この前、ここで海に落ちたんですよ。照れながら慎重に漁船からいかだに乗り移ると、海面をいとおそこのまきこんだ。「人工知能(AI)で育てたタイ」ってかっこよくないですか。近い将来、漁業の救世主になるかもしれない若者は、海風を受けながらこう

はつらつ、かいて 1997年2月16日生まれ。名張市出身。幼稚園からおもちゃの分解が好きな、ものづくりの楽しさに目覚める。鳥羽商船高専に進学後、AIを活用した自動給餌システムの開発を始め、昨年7月には開発メンバーとして世界規模のコンテストに出場した。趣味は県南部に、キヌやアジなど食べておいしい魚を釣りに行くこと。好物はキヌの天ぷら。

上げ潮の未来へ 自動で育てタイ



自動給餌機で育てた獲れたばかりの鰺。師と弟子を繋ぐキヌ。大紀町師で

「餌を食べているときのタイは、真赤なタイの姿を撮り続けています」。映像は、いかだの中心に設置したAIにモニターとして接続されている。県内陸部の名張市出身だが趣味は釣り。父親が自営店の鮮魚コーナーで働いていたこともあり、魚への愛は芽をならした。ものづくりが好きで鳥羽市の鳥羽商船高専に進学し、専攻科生としてソフトウェア開発を専門としているが、「実は学校が海に近かったのが魅力的だった」と明かす。

「AIは地域の課題を解決する力を持っている。その力を

AIX漁業

インターネットを通じて
餌を操作できる



大分の魚が危機的状況にあるのを知ったのは二〇一七年の夏。「自動で真鯛魚に餌を与えるシステムはつくれないか」。高効率で漁業の担い手が年々減り、人手不足に悩む県南部の漁師からの悲鳴だった。餌やりは一回一時間かからず、毎日巨回する。自動給餌機は既にあり、電源は手で、餌の食べ残りの確認が必要だった。鰺漁港の漁師は「餌やりはかなりの負担。止め忘れて食べ残しが出れば、海底でヘドロとなり、成育環境に影響が出る」と苦勞を語る。

すぐに開発に取り掛かった。半年でパソコンやスマートフォンを通じて給餌機の電源を操作し、いかだに付けたカメラで餌の食べ具合を確認できるようにした。ただ、結局、漁師がスマホを真赤にしないといけない。何の解決にもなっていないと怒った。切実な思いで依頼してきた現場の漁師の言葉を向も分かっていなかった。一年間の海外留学を終え四月から開発を再開した。ものづくりは作って終わりじゃない。現場で使ってもらって初めて意味がある。漁師の元に通い、魚の餌の食べが時間帯や潮の満ち引き、魚の動き方に関係するとなると、漁師たちの長年の経験と知識。会員制交流サイト(SNS)でもおまめに連絡を取り合い改良を重ねている。目指すのは、カメラで魚の様子を確認し、動きの傾向からAIが自ら餌の供給の量を判断するシステム。撮影した映像をAIが取り入れ、食べるときは食べない時の動きを二パターンに分けて学習し、判別の実証実験を繰り返している。いずれは水温や潮の満ち引きなどの要素も加え、餌を与える時間や量を調整するシステムの構築も視野に入れている。常に一定の品質で市場に出せる「AIブランド」の魚も夢ではない。開発に悩んだ時は海を眺めて心を落ち着かせる。海外生活も経験したが、三重の海と魚に勝るものはない。「AIは地域の課題を解決する力を持っている。その力を

地元のために使いたい。魚好きの若者がAIとともに地域を盛り上げる。(須江啓)

AIが活躍 助や経験を数値化 第1次産業に転機

第1次産業にとって成成は長く厳しい時代だった。過剰化や高齢化による人手不足などで真実が一気に加速。山と海に囲まれ、自然が豊富な三重は窮地に立たされている。一方で、新たに生まれた技術を積極的に取り入れ、可能性を見いだそうとする動きもある。五年ごとに行われる国勢調査によると、一九九〇年に六万六千七百八十八人だった農業、漁業、林業を合わせると県内の第1次産業の従事者は、二〇一五年に三万二千二百十九人と半減し、平成の間に半減した。今や県内の十五歳以上の就業人口の4%にも満たない。県は、農業分野では昨年、農業法人の経営者の育成講座を開催。ベテラン農家が新規就業者を技術や生活の面でサポートする制度も運用している。ただ、県民生活を支える観点から、毎年約百五十人の新規就業者がいる一方で、五年以内に辞める就業者が同数程度いるのが現状で、定着の難さが浮き彫りになっている。同課の担当者は「若い人からは、農繁期には休みがなく、昔ながらの労働環境が合わない」「労働に見合った収入が得られない」といふ声が多く、定着が難しい」と話す。漁業でも新規就業者を支援する育成プログラムを設けているが、3Kと呼ばれる「暑い、汚い、危険」といふ見方根深くなり、新たな就業希望者は見えない。そんな中、人工知能(AI)や情報通信技術(ICT)などの新たな技術に活路を見出す動きが始まっている。伊賀市では昨年が県と協力し、今までベテラン農家の助や経験に頼っていた伊賀米の作業時期を数値で判断できるように研究を進めている。現在、ドローンを使った稲刈りから収穫までの様子を上空から撮影。気温や水温も測定しデータを集めている段階だ。JAいごさの担当者は「適切な作業時期が分かれば、最大限の収穫が得られ労働時間も減る。今後、作業を簡易にするためには、新たな技術の導入が必須になってくるだろう」と話した。

四国八十八カ所霊場の御利益願う

四国八十八カ所を踏んでお参りを願う。お砂が、四日市市野山真雲大徳に。五百で。宗宮宗家以外にも大寺。本堂内に一寺(徳島県)札所の大徳寺で、それぞれれた掛け軸を。は冬寒の砂。並べた。訪れ袋を踏みなが津で正面一人死。中。二百年後。津市河津中勢ハイパス。松本、職業。と津市河津。保さん(ら)の面衝突した。郵便。◆徳島の。野は2日。自願四日市。し工高本秀。逮捕した。逮捕。11月20日。田町のア。の車の中で。職男性(4)。と感。難などの。

2019年度 学生の活躍記事(本校HP)

No.	日付	記事タイトル	対象学生	備考
1	2020. 2. 19	「第8回高校・高専気象観測機器コンテスト」にて最優秀賞、優秀賞を同時受賞	制御情報工学科	
2	2019. 12. 26	「Shorinji Kempo大学生・高校生拳士訪中団」として本校の少林寺拳法部員が参加	少林寺拳法部	
3	2019. 11. 11	パソコン甲子園でベストアイデア賞受賞	制御情報工学科	
4	2019. 10. 21	高専ロボコン2019地区大会ベスト4・デザイン賞受賞	電子機械工学科 ロボコン部	
5	2019. 10. 21	U18日本陸上競技選手権男子走高跳で7位入賞	電子機械工学科	
6	2019. 10. 16	全国高専プログラミングコンテストで優秀賞受賞	制御情報工学科	
7	2019. 8. 29	全日本ソーラー&人力ボートレース大会2019にて学生総合優勝および自己新記録達成	商船学科	
8	2019. 8. 19	全国高専大会男子走高跳で優勝	電子機械工学科	
9	2019. 7. 11	東海地区高専大会男子走高跳で2連覇	電子機械工学科	
10	2019. 6. 3	男子走高跳で東海高校総体出場権獲得	電子機械工学科	
11	2019. 5. 24	伊勢新聞に本校学生の記事掲載	少林寺拳法部	

[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / 「第8回高校・高専 気象観測機器コンテスト」にて最優秀賞、優秀賞を同時受賞

「第8回高校・高専 気象観測機器コンテスト」にて最優秀賞、優秀賞を同時受賞

令和元年12月23日(月)、一般財団法人WNI気象文化創造センターにより開催された「第8回高校・高専 気象観測機器コンテスト」において、制御情報工学科5年生と4年生、4年生と3年生から構成される2チームが、本選参加31チームの中から最優秀賞(全国1位)、優秀賞(全国2位)を同時受賞しました。同コンテストでは2年ぶり3回目の最優秀賞受賞となりました。

最優秀賞を受賞した「ひやけ果ORANGE(おらんじえ)」は、スプリンクラーの自動散水で日焼け果を減らすことができるシステムです。システムの開発に留まらず、実運用において成果を出している点が高く評価されました。

また、優秀賞を受賞した「MIKAN(Majide li Kanjini Amaku Naru)」は、簡単に水分ストレスを推定でき、甘いミカンの生産を支援するアプリです。スマートフォンのみを用いて水分ストレスを推定することができる実用性が高く評価されました。

[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / 「第8回高校・高専 気象観測機器コンテスト」にて最優秀賞、優秀賞を同時受賞

[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / 「Shorinji Kempo 大学生・高校生拳士訪中団」として本校の少林寺拳法部員が参加

「Shorinji Kempo 大学生・高校生拳士訪中団」として本校の少林寺拳法部員が参加

2019年12月21日(土)～12月25日(水)の日程で、日本全国より集まった大学生拳士及び高校生拳士のメンバーとして本校の少林寺拳法部の部員2名が中国の北京を訪れました。

このプロジェクトは、2019年より日本と中国の両国政府の国家間のプロジェクトとして、5年間で3万人の青少年の相互往来と交流を行うものであり、少林寺拳法グループが中国人民対外友好協会や中国日本友好協会の招待を受けて主催しているものです。

現地では、人民大会堂での日中青少年友好交流大会等の青少年交流活動へ参加し、中国の学生たちとの交流を深めました。



参加した日本人学生らによる演武披露

[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / 「Shorinji Kempo 大学生・高校生拳士訪中団」として本校の少林寺拳法部員が参加

パソコン甲子園でベストアイデア賞を受賞

11月9日(土)、10日(日)に会津大学(福島県)で開催されたパソコン甲子園のモバイル部門でベストアイデア賞(2位相当)を受賞いたしました。

37チームがエントリーし、うち8チームが本選へ出場しました。

本校から本選に挑んだのは、制御情報工学科2年生(女子学生3名)チームでした。



[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / [高専ロボコン2019地区大会ベスト4・デザイン賞受賞!](#)

高専ロボコン2019地区大会ベスト4・デザイン賞受賞!

アイデア対決全国高等専門学校ロボットコンテスト2019東海北陸地区大会が、10月20日に愛知県刈谷市のウイングアリーナ刈谷 メインアリーナで行われました。

鳥羽商船高専からは、Aチーム(ロボコン部チーム)、Bチーム(M5卒研チーム)の2チームが出場しました。

まず、予選リーグでは、鳥羽商船Aチーム(ロボコン部チーム)は、初戦国際高専Aチームに3-0で勝利、2戦目で石川高専Aチームに2-2の同点で判定勝ちで、決勝トーナメント進出を果たしました。Bチーム(M5卒研チーム)は、初戦富山高専射水Aチームに0-0ながら判定勝ち、2戦目で石川高専Bチームに3-0で勝利し、決勝トーナメントに進出しました。

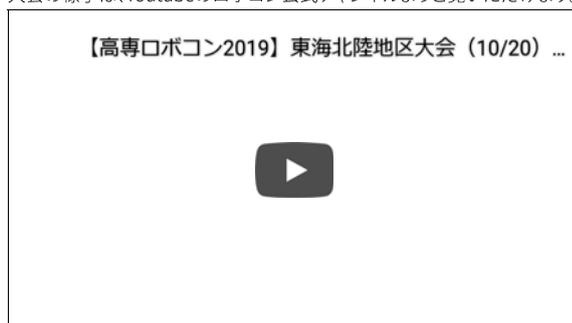
決勝トーナメントでは、予選リーグでの総獲得得点で組み合わせが決まり、決勝トーナメント初戦(準々決勝)でまさかの同校対決となり、鳥羽商船高専A(ロボコン部) 3-8 鳥羽商船高専B(M5卒研)と、5年生の底力を見せました。

続く準決勝では、岐阜高専Bに4-4同点ながらも判定で敗れ、ベスト4となりました。

なお、この対戦相手の岐阜高専Bの優勝で大会は幕を閉じました。

Bチームはベスト4に加え、デザイン賞を受賞しましたが、全国大会出場は惜しくも逃しました。

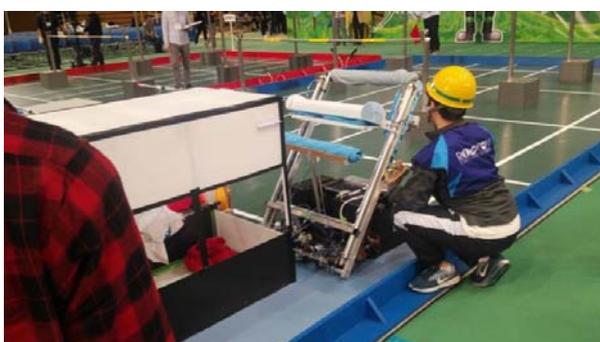
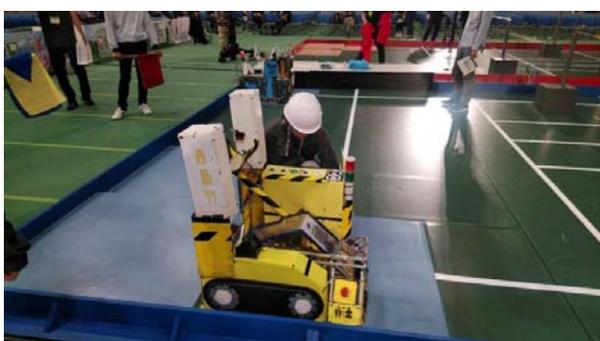
大会の様子は、Youtubeのロボコン公式チャンネルよりご覧いただけます。



また、2019年11月17日(日)13:05~13:59にNHK総合テレビにて放送予定です。

(本校出場の東海北陸地区大会は、東海北陸7県でご覧いただけます。)





[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / [高専ロボコン2019地区大会ベスト4・デザイン賞受賞!](#)

[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / U18日本陸上競技選手権男子走高跳で7位入賞!!

U18日本陸上競技選手権男子走高跳で7位入賞!!

第13回日本陸上競技選手権大会が、10/20(日)に今年の全国高専大会と同じ広島広域公園陸上競技場で開催されました。本校から男子走高跳(参加標準記録を突破した19名がエントリー)に出場した畠田寛大君(電子機械工学科3年)が、1m95cmの記録で見事7位に入賞しました。

記録的には、全国高専大会優勝時の2m01cmには及ばなかったものの、本来の調子を出せない選手が多くいる中、試合開始後の1m90cm、1m95cmをいずれも1回でクリアしたことが入賞につながりました。

高専レベルをバーをクリアするように跳び越えて、同世代の国内トップレベルで活躍する畠田君の更に上の世代での活躍が期待されます。



U18日本陸上競技選手権大会 Final		Official	NR
1	1111 本郷 拓		2m35
2	1343 森田 翔	キング・イサカ	2m23
3	1448 野村 拓	ハヤシマツ	2m08
4	1040 野村 拓	カサ	2m05
5	1375 野村 拓	スズキ	2m05
6	1131 野村 拓	ヒロシマツ	2m02
7	1419 野村 拓	コウコウ	1m99
7	1294 野村 拓	ミヅカ	1m95
		トヨ	1m95


[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / U18日本陸上競技選手権男子走高跳で7位入賞!!

[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / [全国高専プログラミングコンテストで優秀賞を受賞しました](#)

全国高専プログラミングコンテストで優秀賞を受賞しました

高専機構連合会が主催する全国高等専門学校 第30回プログラミングコンテスト(都城大会)の課題部門において優秀賞(2位相当)を受賞致しました。

受賞した「とばまっぷ」は、鳥羽市役所と連携し、将来の人口の変動などに対応して、最適な公共施設のあり方を検討するためのツールとして利用可能なWebアプリケーションです。

また、KDDIおよびさくらインターネットから協賛企業賞もいただきました。

今回、「とばまっぷ」を作成したチームは、NAPROCK国際プログラミングコンテストに推薦される予定です。

◆校長室での受賞報告の様子

[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / [全国高専プログラミングコンテストで優秀賞を受賞しました](#)

全日本ソーラー&人力ボートレース大会2019にて学生総合優勝および自己新記録達成

8月24日(土)・25日(日)の両日、全日本ソーラー&人力ボートレース大会2019が、愛知県碧南市の勤労青少年水上スポーツセンターにて行われました。

本校では商船学科の学生を中心にボートの設計から製作までを行いこの大会に出場しています。

レース前日は大雨でしたが、当日は暑い晴天となり、新たに設計・製作したプロペラのおかげでトラブルも無く全レース無事完走することができました。

レースの結果は新しいプロペラの性能が良く、7.89ノットという自己新記録を達成することができ、昨年に引き続き「学生の部総合優勝」と素晴らしい結果を達成しました。

今後も、高専生らしいアイデアと創造力で新たな記録へのチャレンジを期待していききたいと思います。

::

※全日本ソーラー&人力ボートレース大会について

この大会はソーラーパワーまたは人力を用いて推進する手作りボートのレースで、毎年日本ソーラー&人力ボート協会の主催で大会が開催されています。大会の種目は、200mスピードレース・1000m周回レース・1時間耐久レースの3種目があり、ボートのスピードだけでなく、ボート自体の耐久性・操縦性などが求められます。

::





[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / 全日本ソーラー&人力ボートレース大会2019にて学生総合優勝および自己新記録達成

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1-1 TEL:0599-25-8000 FAX:0599-25-8016

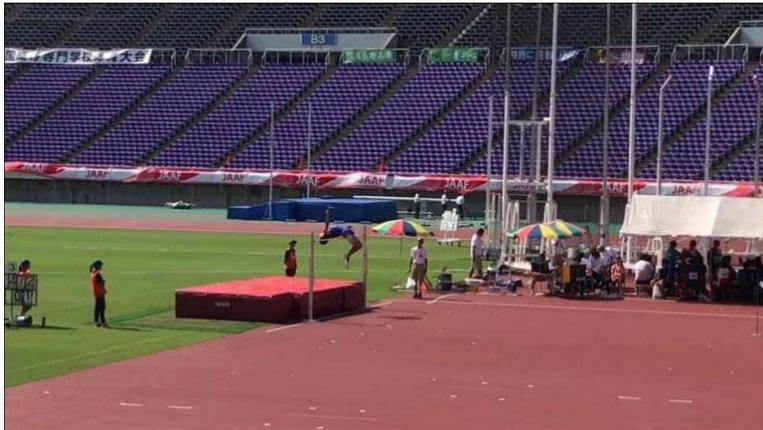
[サイトマップ](#) | [ENGLISH](#) | [交通アクセス](#) | [お問い合わせ・本校へのご意見](#) | [証明書発行申請](#)

Copyright © 2017 National Institute of Technology, Toba College

全国高専大会男子走高跳で優勝!!

第54回全国高等専門学校体育大会陸上競技が、8月17日(土)・18日(日)に、エディオンスタジアム広島で開催され、本校から男子走高跳に出場した畠田寛大君(電子機械工学科3年)が、2m01cmの自己新記録で見事優勝しました。インターハイ3位の近大高専本田君のエントリーは、なかったものの、畠田君を含めて、3名が2m以上の自己記録を持つハイレベルな競技会を制しました。

2m01cmは、10月に開催される第35回U18日本陸上競技選手権大会の参加標準記録にあたります(標準記録突破者のうち上位20名が出場可能)。高専大会のみならず、同世代の国内トップレベルの大会での、畠田君の活躍が期待されます。





[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / [全国高専大会男子走高跳で優勝!!](#)

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1-1 TEL:0599-25-8000 FAX:0599-25-8016

[サイトマップ](#) | [ENGLISH](#) | [交通アクセス](#) | [お問い合わせ・本校へのご意見](#) | [証明書発行申請](#)

Copyright © 2017 National Institute of Technology, Toba College

[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / [東海地区高専大会男子走高跳で2連覇](#)

東海地区高専大会男子走高跳で2連覇

7月6日(土)・7日(日)に、AGF鈴鹿陸上競技場で開催された第57回東海地区国立高等専門学校体育大会陸上競技の男子走高跳(エントリー8名)に、本校から出場した畠田寛大君(電子機械工学科3年)が、1m92cmの記録で2連覇を達成しました。この結果畠田君は、8月17日(土)・18日(日)にエディオンスタジアム広島で開催される第54回全国高等専門学校体育大会陸上競技の出場権を獲得しました。

6/1(土)の県高校総体後、気胸の手術を受け、1週間入院したこともあり、6/22(土)の東海高校総体では、本来の跳躍ができずに悔しい結果に終わりましたが、復調の兆しが見えてきました。全国高専大会で、昨年の3位を上回る活躍が期待されます。

[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / [東海地区高専大会男子走高跳で2連覇](#)

[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / [男子走高跳で東海高校総体出場権獲得](#)

男子走高跳で東海高校総体出場権獲得

2019年5月31日(金)から6月2日(日)まで、三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場において、第69回三重県高等学校総合体育大会陸上競技の部が開催されました。本校から男子走高跳(55人がエントリー)に出場した畠田寛大君(電子機械工学科3年)が、中間試験が終了してすぐという厳しい日程の中、1m95の自身のセカンドベストタイ記録で5位に入賞しました。

この結果、畠田君は、6月21日(金)から23日(日)に、小笠山総合運動公園静岡スタジアムエコパで開催される第66回東海高等学校総合体育大会の出場権を獲得しました。同大会でインターハイの出場権獲得にチャレンジします。

[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / [男子走高跳で東海高校総体出場権獲得](#)

[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / [伊勢新聞に本校学生の記事を掲載して頂きました](#)

伊勢新聞に本校学生の記事を掲載して頂きました

令和元年5月24日(金)付けの伊勢新聞(朝刊)に『第22回全国高等学校少林寺拳法選抜大会』弁論の部にて第2位を受賞した本校学生が掲載されました。

是非ご覧ください。

[ホーム](#) / [学生の活躍](#) / [伊勢新聞に本校学生の記事を掲載して頂きました](#)

[サイトマップ](#) | [ENGLISH](#) | [交通アクセス](#) | [お問い合わせ・本校へのご意見](#) | [証明書発行申請](#)